年間授業計画　新様式

竹早　　高等学校　令和７年度　　　　教科　国語　　科目　現代の国語

対象学年組：第　１学年　A　組～　G　組　　　　単位数：　2　単位

教科担当者：

使用教科書：　（　現代の国語（筑摩書房）　）

教科　国語　の目標：

【知　識　及　び　技　能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元　問いかける力を伸ばす／情報を正確に読み取る 【知識及び技能】 著者の主張に即して、複数の視点から物事を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 出来事やことばから問いを立てる。 【学びに向かう力、人間性等】 対話と探究を積極的に行う。	・指導事項 具体例の働き／二項対立／言語論 ・教材 「境目」川上弘美／「ことばとは何か」内田樹／「デジタル社会」黒崎政男 ・一人１台端末の活用　等	○		○	【知識・技能】 物事のとらえ方や言語について書かれた教材を通して、言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。	○	○	○	24
	定期考査		中間考査					○	○		
	期末考査まで	A 単元　書くことで世界とつながる／資料やデータを活用する 【知識及び技能】 評論のことばに触れ、世界をより深く理解する。文章のデータと筆者の主張を結び付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの情報を吟味し、精査する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を評論文の内容と関連付けながら深める。	・指導事項 具体例の働き／身体論／社会学 ・教材 「身体、この遠きもの」鷲田清一／「贈り物と商品の違い」松村圭一郎／「わかっていることといないこと」堀正岳 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識・技能】 論理の展開を確認しながら読み、内容や構成、表現の仕方を評価しながら筆者の主張を的確に理解している。 【思考・判断・表現】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査					○	○		
2学期	中間考査まで	A単元　説得することばを身につける／目的に沿って表現の細部を整える 【知識及び技能】 要約を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の内部の曖昧な、漠然とした心の動きを自ら発見し、文章にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の思いや考えを文章にして他者に手渡そうとしている。	・指導事項 二項対立を用いて論説文を書いてみよう／文章の推敲 ・教材 「贅沢の条件」山田登世子／「誰かの靴を履いてみること」ブレンディみかこ	○	○		【知識・技能】 語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができている。 【思考・判断・表現】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉とアイデンティの問題に関心を持っている。	○	○	○	28
	定期考査		中間考査					○	○		
	期末考査まで	A単元　隠された情報を読み解く 【知識及び技能】 文章のデータと筆者の主張を結び付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 修辞や構成の工夫に注意を払い、暗黙の前提に化が付くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 エピソードを用いて自分の考えを伝えようとしている。	・指導事項 経済論／倫理学／エピソードの提示 ・教材 「未来は存在しない」（野矢茂樹）／「マルジャーナの知恵」岩井克人			○	【知識・技能】 論理の展開を確認しながら読み、内容や構成、表現の仕方を評価しながら筆者の主張を的確に理解している。 【思考・判断・表現】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査					○	○		
3学期		A 単元　筋道を立てて論述する／さまざまな視点から読み解く 【知識及び技能】 筋道を立てて文書を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体例などの適切な根拠を示し、説得力を持たせている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の言葉を踏まえながら、自説を唱える態度をもっている。	・指導事項 政治／主体／相対化 ・教材 「来るべき民主主義」國分功一郎／「主体という物語」小坂井敏晶／「名づけと所有」西谷修 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識・技能】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	18
	定期考査		学年末考査					○	○		
											合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度　　教科　国語　科目　言語文化

対象学年組：第　　1 学年　　A　組～　　G　組　　単位数：　3　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　言語文化（筑摩書房）　）
教科　　国語　　の目標：
【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
科目　　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元　古文に親しみ、古文の世界を味わう 【知識及び技能】 古文の文章に慣れていく。 【思考力、判断力、表現力等】 出来事や人物の心情に即して、内容や展開を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 古文と現代の文章の共通点・相違点に興味・関心をもつ。	・指導事項 歴史的仮名遣い／品詞の分類／用言（動詞）の活用 ・教材 「児のそら寝」「絵仏師良秀」（宇治拾遺物語）			○	【知識・技能】 古文の入門的な文章である説話を読み、言葉には、文化の継承・発展・創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 説話の内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	36
		A 単元　漢文を読むためのきまりを理解する 【知識及び技能】 漢文訓読の基礎・基本的事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典中国語の文法に由来する日本の言語文化の発展を理解して文章を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、言語文化への関心や理解の幅を広げる。	・指導事項 訓点（返り点・送り仮名・句読点）／助字（置き字）／返読文字／再読文字 ・教材 「漢文入門」			○	【知識・技能】 漢文訓読の基礎を学び、漢語の分析を行うことで、言葉には、文化の継承・発展・創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについて的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	
		A 単元　漢文に親しみ、漢語の成り立ちを理解する。 【知識及び技能】 漢文訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典中国語の文法に由来する日本の言語文化の発展を理解して文章を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語を通して漢語の特色についての興味・関心を高める。	・指導事項 漢文訓読のきまり ・教材 「守株」（韓非子）／「借虎威」（戦国策）		○		【知識・技能】 漢文訓読のきまりをふまえ、漢語の分析を行うことで、言葉には、文化の継承・発展・創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについて的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、漢文・漢語への興味を高めながら学習に取り組んでいる。	○	○	○	
	定期考査		中間考査					○	○		
	期末考査まで	A 単元　フィクションの表現を探求する。 【知識及び技能】 フィクションが持つ説得力を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の表現を根拠として、登場人物の心情や行動を論理的・多角的に読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 想像力をもって作品と向き合っている。	・指導事項 時代や舞台を踏まえながら読解する。 ・教材 「羅生門」（芥川龍之介）		○	○	【知識・技能】 「今昔物語集」と読み比べて、時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典と現代の言葉のつながりについて理解している。 【思考・判断・表現】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表に積極的に取り組むとともに、ほかの人の発表も集中して聞き、言語文化に興味・関心を深め、育もうとする姿勢を示している。	○	○	○	
		A 単元　古文に親しみ、古文の世界を味わう／物語に現れた心情を読み取る 【知識及び技能】 表現の仕方や特色、和歌の効果などにも注意して読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 現代とは異なる点に着目し、疑問をもって読解することを通して、古典作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 物語の世界から普遍的な姿を探り当て、言語文化の豊かな広がりを知る。	・指導事項 和歌の修辞（枕詞・序詞・掛詞・縁語）、用言（形容詞・形容動詞） ・教材 「大江山」（十訓抄）／「芥川」「梓弓」（伊勢物語）		○	○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、「伊勢物語」の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考・判断・表現】 「歌物語」という作品の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	
	定期考査		期末考査					○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元　背景を考えながら作品の視点を解釈する 【知識及び技能】 書き手の経験に即して、考えや思いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 描かれた経験とそれを書き写す視点に注目することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 過去の自分とそれを見つめる今の自分との複数の目で、自身を見つめる。	・指導事項 助動詞／助詞 ・教材 「門出」「帰京」（土佐日記）／「筒井筒」（伊勢物語）			○	【知識・技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 【思考・判断・表現】 「土佐日記」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	42
		A 単元　漢文に親しみ、漢語の成り立ちを理解する／唐詩を通してる情を伝える表現を身につける 【知識及び技能】 近体詩のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 句法をふまえて本文を読解し、登場人物の行動や心情を読み取り分析する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の姿を多角的に理解しようとする。	・指導事項 重要句法 ・教材 「推敲」（唐詩紀事）／「塞翁馬」（淮南子）／唐詩 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 近体詩のきまりや表現上の効果をふまえ、言葉には、文化の継承・発展・創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについて的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、漢文・漢語への興味を高めながら学習に取り組んでいる。	○	○	○	
		A 単元　描かれたことばと行動から人間像を読み取る 【知識及び技能】 相手の言葉と行動を見つめて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 史伝に書かれたことばや行動をさまざまな視点から解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の姿を多角的に理解しようとする。	・指導事項 重要句法 ・教材 「管鮑之交」（十八史略） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 「管鮑之交」を読み、言葉には、文化の継承・発展・創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「管鮑之交」に表れているものの見方・感じ方・考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、漢文作品に対する興味を高めようとしている。	○	○	○	
	定期考査		中間考査					○	○		
	期末考査まで	A 単元　文章を手掛かりに作者の思いを読み取る 【知識及び技能】 文章を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人物の言動を通して間接的に表現されるものの見方や感じ方をを吟味する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分と相いれない考えも取り入れながら、コミュニケーションを取ろうとする。	・指導事項 助動詞／助詞 ・教材 「ゆく河の流れ」「仮の庵」（方丈記）／「東下り」（伊勢物語）			○	【知識・技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 【思考・判断・表現】 「方丈記」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、ほかの題材の読解や理解につなげようとしている。	○	○	○	
		A 単元　思想を伝える表現の工夫を読み取る 【知識及び技能】 思想家たちの思想や意見を効率的に伝えるための工夫を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 時代を超えて読み継がれる言葉の普遍性に触れる。 【学びに向かう力、人間性等】 人々の心を打つことばや表現の工夫を自己のなかに取り込む。	・指導事項 重要句法 ・教材 「雑説」（韓愈）			○	【知識・技能】 「雑説」を読み、言葉には、文化の継承・発展・創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「雑説」の内容や解釈を踏まえ、自分の物の見方・感じ方・考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、ほかの題材の読解や理解につなげようとしている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査					○	○		
3学期		A 単元　語りの文体が表す臨場感に触れる 【知識及び技能】 軍記物語ならではの文体や音便を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 人物がどのような心情や判断で行動を選び取ったかを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 和漢混交文の独特のリズムや特徴的な表現を楽しむことができる。	・指導事項 助動詞／敬語 ・教材 「かぐや姫の昇天」（竹取物語）／「木曽の最期」（平家物語）			○	【知識・技能】 文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「転換期の文学」を参考に、「平家物語」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、古典と現代の考え方の共通点・相違点を通して自己の考えを広げようとしている。	○	○	○	27
		A 単元　詩歌の自由律と定型を学び、表現力を高める 【知識及び技能】 自由律の近現代詩の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 詩歌を作ることで表現力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 詩歌を通して豊かな情操を育む。	・指導事項 詩歌 ・教材 「小諸なる古城のほとり」（島崎藤村）／「崖」（石垣りん）		○		【知識・技能】 創作や選評を通して、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 創作や選評を通して、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組み、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。	○	○	○	
	定期考査		学年末考査					○	○		
											合計 105

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　国語　科目　現代文探究

対象学年組：第　　2 学年　　A　組～　　F　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　論理国語（筑摩書房）文学国語（大修館）　）
教科　国語　の目標：
【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力
科目　現代文探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的、批評的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 基・関	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元　評論：日常の中の論点／架橋することば 【知識及び技能】評論文の構成をつかみ、主題の深め方、多角的なものの見方を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】主題に対して筆者がどのような思考を展開しているのかを捉え、論理的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】他者や社会に関わろうとする意欲を養う。	・指導事項 「地図の想像力」若林幹夫 「１００パーセントは正しくない科学」 単元の指導目標に準じ、評論文の読解力を養いながら、個々のテーマについての思考を深める。	○			【知識・技能】 評論文の基本的な構造がつかめているか 【思考・判断・表現】 論理的な文章の読解ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに対して思考を深めようとする学習に取り組めたか	○	○	○	24
		A 単元　文学：虚構の可能性 【知識及び技能】 小説の読み方の基礎を踏まえて、論理的に主題にせまる。 【思考力、判断力、表現力等】小説の構造や表現を汲み取り、ストーリーにのみ還元されない人間への深い洞察を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 「言葉」に対する理解と態度を養う。	・指導事項 「美神」三島由紀夫 単元の指導目標に準じ、小説の読解力を養いながら、小説のテーマについての思考を深める。	○	○	○	【知識・技能】 小説に関する基礎知識や語彙が習得できたか。 【思考・判断・表現】登場人物たちの心情を表現から読み取り、深く味わうことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで小説に対する理解を深めようという意欲をもてたか。	○	○	○	
	定期考査		中間考査					○	○		
	期末考査まで	A 単元　評論：歴史に向き合う 【知識及び技能】偏見や先入観にとらわれずに考え話し合うために必要な自身の思考の枠組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】古典の意義はどこにあるのか、歴史を経た叡智がさまざまな解釈によってよみがえることを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】　読み取った内容を自分の意見に活かしてまとめ、発表する。	・指導事項 「荘子」湯川秀樹 単元の指導目標に準じ、評論文の読解力を養いながら、個々のテーマについての思考を深める。	○	○	○	【知識・技能】偏見や先入観にとらわれずに考え話し合うために必要な自身の思考の枠組みを理解したか。 【思考・判断・表現】古典の意義はどこにあるのか、歴史を経た叡智がさまざまな解釈によってよみがえることを学ぶことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに対して思考を深めようとする学習に取り組めたか				
		A 単元　文学：語りの世界 【知識・技能】文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深める。 【思考・判断・表現】文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	・指導事項 「山月記」中島敦 単元の指導目標に準じ、小説の読解力を養いながら、小説のテーマについての思考を深める。	○	○		【知識・技能】 ・文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めているか。 【思考・判断・表現】 ・「文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしているか。				
	定期考査		期末考査					○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元　評論：日常の中の論点 【知識及び技能】現代社会の諸問題を考えるための基礎知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代社会や日常に内在する問題について読み解き、思考する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】自身の生きる社会に関心を持ち、積極的に関わろうとする姿勢を養う。	・指導事項 「ファッションの現象学」 「ビッグデータ時代の「生」の技法」 「数字化される世界」 単元の指導目標に準じ、評論文の読解力を養いながら、個々のテーマについての思考を深める。	○	○		【知識及び技能】現代社会の諸問題を考えるための基礎知識を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】現代社会や日常に内在する問題について読み解き、思考する力を身に付けたか。 【主体的に学習に取り組む態度】自身の生きる社会に関心を持ち、積極的に関わろうとする姿勢が養えているか。	○	○	○	28
	定期考査		中間考査					○	○		
	期末考査まで	A 単元　評論：〈私〉をひらくために 【知識及び技能】現代民主主義社会の構造を考えるための基礎知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代民主主義社会に内在する問題について読み解き、思考する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】自身の生きる社会に関心を持ち、積極的に関わろうとする姿勢を養う。	・指導事項 「貧困は自己責任なのか」 「であることとすること」 単元の指導目標に準じ、評論文の読解力を養いながら、個々のテーマについての思考を深める。	○	○	○	【知識及び技能】現代民主主義社会の構造を考えるための基礎知識を身に付けたか。 【思考力、判断力、表現力等】現代民主主義社会に内在する問題について読み解き、思考する力を身に付けたか。 【学びに向かう力、人間性等】自身の生きる社会に関心を持ち、積極的に関わろうとする姿勢を養えているか。	○	○	○	
		A 単元　文学：韻文の世界 【知識及び技能】近代の韻文に触れ、韻文のリズムを味わう。 【思考力、判断力、表現力等】音読を通して韻文が作る世界を体感し、豊かな世界を想像する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ音楽性に親しみ、豊かな人間性を養う。	・指導事項 近代の韻文（詩歌）を味わい、散文では表現できないものがあることを学ぶ。 中原中也・・宮澤賢治・谷川俊太郎などの詩	○	○		【知識・技能】 近代の韻文を味わえたか、また韻文の近代史を理解できたか。 【思考・判断・表現】 散文では表現できない韻文の世界を体感し、詩歌の豊かさについて深く学ぶことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 詩歌を音読し、意欲的に受容するとともに、詩歌の魅力についてすすんで理解しようと努めたか。	○	○	○	
	定期考査		期末考査					○	○		
3学期		A 単元　文学：記憶の継承 【知識及び技能】上中下の全体の構造を理解し、その時点から語られるバイアスを通したことばを正しく理解する力を鍛える。 【思考力、判断力、表現力等】印象に流れずに、高度なコード解釈とリテラシーを用いて内容を整理する。 【学びに向かう力、人間性等】集めた情報を整理して、いつ何が起こっているのかを明確にする。	・指導事項 「こころ」夏目漱石 登場人物の心情理解をとおして、自己の生き方や他者との関わりを学ぶ。 本格的な小説を読み味わうことで、読解に必要な総合的な力をつける。	○	○	○	【知識・技能】 小説の語り手の印象に左右されずに、出来事を整理できたか。 【思考・判断・表現】 語り手「私」がどのように出来事を編集しているのかを通して、何が起こっているのかが読み解けたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 小説内の「ことば」を自分の言葉から離れて読もうとすることができたか。	○	○	○	18
		A 単元　評論：変貌する時代 【知識及び技能】当時の現代＝近代社会がどのように成立したのかを理解する 【思考力、判断力、表現力等】急激に近代化する社会を漱石がどうとらえていたのかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】自身の生きる社会に関心を持ち、積極的に関わろうとする姿勢を養う。	「現代日本の開化」夏目漱石 単元の指導目標に準じ、評論文の読解力を養いながら、当時の近代化がはらんでいた問題ついて思考を深める。	○	○		【知識・技能】当時の現代＝近代社会がどのように成立したのかを理解したか。 【思考力、判断力、表現力等】急激に近代化する社会を漱石がどうとらえていたのかを理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】自身の生きる社会に関心を持ち、積極的に関わろうとする姿勢を養えたか。	○	○	○	
	定期考査		学年末考査					○	○		
											合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　国語　科目　古典探究

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組　　単位数：　3　単位
教科担当者：
使用教科書：（「古典探究 古文編」筑摩書房、「古典探究 漢文編」筑摩書房）
教科　国語　の目標：
【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
科目　古典探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	生涯にわたる社会生活における他者との関わりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期 中間考査まで	A 単元　生き生きと描かれた人々－説話（古文：説 【知識及び技能】 本文に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 説話という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心をもつ。	・指導事項 重要古語、文法（副助詞）、歌の修辞 ・教材 「刑部卿敦兼の北の方」『古今著聞集』			○	【知識・技能】 本文に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 【思考・判断・表現】 説話という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心をもつことができている。	○	○	○	36
	A 単元　創成と典故（漢文） 【知識及び技能】 本文に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心をもつ。	・指導事項 漢文重要語、句法（抑揚・反語） ・教材 「先従隗始」『戦国策』			○	【知識及び技能】 本文に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心をもつことができている。	○	○	○	
	A 単元　歌に思いを託す（古文：物語） 【知識及び技能】 歌物語という文章の種類とその特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかのひとの発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・指導事項 重要古語、文法、歌の修辞（掛詞） ・教材 「初冠」「狩りの使ひ」『伊勢物語』			○	【知識及び技能】 歌物語という文章の種類とその特徴について理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかのひとの発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができている。	○	○	○	
	定期考査	中間考査					○	○		
期末考査まで	A 単元　豊かな感受性、深まる思考（古文：随筆） 【知識及び技能】 本文における文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって言葉もつ価値への認識を深める。	・指導事項 重要古語、文法（敬語）、歌の修辞 ・教材 『枕草子』			○	【知識及び技能】 本文における文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって言葉もつ価値への認識を深めることができている。	○	○	○	
	A 単元　生き方の表明（漢文） 【知識及び技能】 本文における文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって言葉もつ価値への認識を深める。	・指導事項 漢文重要語、句法（受身・選択） ・教材 「漁父辞」			○	【知識及び技能】 本文における文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって言葉もつ価値への認識を深めることができている。	○	○	○	
	定期考査	期末考査					○	○		
2学期 中間考査まで	A 単元　人と人とが織りなす世界（古文：物語） 【知識及び技能】 「源氏物語」に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「源氏物語」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。	・指導事項 重要古語、文法（敬語）、古文常識、歌の修辞 ・教材 「光源氏誕生」「飽かぬ別れ」「廃院の怪」『源氏物語』			○	【知識及び技能】 「源氏物語」に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 「源氏物語」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めることができている。	○	○	○	42
	A 単元　漢文の表現（漢文） 【知識及び技能】 近体詩を読むことを通して、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整する。	・指導事項 漢文重要語、句法（詩の形式、押韻、対句） ・教材 「李白」「王維」「杜甫」「白居易」			○	【知識及び技能】 近体詩を読むことを通して、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整することができている。	○	○	○	
	A 単元　体験を語る（日記） 【知識及び技能】 本文の読解を通して、我が国の文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心をもつ。	・指導事項 重要古語、文法、歌の修辞 ・教材 「継母との別れ」『更級日記』 「嘆きつつ」『蜻蛉日記』			○	【知識及び技能】 本文の読解を通して、我が国の文化の特質について理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心をもつことができている。	○	○	○	
	定期考査	中間考査					○	○		
期末考査まで	A 単元　人と社会を見つめる（古文：随筆） 【知識及び技能】 古文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 随想という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	・指導事項 重要古語、文法、歌の修辞 ・教材 「大事を思ひ立たむ人は」「これも仁和寺の法師」『徒然草』			○	【知識及び技能】 古文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 随想という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができている。	○	○	○	
	A 単元　言動の記録（漢文） 【知識及び技能】 古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典に特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しを持って言葉がもつ価値への認識を深める。	・指導事項 漢文重要語、句法 ・教材 「鴻門之会」「四面楚歌」『史記』			○	【知識及び技能】 古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典に特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しを持って言葉がもつ価値への認識を深めることができている。	○	○	○	
	定期考査	期末考査					○	○		
3学期	A 単元　歴史を語る（古文：物語） 【知識及び技能】 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的や意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語の担い手としての自覚を深める。	・指導事項 重要古語、文法 ・教材 「花山院の出家」『大鏡』 「能登殿の最期」『平家物語』			○	【知識及び技能】 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的や意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語の担い手としての自覚を深める。	○	○	○	27
	A 単元　物語の創造（漢文） 【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方にしたしみ、自分のものの見方、感じ方、考え方、を豊かにする読書の意義と効用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整する。	・指導事項 重要古語、文法 ・教材 「売鬼」			○	【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方にしたしみ、自分のものの見方、感じ方、考え方、を豊かにする読書の意義と効用について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整することができる。	○	○	○	
	定期考査	学年末考査					○	○		
										合計 105

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度　　教科　国語　科目　古典研究

対象学年組：第　3 学年　A　組～　F　組　　単位数：　4　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　「古典探究古文編」「古典探究漢文編」（筑摩書房）　）
教科　国語　の目標：
【知識及び技能】　言語活動を通して、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、新たな考え方を構築する力などを育成する
【思考力、判断力、表現力等】　書くこと、読むことを通して、多面的多角的な視点から自己の考えを組み立て、見直し、表現する力を育成する
【学びに向かう力、人間性等】　さまざまな言語活動に主体的に参加し、柔軟に学ぶ姿勢を確立し、社会や他者との間にあたらなる関係を構築する態度を育成する
科目　古典研究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典文学を読み解くために必要な文法事項及び単語の知識を身に付け、古典世界に対する理解を深めることができるようにする。また、これまで学習した古典に関する知識を体系化しながら、読み味わった文章を自分の言葉でとらえなおすことができるようにする。	古典の文章において、古典に特徴的な文章表現や文構造を見抜き、的確に理解できるようにする。古典世界を通して、当時を生きた人々のものの見方、感じ方、考え方を理解し、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。	古典を通じて、言葉がもつ価値への認識を深め、また過去から受け継がれてきた文化や社会を受け継ぐ者として、古典に親しみを持って読み解こうとする態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 語・関	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	主語を特定し古文を読み解く 【知識及び技能】 文章中の敬語について、敬語の種類及び敬意の方向を正しく判別できる。紛らわしい語句の識別が正確にできる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章中の主語を正確に見極め、文脈をとることができる。宮中の人間関係を把握しながら読み進めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章理解のために、登場人物同士の関係を理解しようとしてい	○指導事項 ・敬語の種類・敬意の方向の判別 ・「ぬ」「し」「らむ」「る」「けれ」「しか」「に」の識別 ・『源氏物語』に特徴的な宮中における人間関係の理解 ・登場人物の置かれた状況や心情の理解 【教材】 『源氏物語』 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。		○	○	【知識・技能】 敬語の種類、敬意の方向について正しく理解している。文章中の紛らわしい語句の識別について正しく理解している。 【思考・判断・表現】 敬語や文脈から主語を正しく判別している。登場人物同士の関係性を正しく理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 人物同士の関係を理解して読解につなげている。主語を特定することで文脈を理解して読み進めている。	○	○	○	48
		文構造に着目しながら漢文を読み解く 【知識及び技能】 漢文に特徴的な語句、句法、音韻を理解できる。文の主語を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の文構造を理解し、文章の核となる部分を読み解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を理解するために、句法を理解しようとしている。漢文世界の思想を理解しようとしている。	○指導事項 ・否定形、疑問形、反語形、詠嘆形、受身形、仮定形、使役形などの句法　・熟語の読み　・用字 ・漢文思想　・文章表現 【教材】 「韓非子」「世説新語」 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。		○	○	【知識・技能】 重要語句及び句法について正しく理解している。文の主語を理解し読解につなげている。 【思考・判断・表現】 文章全体の文構造を理解し読解につなげている。文章の主題となる部分を正しく理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまで習ってきた句法を駆使して読解につなげている。漢文に特有の思想について文章の主題から理解につなげている。	○	○	○	
		講読活動を通して古典世界を味わう 【知識及び技能】 文章理解に必要な単語の意味を正しく理解し解釈できる。助動詞や助詞を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や助詞を正しく理解し、文章を正しく解釈できる。一人称視点で描かれる文章から登場人物の心情を正しく理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文学を読み味わうことを通して古典の時代を生きる女性像を理解しようとしている。	○指導事項 ・助詞、助動詞の識別　・敬語の識別 ・文章世界の理解　・古典世界の理解 【教材】「蜻蛉日記」「和泉式部日記」 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。		○	○	【知識・技能】 古文読解に必要な文法事項や古文単語の知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 既習の知識を駆使して、文章を正しく解釈している。語りの位置を踏まえて心情変化や登場人物同士の関係性を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日記文学を通して当時の女性が置かれていた社会を理解し、自身の考え方やものの見方について考えを深めている。	○	○	○	
	定期考査		中間考査		○	○		○	○		
	期末考査まで	人物の心情変化に着目して古文を読み解く 【知識及び技能】 文章中の敬語について、敬語の種類及び敬意の方向を正しく判別できる。紛らわしい語句の識別が正確にできる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章中の主語を正確に見極め、文脈をとることができる。登場人物同士のやり取りを読み取り、登場人物の心情の変化の理解につなげる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章理解のために、登場人物同士の関係を理解しようとしている。古文において主語を特定する意義を理解しようとしている。	○指導事項 ・敬語の種類・敬意の方向の判別 ・「ぬ」「し」「らむ」「る」「けれ」「しか」「に」の識別 ・『源氏物語』に特徴的な宮中における人間関係の理解 ・登場人物の置かれた状況や心情の理解 【教材】 『源氏物語』 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。		○	○	【知識・技能】 敬語の種類、敬意の方向について正しく理解している。文章中の紛らわしい語句の識別について正しく理解している。 【思考・判断・表現】 敬語や文脈から主語を正しく判別している。登場人物同士の関係性を正しく理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 人物同士の関係を理解して読解につなげている。主語を特定することで文脈を理解して読み進めている。	○	○	○	
		文章の主題を捉えて漢文を読み解く 【知識及び技能】 漢文に特徴的な語句、句法、音韻を理解できる。文の主語を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の文構造を理解し、文章の核となる部分を読み解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を理解するために、句法を理解しようとしている。漢文世界の思想を理解しようとしている。	○指導事項 ・否定形、疑問形、反語形、詠嘆形、受身形、仮定形、使役形などの句法　・熟語の読み　・用字 ・漢文思想　・文章表現 【教材】 「夢渓筆談」「列子」「淮南子」「帰田録」 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。		○	○	【知識・技能】 重要語句及び句法について正しく理解している。文の主語を理解し読解につなげている。 【思考・判断・表現】 文章全体の文構造を理解し読解につなげている。文章の主題となる部分を正しく理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまで習ってきた句法を駆使して読解につなげている。漢文に特有の思想について文章の主題から理解につなげている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査		○	○		○	○		
2学期	中間考査まで	演習問題から古典読解の実力をつける 【知識及び技能】 文章を読み解くために必要な単語、用字を正しく理解できる。文章を読み解くために必要な文法事項、漢文句法を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章中の主語を正確に見極め、文脈をとることができる。登場人物同士のやり取りを読み取り、登場人物の心情の変化の理解につなげる。文構造から主張を読み取り、文章の主題の理解につなげる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章理解のために、登場人物同士の関係を理解しようとしている。古文において主語を特定する意義を理解しようとしている。	○指導事項 ・助詞、助動詞の識別　・敬語の識別 ・漢文句法、用字の理解　・古文単語の知識 ・主張、主題の読み取り　・記述問題の回答方法 【教材】「新国語問題集古典編第54集（啓隆社）」 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。		○	○	【知識・技能】 古典の読解に必要な文法事項や古文単語、漢文の句法や用字の知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 登場人物同士のやり取りや背景知識も駆使しながら文脈を精確に読み取ることができている。文構造を体系的に理解し、主題を読み取ることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人物同士の関係を理解して読解につなげている。主語を特定することで文脈を理解して読み進めている。これまで習ってきた句法を駆使して読解につなげている。漢文に特有の思想について文章の主題から理解につなげている。	○	○	○	56
		講習活動を通して古典世界を味わう 【知識及び技能】 文章理解に必要な単語の意味を正しく理解し解釈できる。助動詞や助詞を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や助詞を正しく理解し、文章を正しく解釈できる。語りの位置を踏まえて、登場人物同士の関係性を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史物語や近代の物語を読み味わうことを通して当時の社会やものの見方を理解しようとしている。	○指導事項 ・助詞、助動詞の識別　・敬語の識別 ・文章世界の理解　・古典世界の理解 【教材】「大鏡」「雨月物語」 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。		○	○	【知識・技能】 古文読解に必要な文法事項や古文単語の知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 既習の知識を駆使して、文章を正しく解釈している。語りの位置を踏まえて心情変化や登場人物同士の関係性を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史物語や近代の文学を読むことを通してそれぞれの当時の社会を理解し、自身の考え方やものの見方について考えを深めている。	○	○	○	
		A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等				【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査		中間考査		○	○		○	○		
	期末考査まで	演習問題から古典読解の実力をつける 【知識及び技能】 文章を読み解くために必要な単語、用字を正しく理解できる。文章を読み解くために必要な文法事項、漢文句法を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章中の主語を正確に見極め、文脈をとることができる。登場人物同士のやり取りを読み取り、登場人物の心情の変化の理解につなげる。文構造から主張を読み取り、文章の主題の理解につなげる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章理解のために、登場人物同士の関係を理解しようとしている。古文において主語を特定する意義を理解しようとしている。	○指導事項 ・助詞、助動詞の識別　・敬語の識別 ・漢文句法、用字の理解　・古文単語の知識 ・主張、主題の読み取り　・記述問題の回答方法 【教材】「新国語問題集古典編第54集（啓隆社）」 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。		○	○	【知識・技能】 古典の読解に必要な文法事項や古文単語、漢文の句法や用字の知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 登場人物同士のやり取りや背景知識も駆使しながら文脈を精確に読み取ることができている。文構造を体系的に理解し、主題を読み取ることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人物同士の関係を理解して読解につなげている。主語を特定することで文脈を理解して読み進めている。これまで習ってきた句法を駆使して読解につなげている。漢文に特有の思想について文章の主題から理解につなげている。	○	○	○	
		講読活動を通して古典世界を味わう 【知識及び技能】 文章理解に必要な単語の意味を正しく理解し解釈できる。助動詞や助詞を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や助詞を正しく理解し、文章を正しく解釈できる。史伝として事実としての歴史と語りの違いを踏まえながら解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文学を読み味わうことを通して古典の時代を生きる女性像を理解しようとしている。	○指導事項 ・助詞、助動詞の識別　・敬語の識別 ・文章世界の理解　・古典世界の理解 【教材】「史記」 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。				【知識・技能】 漢文読解に必要な漢文句法や用字の知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 既習の知識を駆使して、文章を正しく解釈している。登場人物同士のやり取り から心情変化や登場人物同士の関係性を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 史伝を通じて歴史上の人物がどのような考えを持って当時を生きていたのかを読み取り、自身の者の見方や考え方を深めている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査					○	○		
3学期		演習問題から古典読解の実力をつける 【知識及び技能】 文章を読み解くために必要な単語、用字を正しく理解できる。文章を読み解くために必要な文法事項、漢文句法を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章中の主語を正確に見極め、文脈をとることができる。登場人物同士のやり取りを読み取り、登場人物の心情の変化の理解につなげる。文構造から主張を読み取り、文章の主題の理解につなげる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章理解のために、登場人物同士の関係を理解しようとしている。古文において主語を特定する意義を理解しようとしている。	○指導事項 ・助詞、助動詞の識別　・敬語の識別 ・漢文句法、用字の理解　・古文単語の知識 ・主張、主題の読み取り　・記述問題の回答方法 【教材】「新国語問題集古典編第54集（啓隆社）」 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。				【知識・技能】 古典の読解に必要な文法事項や古文単語、漢文の句法や用字の知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 登場人物同士のやり取りや背景知識も駆使しながら文脈を精確に読み取ることができている。文構造を体系的に理解し、主題を読み取ることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人物同士の関係を理解して読解につなげている。主語を特定することで文脈を理解して読み進めている。これまで習ってきた句法を駆使して読解につなげている。漢文に特有の思想について文章の主題から理解につなげている。	○	○	○	36
		講読活動を通して古典世界を味わう 【知識及び技能】 文章理解に必要な単語の意味を正しく理解し解釈できる。助動詞や助詞を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や助詞を正しく理解し、文章を正しく解釈できる。宮中の人物関係を踏まえながら登場人物の心情を正しく理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文学を読み味わうことを通して古典の時代を生きる女性像を理解しようとしている。	○指導事項 ・助詞、助動詞の識別　・敬語の識別 ・文章世界の理解　・古典世界の理解 【教材】「源氏物語」 ○スマートスクール端末の活用 ・予習・復習用の課題等を配布し、自学を促進する。				【知識・技能】 古文読解に必要な文法事項や古文単語の知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 既習の知識を駆使して、文章を正しく解釈している。語りの位置を踏まえて心情変化や登場人物同士の関係性を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物語を通じて宮中社会の在り方や当時の状況を理解し、自身の考え方やものの見方について考えを深めている。	○	○	○	
	定期考査		学年末考査					○	○		
										合計	140

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度　　教科　国語　科目　自由選択　古典演習

対象学年組：第　　3 学年　　A　組～　　C　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　『精選 古典探究 古文編』（明治書院）、『精選 古典探究 漢文編』（明治書院）　）
教科　　国語　　の目標：
【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
科目　　自由選択　古典演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	単元　随筆３ 【知識及び技能】 古文の語句の意味や用法を正しく理解し、時代背景をふまえて読解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、登場人物の発言とその意図を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 宮廷サロンで求められていた文学的素養について知り、当時の人々の生き方や価値基準を理解して現代や自身の生き方・価値基準との相違点を考察することができる。	・指導事項 敬語表現（最高敬語）、使役・尊敬の助動詞、撥音便無表記、古文常識（宮廷、女房文学） ・教材　「枕草子」より「雪のいと高う降りたるを」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 古文の語句の意味や用法を正しく理解し、時代背景をふまえて読解することができている。 【思考・判断・表現】 本文の内容を正しく読みとり、登場人物の発言とその意図を理解することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 宮廷サロンで求められていた文学的素養について理解し、現代と当時の生き方・価値基準の相違点を考察しようとしている。	○	○	○	24
		単元　詩１　近体詩 【知識及び技能】 近体詩のきまり、用いられている句法を理解して、本文を読解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、表現されている情景とその意図を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作者のおかれた境遇や価値観を理解して、現代や自己の生活や価値観について考察することができる。	・指導事項 近体詩のきまり（詩形、構成、対句、押韻）、累加の句法 ・教材　「白氏文集」より「香炉峰下新卜山居草堂初成偶題東壁」、「近体詩の形式」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 近体詩のきまり、用いられている句法を理解して、本文を読解することができている。 【思考・判断・表現】 本文の内容を正しく読みとり、表現されている情景とその意図を理解することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作者のおかれた境遇や価値観を理解して、現代や自己の生活や価値観について考察することができている。	○	○	○	
		単元　日記３ 【知識及び技能】 和歌の修辞、平安時代の恋愛や婚姻制度について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作者のおかれた立場・状況や登場人物の関係性をふまえて、本文を読解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文学の特徴や当時の人々の生き方・価値観に触れ、現代の生活や価値基準との相違点を考察することができる。	・指導事項 和歌の修辞（枕詞、序詞、掛詞、縁語）、敬語表現（最高敬語、二方面への敬意）、呼応の副詞、古文常識（婚姻制度、和歌のやりとり、方違え） ・教材　「蜻蛉日記」より「町の小路の女」、「和泉式部日記」より「夢よりもはかなき世の中を」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 和歌の修辞、平安時代の恋愛や婚姻制度について理解することができている。 【思考・判断・表現】 作者のおかれた立場・状況や登場人物の関係性をふまえて、本文を読解することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日記文学の特徴や当時の人々の生き方・価値観に触れ、現代の生活や価値基準との相違点を考察しようとしている。	○	○	○	
	定期考査		中間考査		○	○		○	○		
	期末考査まで	単元　文・随筆 【知識及び技能】 用いられている句法や用事を理解して、本文を読解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、筆者の主張を理解・考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作者のおかれた境遇や価値観を理解して、現代や自己の生活や価値観について考えを深めることができる。	・指導事項 疑問・反語・比較・詠嘆・否定・限定の句法 ・教材　韓愈「師説」、沈括「正午牡丹」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 用いられている句法や用事を理解して、本文を読解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、筆者の主張を理解・考察することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 作者のおかれた境遇や価値観を理解して、現代や自己の生活や価値観について考えを深めようとしている。	○	○	○	
		単元　物語４ 【知識及び技能】 古文の語句の意味や用法を正しく理解し、時代背景をふまえて読解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、物語の展開と登場人物の描かれ方を理解・考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作中の和歌・漢詩の用いられ方に着目し、平安貴族の教養の背景について理解・興味を深めることができる。	・指導事項 敬語表現（最高敬語、二方面への敬意）、助動詞の識別、古典常識（和歌・漢詩、旧国名） ・教材　「大鏡」より「道真の左遷」、「鴛宿梅」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 古文の語句の意味や用法を正しく理解し、時代背景をふまえて読解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、物語の展開と登場人物の描かれ方を理解・考察することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 作中の和歌・漢詩の用いられ方に着目し、平安貴族の教養の背景について理解・興味を深めようとしている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査					○	○		
2学期	中間考査まで	単元　問題演習 【知識及び技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を確認し、読解に活かすことができる。【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答となる選択肢についてその根拠を挙げることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通して、古典への理解・関心を深め、自己の課題の克服・能力の伸長に取り組むことができる。	・指導事項 既習事項の確認・反復（語句・文法・敬語表現・句法・背景知識等） ・教材　パワーマックス模擬古文・漢文１～２ ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を確認し、読解に活かすことができている。 【思考・判断・表現】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答となる選択肢についてその根拠を挙げたり、自分で調べたりすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習を通して、古典への理解・関心を深め、自己の課題の克服・能力の伸長に取り組もうとしている。	○	○	○	28
		単元　問題演習 【知識及び技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を確認し、読解に活かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答となる選択肢についてその根拠を挙げることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通して、古典への理解・関心を深め、自己の課題の克服・能力の伸長に取り組むことができる。	・指導事項 既習事項の確認・反復（語句・文法・敬語表現・句法・背景知識等） ・教材　パワーマックス模擬古文・漢文３～４ ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を確認し、読解に活かすことができている。 【思考・判断・表現】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答となる選択肢についてその根拠を挙げたり、自分で調べたりすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習を通して、古典への理解・関心を深め、自己の課題の克服・能力の伸長に取り組もうとしている。	○	○	○	
		単元　問題演習 【知識及び技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を確認し、読解に活かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答となる選択肢についてその根拠を挙げることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通して、古典への理解・関心を深め、自己の課題の克服・能力の伸長に取り組むことができる。	・指導事項 既習事項の確認・反復（語句・文法・敬語表現・句法・背景知識等） ・教材　パワーマックス模擬古文・漢文５～６ ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を確認し、読解に活かすことができている。 【思考・判断・表現】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答となる選択肢についてその根拠を挙げたり、自分で調べたりすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習を通して、古典への理解・関心を深め、自己の課題の克服・能力の伸長に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査		中間考査		○	○		○	○		
	期末考査まで	単元　問題演習 【知識及び技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を確認し、読解に活かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答となる選択肢についてその根拠を挙げることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通して、古典への理解・関心を深め、自己の課題の克服・能力の伸長に取り組むことができる。	・指導事項 既習事項の確認・反復（語句・文法・敬語表現・句法・背景知識等） ・教材　パワーマックス模擬古文・漢文７～８ ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を確認し、読解に活かすことができている。 【思考・判断・表現】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答となる選択肢についてその根拠を挙げたり、自分で調べたりすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習を通して、古典への理解・関心を深め、自己の課題の克服・能力の伸長に取り組もうとしている。	○	○	○	
		単元　入試問題演習 【知識及び技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を理解し、読解に活かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、根拠をもって正答を選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通して、自己の課題を意識して能力を伸ばすことができる。	・指導事項 問題演習を通じて、既習事項の定着・最終確認をはかり、初見の文章への実践的な対応力を高める。 ・教材　大学入学共通テストの問題（過去問・予想問題） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を理解し、読解に活かすことができている。 【思考・判断・表現】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答の選択肢についてその根拠を明らかにすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習を通して、自己の課題を意識して能力を伸ばそうとしている。	○	○	○	
3学期		単元　入試問題演習 【知識及び技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を理解し、読解に活かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を正しく読みとり、根拠をもって正答を選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通して、自己の課題を意識して能力を伸ばすことができる。	・指導事項 問題演習を通じて、既習事項の定着・最終確認をはかり、初見の文章への実践的な対応力を高める。 ・教材　大学入学共通テストの問題（過去問・予想問題） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 古文単語・文法、漢文の句法・用字、背景知識を理解し、読解に活かすことができている。 【思考・判断・表現】 本文の内容を正しく読みとり、正答・誤答の選択肢についてその根拠を明らかにすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習を通して、自己の課題を意識して能力を伸ばそうとしている。	○	○	○	18
	定期考査		学年末考査		○	○		○	○		
											合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 国語 科目 論理国語

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組 単位数： 3 単位
教科担当者：
使用教科書： （ 「論理国語」筑摩書房 ）
教科 国語 の目標：
【知識及び技能】 言語活動を通して、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、新たな考え方を構築する力などを育成する
【思考力、判断力、表現力等】 書くこと、読むことを通して、多面的多角的な視点から自己の考えを組み立て、見直し、表現する力を育成する
【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな言語活動に主体的に参加し、柔軟に学ぶ姿勢を確立し、社会や他者との間にあたらなる関係を構築する態度を育成する
科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
論証したり学術的な学習の基礎となる語彙力の育成。情報と情報との関係をつかむ。新たな考えの構築に資する読書の意義を学ぶ。	様々な分野の文章を参考に多面的な視点から自分の意見を見直す力、主張を支える根拠をそろえる力の育成。 文章を読む際、表現と書き手の意図の関係を念頭に、多面的多角的観点から評価する力の育成。書く力、読む力、考える力の育成。	「言葉」に関して固定的な見方をせず、常に真摯な態度で教材と向き合うとともに、柔軟に学ぶ姿勢があるかどうか。また書くこと、読むことを通して物の見方が更新され、考えの異なる他者とも関係を作ろうとできるか。新たな自己を発見する態度の育成。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 基・関	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元 【知識及び技能】二年次に学習した「現代日本の開化」（漱石）を踏まえ、鷗外の「舞姫」を参考にし、日本の近代化について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】「物語と歴史のあいだ」（野家啓一）や「物語としての自己」（野口裕二）で学んだ「歴史」や「物語」についての概念を用いて、情報や歴史はどのように語られるのか、リテラシーについて論理的に学習する。 ・記述プリント 【学びに向かう力、人間性等】近代化を迎えた明治期の人間の在り方から現代の日本を考える。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活″・指導事項 ・教材「物語としての自己」（野口裕二）参考「舞姫」（森鴎外）「物語と歴史のあいだ」（野家啓一） ・記述プリント ・一人１台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】日本の近代化について理解できたか 【思考・判断・表現】 他の教材と関係させて、情報に関する高度なリテラシーを持つことができたか 【主体的に学習に取り組む態度】近代化の進む明治期の社会や人間から、現代の自分たちを見直す視点を持つことができたか。	○	○	○	36
		A 単元 【知識及び技能】近代国家の成立と社会との関係、権力や民主主義について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】近代国家の持つ正負の二面性について捉え、自身の考えと他者の考えを交えて、多面的な分析力を育成する 【学びに向かう力、人間性等】書くことを通して、主体的、かつ積極的に他者と意見交換をし、自分の考えを深める	・指導事項 ・教材「権力とは何か」（杉田敦）「共同体から社会へ」（松井彰彦）「ナショナリズムは悪なのか」（萱野稔人）	○	○	○	【知識・技能】近代国家における権力や法、暴力、民主主義の関係が理解できたか 【思考・判断・表現】複数の教材をつなげて、近代国家に対して論理的かつ多面的な分析ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の意見を持ち、表現し、また意見の異なる他者とも意見交換ができたか。	○	○	○	
	定期考査		中間考査					○	○		
	期末考査まで	A 単元 【知識及び技能】芸術と人間、芸術と社会について学ぶ	・指導事項 ・教材「絵画の二十世紀」（前田英樹）「絵画は紙幣にあこがれる」（椹木野衣）・記述プリント	○	○	○	【知識・技能】芸術に関して見識を高めることができたか 【思考・判断・表現】複数の教材をつなげて高度でレトリカルな文章の主張を正確に把握することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 IT化が進む現代社会において「芸術」の価値について論理的に考えることができたか	○	○	○	
	定期考査		期末考査					○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元 【知識及び技能】貨幣、記号、過剰性、稀少性、承認願望、欲求と欲望など複雑な概念が絡まる抽象度の高い文章を整理し、関係をつまびらかにする を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資本主義社会の原理を学んだうえで、人に経済成長を強制する社会についての自身の意見をまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】社会と人間に関する洞察を深め、主体的に他者と意見を交換する	・指導事項 ・教材「過剰性と稀少性」（佐伯啓思）・記述プリント ・一人１台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】社会を構成する複雑な概念を整理し、その関係をつまびらかにし、原理を学ぶことができたか。 【思考・判断・表現】資本主義社会の原理を理解し、かつ自身の考えや意見を持つことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の意見を論理的に構築し、またそれを効果的に他者に伝	○	○	○	42
		A 単元 【知識及び技能】抽象的な言葉を仕分けし、それぞれの関係をつかみ、全体を整理する。本文を的確に理解する力を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】「安楽」という筆者の捉え方が社会や人間についてどのような洞察を生んでいるのか、理解する。またそれについて自身の考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】戦後の経験をどのように現代に生かすことができるのか、卓越した文章から現在の自分たちを見つめなおす目を養う。	・指導事項 ・教材「「安楽」への全体主義」（藤田省三） ・一人１台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】抽象度の高い文章を整理し、筆者の主張が理解できたか 【思考・判断・表現】戦後の日本社会についての筆者の洞察を理解し、自身の考えを持つことができたか、またそれを適切に表現することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】優れた文章から自分たちの現在地を見直すことができたか。またそのような力がついたか	○	○	○	
	定期考査		中間考査					○	○		
	期末考査まで	A 単元 【知識及び技能】問題演習を通して、自身に身についている「知識」「技能」を測る。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通してこれまでに身につけた「思考力、判断力、表現力」を測る。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に問題に取り組み、自身の弱点を洗い出す。	・指導事項 ・問題演習 ・一人１台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】問題演習から自身の弱点が見いだせたか 【思考・判断・表現】「記述プリント」等で培ってきた力が問題演習でいかせているか 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習に主体的に取り組めているか				
	定期考査		期末考査					○	○		
3学期		A 単元 【知識及び技能】問題演習を通して、自身に見についている「知識」「技能」を測る。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通してこれまでに身につけた「思考力、判断力、表現力」を測る。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に問題に取り組み、自身の弱点を洗い出す。	・指導事項 ・問題演習 ・一人１台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】問題演習から自身の弱点が見いだせたか 【思考・判断・表現】「記述プリント」等で培ってきた力が問題演習でいかせているか 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習に主体的に取り組めているか	○	○	○	27
	定期考査		学年末考査					○	○		
											合計 105

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　**地理歴史**　科目　**世界史演習**

対象学年組：第　3　学年　ＡＢ組～　Ｆ　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（詳説世界史　世界史探究　　）
教科　地理歴史　の目標：
【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色と世界の歴史日本の歴史に関して理解するとともに，調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
地理や歴史に関わる事象の意義，特色，相互の関連を，多面的・多角的に考察する力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う
地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目　世界史演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	産業革命とアメリカ独立革命 【知識及び技能】 産業革命に関する知識の定着をはかり、その後の世界経済に与えた影響、資本主義体制の確立の過程を理解する。市民革命の本質を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第12章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 1. 産業革命 2. アメリカ独立革命	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	24
		フランス革命とナポレオン 【知識及び技能】 フランス革命に関する知識の定着をはかり、その後のヨーロッパ世界に与えた影響、国民主権の確立の過程を理解する。またその概念がヨーロッパ全体に伝播したことの本質を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第12章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 3. フランス革命とナポレオン	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 ウィーン体制に関する知識の定着をはかり、その後のヨーロッパ世界に与えた政治・社会運動、新統一国家の成立の過程を理解する。またその概念がヨーロッパ全体に伝播したことの本質を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第13章　欧米における近代国民国家の発展 1. ウィーン体制の成立 2. ヨーロッパ諸国の再編と新統一国家の誕生	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	欧米における近代国民国家の発展 【知識及び技能】 アメリカ合衆国に関する知識の定着をはかり、その後の世界に与えた政治・社会運動、奴隷解放の成立の過程を理解する。またアメリカの発展が世界に与えた影響を理解する。西アジア地域の動揺について理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合・変容を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第13章　欧米における近代国民国家の発展 3. アメリカ合衆国の発展 4. 19世紀欧米の文化 第14章　アジア諸地域の動揺 1. 西アジア地域の変容	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		アジア諸地域の動揺 【知識及び技能】 南アジア・東南アジアに関する知識の定着をはかり、その後の民族運動の過程を理解する。また東アジアの植民地化が世界に与えた影響を理解する。アジア地域の動揺について理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合・変容を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第14章　アジア諸地域の動揺 2. 南アジア・東南アジアの植民地化 3. 東アジアの激動	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 古代オリエント・南アジア・中国古代文明に関する知識の定着をはかり、その後の文明成立の過程を理解する。また南北アメリカについても理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合・変容を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第1章　文明の成立と古代文明の特質 1. 古代オリエント文明とその周辺 2. 南アジアの古代文明 3. 中国の古代文明 4. 南北アメリカ文明	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	28
		中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 中央ユーラシア・秦漢帝国・中国の動乱に関する知識の定着をはかり、その後の東アジア文化圏の成立の過程を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合・変容を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第2章　中央ユーラシアと東アジア世界 1. 中央ユーラシア 2. 秦・漢帝国 3. 中国の動乱と変容 4. 東アジア文化圏の形成	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		南アジア世界と東南アジア世界の展開と西アジアと地中海周辺の国家形 【知識及び技能】 南アジアの統一国家とヒンドゥー教・東南アジア世界の展開，イラン諸国家およびギリシア人の都市国家に関する知識の定着をはかり、その後の諸地域の国家形成の成立の過程を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合・変容を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第3章　南アジア世界と東南アジア世界の展開 1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開 第4章　西アジアと地中海周辺の国家形成 1. イラン諸国家の興亡 2. ギリシア人の都市国家	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 イスラーム世界の成立とヨーロッパ世界の形成、イスラーム教の諸地域への伝播および西アジアの動向に関する知識の定着をはかり、その後の諸地域の国家形成の成立の過程を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合・変容を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第5章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1. アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2. ヨーロッパ世界の形成 第6章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1. イスラーム教の諸地域への伝播 2. 西アジアの動向	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		ヨーロッパ世界の変容と展開と東アジア世界 【知識及び技能】 ヨーロッパ世界の展開と変容、東アジア世界の展開およびモンゴルの大帝国に関する知識の定着をはかり、その後の諸地域の国家形成の成立の過程を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 諸地域の結合・変容を理解する。 【学びに向かう力・人間性など】 資料等から情報を読み取る技能を修得すると共に、収集した情報を正しく分析し自分なりの歴史観を養う。	第7章　ヨーロッパ世界の変容と展開 1. 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2. 東ヨーロッパ世界の展開 3. 西ヨーロッパ世界の変容 第8章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1. アジア諸地域の自立化と宋 2. モンゴルの大帝国	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		入試問題演習 【知識及び技能】 １年間の知識の定着を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 １年間で学習した内容を、自ら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 １年間で学習した内容を、今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	18
		入試問題演習 【知識及び技能】 １年間の知識の定着を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 １年間で学習した内容を、自ら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 １年間で学習した内容を、今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
								合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度　　教科 地理歴史　科目 世界史探究

対象学年組：第　3　学年　ＡＢＦ組～　ＤＥ 組　　　　単位数：　3　単位
教科担当者：
使用教科書：　（ 詳説世界史　世界史探究　）

教科　地理歴史　の目標：
【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解するとともに,調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意義,特色,相互の関連を,多面的・多角的に考察する力や,考察,構想したことを効果的に説明したり,それらを基に議論したりする力を養う
【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について,よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目　世界史探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 古代文明に共通する歴史的特質、メソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したこと、南アジアの風土に適合した生活が古くから営まれていたこと、東アジア各地の風土が先史文化を生み出したこと、アメリカ大陸各地で、環境に適応した文化・文明が発展したことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境と生活や文化との関連性、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響、アーリヤ人社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因、当時の政治や支配のあり方、南北アメリカ文明に共通する特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 文明の誕生、オリエント文明、南アジアの古代文明、中国の古代文明、南北アメリカ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	36
		中央ユーラシアと東アジア世界/南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活、秦・漢といった統一国家の支配体制、魏晋南北朝の動乱、隋・唐の社会や制度・支配体制、南アジアで生まれた宗教の社会や周辺諸地域へ与えた影響、インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝文化、東南アジアの国家形成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中央ユーラシアの人々の動向が世界の歴史に与えた影響、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化、魏晋南北朝時代の社会の特徴、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響、インド洋交易の広がり、ヒンドゥー教が社会に根づいた背景、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 中央ユーラシアの動向、秦・漢帝国、魏晋南北朝の動乱、東アジア文化圏の形成、南アジアで生まれた諸宗教、インド古典文化とヒンドゥー教、東南アジアの諸国家について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 中央ユーラシア――草原とオアシスの世界 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成 5 仏教の成立と南アジアの統一国家 6 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 7 東南アジア世界の形成と展開	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		西アジアと地中海周辺の国家形成/イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 イラン諸国家の興亡、アテネの民主政、ギリシア文化の特徴、ローマ帝国の成立過程、ローマ文化の特徴、キリスト教、イスラーム教、西ヨーロッパと東ヨーロッパ世界の形成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イラン文明が世界の諸地域に与えた影響、ギリシアの人の社会の特徴、ローマが地中海世界を統一して維持できた理由、キリスト教が急速に広がった理由、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 イラン文明、古代ギリシア、古代ローマ、キリスト教の成立、イスラーム教の成立と拡大、ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展 5 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 6 ヨーロッパ世界の形成	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	イスラーム教の伝播と西アジアの動向/ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカのイスラーム化、イスラーム教徒の連帯、中世の西ヨーロッパで発達した商業、ビザンツ帝国の衰退過程、封建社会の衰退と教皇権の衰退過程、中世の西ヨーロッパの文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教の伝播・拡大におけるトルコ人の役割、西アジアの社会へおよぼした影響、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響、ビザンツ帝国の衰退の要因、中央集権国家の形成に向けた各国の動き、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 イスラーム教の各地への伝播、変動する西アジアの情勢、中世の西ヨーロッパ、東ヨーロッパ世界、西ヨーロッパ世界の変容、中世の西ヨーロッパの文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向 3 西ヨーロッパの封建社会とその展開 4 東ヨーロッパ世界の展開 5 西ヨーロッパ世界の変容 6 西ヨーロッパの中世文化	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		東アジア世界の展開とモンゴル帝国/大交易・大交流 【知識及び技能】 東アジア内の交流と再編、モンゴル帝国の成立と解体、「世界の一体化」が始まった時期のアジア、ヨーロッパの海洋進出について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 宋代の経済発展が社会に引きおこした変化、モンゴル帝国の成立、アジアと世界の交流、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 10～12世紀の東アジア、モンゴル帝国、アジア交易世界、ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国 3 アジア交易世界の興隆 4 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	アジアの諸帝国の繁栄/近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 オスマン帝国とサファヴィー朝の統治、ムガル帝国の非イスラーム教徒に対する施策、清代の政治と社会の特徴、ルネサンスの特徴、ヨーロッパの宗教分布、主権国家体制の成立、オランダ・イギリス・フランスの課題、北欧・東欧各国の改革、科学革命について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 オスマン帝国とサファヴィー朝の特徴、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違い、ルネサンスの新しさと古さ、宗教改革の動きが広まった要因、主権国家体制の成立と戦争の関係、イギリスが覇権を握るに至った要因、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 オスマン帝国とサファヴィー朝とムガル帝国、清代の中国と隣接諸地域、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、オランダ・イギリス・フランスの覇権争い、北欧・東欧の動向、科学革命と啓蒙思想について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域 4 ルネサンス 5 宗教改革 6 主権国家体制の成立 7 オランダ・イギリス・フランスの台頭 8 北欧・東欧の動向 9 科学革命と啓蒙思想	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	42
		産業革命と環大西洋革命/イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 産業革命、アメリカ合衆国の独立、フランス革命とナポレオンの台頭、中南米諸国の独立、ウィーン体制や1848年革命、19世紀のヨーロッパ情勢、南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造、19世紀欧米文化の展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命が社会に与えた影響、アメリカ合衆国独立の独自性、フランス革命、中南米諸国の独立が達成された要因、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景、アメリカ合衆国の急速な発展の要因、19世紀欧米文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 イギリス産業革命、アメリカ合衆国の独立、フランス革命とナポレオン、中南米諸国の独立、ウィーン体制、19世紀後半のヨーロッパの再編成、アメリカ合衆国の発展、19世紀欧米の文化について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立 5 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 6 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 7 アメリカ合衆国の発展 8 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		アジア諸地域の動揺/帝国主義とアジアの民族運動 【知識及び技能】 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移、ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化、欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革、第２次産業革命や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢、列強による世界分割、アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア各地での変化や改革、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係、東アジア国際秩序の変容、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景、列強による世界分割が各地に与えた影響、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 西アジアの変容、南アジア・東南アジアの植民地化、東アジアの激動、第２次産業革命と帝国主義、列強の世界分割、アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 4 第2次産業革命と帝国主義 5 列強の世界分割と列強体制の二分化 6 アジア諸国の変革と民族運動	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	第一次世界大戦と世界の変容/第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】 第一次世界大戦とロシア革命、第一次世界大戦後に形成された国際秩序、第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響、世界恐慌が国際関係に与えた影響、ヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動き、第二次世界大戦の経緯、第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容、1920年代の欧米各国における変容、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性、世界恐慌下の各国における変容、ファシズム諸国や日本の動き、第二次世界大戦の特徴、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ地域の民族運動、世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊、第二次世界大戦、第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 4 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 5 第二次世界大戦 6 新しい国際秩序の形成	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		冷戦と第三世界の台頭/冷戦の終結と今日の世界 【知識及び技能】 冷戦の進展、第三世界の台頭、核兵器の制限、1960年代以降の冷戦体制の動揺、1960～1980年代の各国の経済や社会、冷戦終結後の各地の状況、現代思想・文化の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下における東西両陣営の社会の変容、キューバ革命が国際社会に与えた影響、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺、オイル＝ショックとその影響、冷戦の終結、今日の世界が抱えている課題、文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺 4 産業構造の変容 5 冷戦の終結 6 今日の世界 7 現代文明の諸相	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		地球世界の課題の探究 【知識及び技能】 設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究する。	1 地球世界の課題の探究	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	27
		入試問題演習 【知識及び技能】 １年間の知識の定着を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 １年間で学習した内容を、自ら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 １年間で学習した内容を、今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
								合計 105

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　地理歴史　科目　地理演習

対象学年組：第　3 学年　A　組～　C　組　　単位数：　2　単位

教科担当者：

使用教科書：（　新詳地理探究（2025年『帝国書院』），標準高等地図（2025年『帝国書院』）　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解するとともに，調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意義，特色，相互の関連を，多面的・多角的に考察する力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論した

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目　地理演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを利用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考査や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚および理解

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	地形 【知識及び技能】地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて理解すること。 【思考力，判断力，表現力等】地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力，人間性等】地形について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1　地形の成因と地球表面の起伏 2　地球規模の大地形 3　河川流域と海岸にみられる小地形 4　そのほかの特徴的な小地形	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	24
		気候 【知識及び技能】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解すること。 【思考力，判断力，表現力等】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて，多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力，人間性等】気候について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1　気候の成り立ち 2　気候と生態系 3　世界の気候区分 4　さまざまな気候帯 5　気候変動と異常気象	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	
		地球環境問題 【知識及び技能】さまざまな地球環境問題を解決して，地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには，どのような考え方で，どのような取り組みをすればよいかについて理解すること。 【思考力，判断力，表現力等】さまざまな地球環境問題を解決して，地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには，どのような考え方で，どのような取り組みをすればよいかについて，多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力，人間性等】地球環境問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1　地球環境問題とは 2　さまざまな地球環境問題 3　地球環境問題の解決に向けた取り組み	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	農林水産業 【知識及び技能】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて理解すること。 【思考力，判断力，表現力等】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力，人間性等】農林水産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1　農業の発達と分布 2　農業の地域区分 3　現代世界の農業の現状と課題 4　日本の農業の現状と課題 5　世界と日本の林業 6　世界と日本の水産業	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	
		工業 【知識及び技能】さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて理解すること。 【思考力，判断力，表現力等】さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて，多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力，人間性等】工業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1　工業の発達と種類 2　工業の立地 3　世界の工業地域 4　現代世界の工業の現状と課題 5　工業の知識産業化とスタートアップ企業 6　日本の工業	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	人口 【知識及び技能】増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布，年齢別構成，移動には，どのような特徴がみられるかについて理解すること。 【思考力，判断力，表現力等】増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布，年齢別構成，移動には，どのような特徴がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力，人間性等】人口について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1　世界の人口 2　人口の移動 3　人口問題	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	28
		村落と都市 【知識及び技能】村落や都市の立地や発達，形態，変容のしかたにみられる傾向や規則性，国や地域によって異なる地域性について理解すること。 【思考力，判断力，表現力等】村落や都市の立地や発達，形態，変容のしかたにみられる傾向や規則性，国や地域によって異なる地域性について，多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力，人間性等】村落と都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1　集落の成り立ち 2　村落の形態と機能 3　都市の成立と形態・機能 4　都市圏の拡大と都市の構造	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	
		都市・居住問題 【知識及び技能】世界の都市が持続的に発展していくための課題，日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解すること。 【思考力，判断力，表現力等】世界の都市が持続的に発展していくための課題，日本の都市の課題と解決するための取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力，人間性等】都市・居住問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1　発展途上国の都市・居住問題 2　先進国の都市・居住問題 3　日本の都市・居住問題	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	各国地誌 【知識及び技能】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解すること。 【思考力，判断力，表現力等】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力，人間性等】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1 アジア・アフリカ地誌 2 ヨーロッパ地誌 3 ロシア地誌 4 アメリカ地誌 5 ラテンアメリカ地誌 6 オセアニア地誌	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	
		入試問題演習 【知識及び技能】 1年間の知識の定着を確認する。 【思考力，判断力，表現力等】 1年間で学習した内容を，自ら表現することができる。 【学びに向かう力，人間性等】 1年間で学習した内容を，今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		入試問題演習 【知識及び技能】 1年間の知識の定着を確認する。 【思考力，判断力，表現力等】 1年間で学習した内容を，自ら表現することができる。 【学びに向かう力，人間性等】 1年間で学習した内容を，今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	18
		入試問題演習 【知識及び技能】 1年間の知識の定着を確認する。 【思考力，判断力，表現力等】 1年間で学習した内容を，自ら表現することができる。 【学びに向かう力，人間性等】 1年間で学習した内容を，今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】ClassiNOTEの取り組み	○	○	○	
	定期考査				○	○		
							合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　地理歴史　科目　地理総合

対象学年組：第　1 学年　A　組～　G　組　　単位数：　2　単位

教科担当者：

使用教科書：（『高等学校 新地理総合』（2024年、帝国書院）、『標準高等地図』（2024年、帝国書院）　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解するとともに，調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意義，特色，相互の関連を，多面的・多角的に考察する力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目　地理総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したり，考察，構想したことを効果的に説明したり，議論したりしている。	地理に関わる諸事象について，国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	地球上の位置と時差 【知識及び技能】 地球上の位置と時差について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地球上の位置と時差が生活に与える影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 地球上の位置と時差が生活に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 地球上の位置と時差 ・教材 『高等学校 新地理総合』p6-8 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 緯度・経度の基本的なしくみ，緯度の違い，時差のしくみ，時差が生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 緯度・経度の基本的なしくみ，緯度の違い，時差のしくみ，時差が生活に与える影響について，多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 時差が生活に与える影響について，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	24
		地図の役割と種類 【知識及び技能】 地図の役割と種類について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地図の役割と種類が生活に与える影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 地図の役割と種類が生活に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 地図の役割と種類 ・教材 『高等学校 新地理総合』p10-21 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	
		現代世界の国家と領域 【知識及び技能】 現代世界の国家と領域について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の国家と領域が生活に与える影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の国家と領域が生活に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 現代世界の国家と領域 ・教材 『高等学校 新地理総合』p28-31 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 国家の領域や国境，日本の位置と領域について理解している。 【思考・判断・表現】 国家の領域や国境，世界的視野から見た日本の位置などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家の領域や国境，日本の位置と領域について，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	グローバル化する世界 【知識及び技能】 グローバル化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化が生活に与える影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化が生活に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 グローバル化する世界 ・教材 『高等学校 新地理総合』p32-41 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 国内や国家間の結び付きを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国内や国家間の結び付きについて，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	
		世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 世界の地形について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の地形が生活に与える影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地形が生活に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 世界の地形と人々の生活 ・教材 『高等学校 新地理総合』p46-57 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 人々の生活文化が世界の様々な地形の多様性や，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の地形と人々の生活について，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の地形と人々の生活について，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 世界の気候について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の気候が生活に与える影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の気候が生活に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 世界の気候と人々の生活 ・教材 『高等学校 新地理総合』p60-84 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 人々の生活文化が世界の様々な気候の多様性や，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の気候と人々の生活について，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の気候と人々の生活について，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	28
		世界の言語・宗教と人々の生活 【知識及び技能】 世界の言語・宗教について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の言語・宗教が生活に与える影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の言語・宗教が生活に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 世界の言語・宗教と人々の生活 ・教材 『高等学校 新地理総合』p86-100 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 人々の生活文化が世界の様々な言語や宗教によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の言語や宗教と人々の生活について，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の言語や宗教と人々の生活について，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	
		歴史的背景と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の歴史的背景について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の歴史的背景が生活に与える影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の人々の歴史的背景が生活に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 歴史的背景と人々の生活 ・教材 『高等学校 新地理総合』p102-118 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 人々の生活文化が歴史的背景によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 人々の歴史的背景について，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 人々の歴史的背景について，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	世界の産業と人々の生活 【知識及び技能】 世界の産業について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の産業が生活に与える影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の産業が生活に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 世界の産業と人々の生活 ・教材 『高等学校 新地理総合』p120-142 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 世界の産業によって人々の生活が変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の産業と人々の生活について，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の産業と人々の生活について，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	
		地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題と国際協力について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地球的課題と国際協力の現状や要因，解決の方向性について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力の現状や要因，解決の方向性について主体的に追求している。	・指導事項 地球的課題と国際協力 ・教材 『高等学校 新地理総合』p145-188 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 世界各地でみられる地球的課題で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球的課題について，国際協力や持続可能な社会づくりなどに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界各地でみられる地球的課題について，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		自然環境と防災 【知識及び技能】 自然環境と防災について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自然災害への備えや対応について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害への備えや対応について主体的に追求している。	・指導事項 自然環境と防災 ・教材 『高等学校 新地理総合』p189-218 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図、ハザードマップの活用	【知識・技能】 自然環境と防災について理解し，さまざまな自然災害に対応した地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災についての課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	18
		生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査方法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の地理的な課題について主体的に追求している。	・指導事項 生活圏の調査と地域の展望 ・教材 『高等学校 新地理総合』p219-227 ・一人１台端末の活用 Google Earthや地理院地図の活用	【知識・技能】 地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究方法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
							合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　地理歴史　科目　日本史演習

対象学年組：第　3　学年　A　組～　F　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（詳説日本史　日本史探究　　）
教科　地理歴史　の目標：
【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解するとともに，調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意義，特色，相互の関連を，多面的・多角的に考察する力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う
【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。
科目　日本史演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	開国と幕末の動乱 【知識及び技能】 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世から近代への転換期の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第11章　近世から近代へ 1　開国と幕末の動乱	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	24
		幕府の滅亡と新政府の発足 【知識及び技能】 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、天皇を中心とした統一国家構想が生まれ、尊王攘夷運動や倒幕運動を経て明治維新に至った過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近世から近代への国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世から近代への転換期の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第11章　近世から近代へ 2　幕府の滅亡と新政府の発足	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		幕府の滅亡と新政府の発足 【知識及び技能】 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、天皇を中心とした統一国家構想が生まれ、尊王攘夷運動や倒幕運動を経て明治維新に至った過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近世から近代への国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から明治維新の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第11章　近世から近代へ 2　幕府の滅亡と新政府の発足	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	明治維新と富国強兵 【知識及び技能】 文明開化の風潮，産業革命の展開，交通の整備と産業構造の変容，学問の発展や教育制度の拡充，社会問題の発生などを基に，産業の発展の経緯と近代の文化の特色，大衆社会の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米の思想・文化の影響，産業の発達の背景と影響，地域社会における労働や生活の変化，教育の普及との影響などに着目して，主題を設定し，日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，事象の変容や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の両解などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から明治維新の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第12章　近代国家の成立 1　明治維新と富国強兵	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		立憲国家の成立 【知識及び技能】 自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，条約改正を通じて立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代の政治の展開と国際的地位の確立について，事象の変容や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の両解などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から立憲国家の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第12章　近代国家の成立 2　立憲国家の成立	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	日清・日露戦争と国際関係 【知識及び技能】 日清・日露戦争を通じて，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，近代の政治の展開と国際的地位の確立について，事象の変容や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の両解などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から明治時代の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第13章　近代国家の展開 1　日清・日露戦争と国際関係	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	28
		第一次世界大戦と日本／ワシントン体制 【知識及び技能】 第一次世界大戦を通じて，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済，国民の政治参加の拡大について，事象の変容や意義，関係性なども多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の両解などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から明治・大正期の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第13章　近代国家の展開 2　第一次世界大戦と日本 3　ワシントン体制	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		近代の産業と生活 【知識及び技能】 社会問題の発生などを基に，産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済，国民の政治参加の拡大について，事象の変容や意義，関係性なども多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の両解などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から明治期の産業の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第14章　近代の産業と生活 1　近代産業の発展 2　近代文化の発達 3　市民生活の変容と大衆社会	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 恐慌と国際関係，軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会やアジア諸国との関係，政治・経済体制の変化，戦争の推移と国民生活への影響などに着目して，主題を設定し，第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて，事象の変容や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の両解などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から大正・昭和の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第15章　恐慌と第二次世界大戦 1　恐慌の時代 2　軍部の台頭	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 恐慌と国際関係，軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の政治や社会の模索と相違，冷戦の影響，グローバル化の進展の影響，国民の生活や地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，戦時と戦後の国家・社会の変容，戦後政治の展開，日本経済の発展，第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について，事象の変容や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の両解などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から昭和期の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第15章　恐慌と第二次世界大戦 3　第二次世界大戦	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		入試問題演習 【知識及び技能】 1年間の知識の定着を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 1年間で学習した内容を、自ら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1年間で学習した内容を、今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	18
		入試問題演習 【知識及び技能】 1年間の知識の定着を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 1年間で学習した内容を、自ら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1年間で学習した内容を、今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
								合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　地理歴史　科目　日本史探究

対象学年組：第　3　学年　A　組～　F　組　　単位数：　5　単位

教科担当者：

使用教科書：（詳説日本史　日本史探究　　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解するとともに，調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意義，特色，相互の関連を，多面的・多角的に考察する力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目　日本史探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	原始・古代の日本と東アジア 【知識及び技能】 前石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境と人間の生活との関ふ中、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	第１章　日本文化のあけぼの 第２章　古墳とヤマト政権	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	60
		原始・古代の日本と東アジア 【知識及び技能】 国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐などや中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と盛衰、古代の国家の形成の過程について、事象の変映や変義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の興隆などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 変映や変義、関係性を考察するための課題（問い）を設定し、歴史事象について、多面的・多角的に考察する。	第３章　律令国家の形成	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		中世の日本と世界 【知識及び技能】 奉族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 権力の主体の変化、アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から中世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第４章　貴族政治の展開	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	中世の日本と世界 【知識及び技能】 奉族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 権力の主体の変化、アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から中世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第４章　貴族政治の展開 第５章　院政と武士の躍進	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		中世の日本と世界 【知識及び技能】 武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公武関係の変化、東・北（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の変映や変義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の興隆などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から中世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第６章　武家政権の成立	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	中世の日本と世界 【知識及び技能】 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域種方の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の変映や変義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の興隆などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から中世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第７章　武家社会の成長	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	70
		近世の日本と世界 【知識及び技能】 幾豊政権の統治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。また、四つ制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 村落や都市の生活の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第８章　近世の幕開け	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		近世の日本と世界 【知識及び技能】 四つ制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幾豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の変映や変義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の興隆などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第９章　幕藩体制の成立と展開	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	近世の日本と世界 【知識及び技能】 四つ制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幾豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の変映や変義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の興隆などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第９章　幕藩体制の成立と展開	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
		近世の日本と世界 【知識及び技能】 産業の発達、飢饉一揆の発生、幕府政治の動揺と雄藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会・経済の仕組みの変化、幕府や雄藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、、近世の国家・社会の変容について、事象の変映や変義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の興隆などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世の特色についての仮説を表現することを通じて、見通しをもって学習する。	第10章　幕藩体制の動揺	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		入試問題演習 【知識及び技能】 １年間の知識の定着を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 １年間で学習した内容を、自ら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 １年間で学習した内容を、今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	45
		入試問題演習 【知識及び技能】 １年間の知識の定着を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 １年間で学習した内容を、自ら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 １年間で学習した内容を、今後に活かそうとしている。	1 入試問題演習	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークなど	○	○	○	
							合計	175

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度　　教科　地理歴史　科目　歴史総合・歴史探究基礎

対象学年組：第　　2 学年　　A　組～　　F　組　　単位数：　4　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　歴史総合　近代から現代へ（山川出版社）　）
教科　　地理歴史　　の目標：
【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解するとともに，調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるよ
【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意義，特色，相互の関連を，多面的・多角的に考察する力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論した
【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。
科目　　歴史総合・歴史探究基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。また、歴史総合で学んだ歴史的な視点や課題探究能力を、日本史探究、世界史探究における「テーマ探究」や「現代社会の	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。また、歴史総合で学んだ歴史的な視点や課題探究能力を、日本史探究、世界史探究における「テーマ探究」	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。また、歴史総合で学んだ歴史的な視点

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元 【知識及び技能】 諸地域世界の風土と歴史的特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域世界の風土と歴史的特徴について、相違点を考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域世界の風土と歴史的特徴について、地図や諸資料を活用しながら分析させる。	（巻頭資料）諸地域世界の形成	【知識及び技能】 諸地域世界の風土と歴史的特徴を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域世界の風土と歴史的特徴について、相違点を考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域世界の風土と歴史的特徴について、地図や諸資料を活用しながら分析することができる。	○	○	○	48
		A 単元 【知識及び技能】 18 世紀のアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀の世界に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅰ部　近代化と私たち 第１章　結びつく世界 １アジア諸地域の繁栄と日本 ２ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	【知識及び技能】 18 世紀のアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀の世界に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	
		A 単元 【知識及び技能】 18世紀の工業化と世界市場の形成を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀のアジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀の世界に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅰ部　近代化と私たち 第２章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 １ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ２アメリカ独立革命とフランス革命 ３・４ 19世紀前半・後半のヨーロッパ ５ 19世紀のアメリカ大陸 ６西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 ７中国の開港と日本の開国	【知識及び技能】 18世紀の工業化と世界市場の形成を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀のアジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現するころができる。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀の世界に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	A 単元 【知識及び技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀後半以降の立憲体制に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅰ部　近代化と私たち 第３章　明治維新と日本の立憲体制 １明治維新と諸改革 ２明治初期の対外関係 ３自由民権運動と立憲体制	【知識及び技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の立憲体制と国民国家の形成を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀後半以降の立憲体制に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	
		A 単元 【知識及び技能】 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して帝国主義政策の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅰ部　近代化と私たち 第４章　帝国主義の展開とアジア １条約改正と日清戦争 ２日本の産業革命と教育の普及 ３帝国主義と列強の展開 ４世界分割と列強の対立 ５日露戦争とその影響	【知識及び技能】 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して帝国主義政策の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元 【知識及び技能】 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、国際協調体制の特徴などを考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦の展開などに関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅱ部　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第５章　第一次世界大戦と大衆社会 １第一次世界大戦とロシア革命 ２国際平和と安全保障 ３アジア・アフリカ地域の民族運動	【知識及び技能】 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、国際協調体制の特徴などを考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦の展開などに関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	56
		A 単元 【知識及び技能】 大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦後の展開などに関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅱ部　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第５章　第一次世界大戦と大衆社会 ４大衆消費社会と市民生活の変容 ５社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	【知識及び技能】 大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを考察し，表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦後の展開などに関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	
		A 単元 【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際協調体制の動揺などに関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅱ部　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第６章　経済危機と第二次世界大戦 １世界恐慌の発生と各国の対応 ２ファシズムの台頭 ３日本の恐慌と満洲事変 ４日中戦争と国内外の動き ５第二次世界大戦と太平洋戦争	【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。。 【学びに向かう力、人間性等】 国際協調体制の動揺などに関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	A 単元 【知識及び技能】 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅱ部　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第７章　戦後の国際秩序と日本の改革 １新たな国際秩序と冷戦の始まり ２アジア諸地域の独立 ３占領下の日本と民主化 ４占領政策の転換と日本の独立	【知識及び技能】 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	
		A 単元 【知識及び技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治・経済に及ぼした影響を考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦下の国際政治の変容や世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅲ部　グローバル化と私たち 第８章　冷戦と世界経済 １集団防衛体制と核開発 ２米ソ両大国と平和共存 ３西ヨーロッパの経済復興 ４第三世界の連携と試練 ５55年体制の成立	【知識及び技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治・経済に及ぼした影響を考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦下の国際政治の変容や世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		A 単元 【知識及び技能】 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際政治の変容や世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅲ部　グローバル化と私たち 第８章　冷戦と世界経済 ６日本の高度経済成長 ７核戦争の恐怖から軍縮へ ８冷戦構造のゆらぎ ９世界経済の転換 10アジア諸地域の経済発展と市場開放	【知識及び技能】 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際政治の変容や世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	36
		A 単元 【知識及び技能】 冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦終結後の国際政治の変容と課題に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考える。	第Ⅲ部　グローバル化と私たち 第９章　グローバル化する世界 １冷戦の終結と国際情勢 ２ソ連の崩壊と経済のグローバル化 ３開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 ４地域紛争の激化 ５国際社会のなかの日本	【知識及び技能】 冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦終結後の国際政治の変容と課題に関して、自ら学ぶ力を養わせ、現代の社会とのつながりを考えることができる。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
							合計	140

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度　　教科　公民　　科目　公共

対象学年組：第　　1 学年　　A　組～　　G　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　高等学校　公共　第一学習社　　）
教科　公民　の目標：
【知識及び技能】　法、倫理、政治、経済、国際社会についての概念や理論を理解するとともに、資料活用能力を高めて主体的に問題解決を目指す力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】　現代の諸課題に対して事実をもとに多面的・多角的に考察し、合意形成や社会参画を視野に入れながら幅広く議論する力の修得を目指す。
【学びに向かう力、人間性等】　社会の形成者として民主政治や平和の大切さを認識するとともに、現代の社会課題を多角的、多面的に考察し、学び続ける力を育む。
科目　公共　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学校までの学習内容をもとに、2年後に成人、主権者になることを踏まえて社会に主体的に参画するために必要な概念や理論、公共的な空間における基本的原理の修得を目指す。法、政治、経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、課題解決に向かう力を育む。	持続可能な社会づくりに主体的に参画する態度、意識を醸成する。政治、経済、国際社会における今日的な課題や人間の生き方在り方について多面的に考察し、議論やレポート作成等を通して、社会的な合意形成を行う力を高める。	社会的事象に向き合い、自ら「問い」や「課題」を設定する力を育む。探究学習等を通して情報活用能力や他者と協働する力を高め、社会の諸課題に関心を持ち学び続ける態度、意識を涵養する。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元　公共的な空間と人間とのかかわり 【知識及び技能】 青年期、キャリア形成の基本的事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の特徴を自身のあり方とつなげて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 成人、主権者に必要な学び続ける力を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 青年期、キャリア形成についての学習事項を理解し、活用できる。 【思考・判断・表現】 青年期についての課題を、議論したり、文章にまとめたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習し、自律的に生活する大切さを自覚できる。	○	○	○	24
		A 単元　人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】 倫理的事項について、思想の特徴を理解する、 【思考力、判断力、表現力等】 哲学者の問題意識を学び、現代とつなげて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的事象と結びつけ、よりよく生きる力を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 功利主義、自由と自律、現代的正義論について基本事項を理解できる。 【思考・判断・表現】 社会的事象における解決課題を倫理面から考察し、議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他の哲学者について自ら調べ、探究する等に取り組むことができる。	○	○	○	
		A 単元　公共的な空間における基本的原理 【知識及び技能】 民主政治の基本原理について、理論的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の課題と関連させながら考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会の形成に向け、主体的に学習する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、法の支配等の基本原理の内容と意義を理解できる。 【思考・判断・表現】 多数決の課題や個人の尊重と人権保障等について多角的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会契約説を含む歴史的経緯等について主体的に学習できる。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	A 単元　法や規範の意義と役割 【知識及び技能】 法規範の意義と役割について、理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 法と基本的人権について、多面的に考え表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 立憲主義や人権にかかわる基礎的理論を探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 日本国憲法における基本的人権と社会的意義について理解できる。 【思考・判断・表現】 契約時の消費者保護等を「公正、正義」の観点から思考、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 判例や社会における法的課題を主体的に探究学習できる。	○	○	○	
		A 単元　司法参加と政治参加 【知識及び技能】 権力分立の意義と基本事項を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三権の役割について考察し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 各国の政治制度の比較などを主体的に学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 日本における司法、政治制度を理解できる。 【思考・判断・表現】 日本の統治機構を「幸福、正義、公正」に照らし課題を考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 判例や政策比較等を学習し、主権者になる自覚を持つことができる。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元　国際社会と国家主権 【知識及び技能】 国際法と国際社会の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会を「幸福、正義、公正」から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGｓについて現状と課題を主体的に学習できる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 国際法と国際連合についての基本事項を理解できる。 【思考・判断・表現】 国際社会の歩みを学び、持続可能な国際社会について考察、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界平和や国際的な人権保障等について探究する。	○	○	○	28
		A 単元　国際社会の変化と日本の役割 【知識及び技能】 国際社会と日本の安全保障の基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会における日本の役割について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 時事問題を学び、平和や人権尊重等を探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 日本国憲法の平和主義と安全保障の世界的な課題について理解できる。 【思考・判断・表現】 「幸福、正義、公正」から国際紛争等について思考し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会における課題を具体的に探究し、解決策等を考える。	○	○	○	
		A 単元　雇用と労働問題 【知識及び技能】 統計資料等を活用し、労働問題の課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義社会における富の格差等の課題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な経済のしくみについて考える。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 経済主体、企業、労働について基本事項を理解できる。 【思考・判断・表現】 分業と交換、資源の希少性等をもとに生産、分配のあり方を検討する。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済成長とワークライフバランスの両立等について主体的に学習する。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	A 単元　社会の変化と職業観 【知識及び技能】 戦後日本経済の歩みについて、概要を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「持続可能な日本経済」について考え、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本社会の構造と経済的変化について学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 戦後日本経済の変化と各々の時期の課題について整理し理解できる。 【思考・判断・表現】 技術革新や少子高齢化等を踏まえて、日本経済の未来像を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 戦後社会の変化等の歴史的経緯や地理的要因を主体的に学ぶ。	○	○	○	
		A 単元　市場経済の機能と限界 【知識及び技能】 市場機構と市場の失敗について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現実の取引と市場機構をつなげて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 経済発展と環境保全等の課題を主体的に学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 市場経済のしくみと限界について、基本事項を理解できる。 【思考・判断・表現】 「幸福、正義、公正」を実現する市場経済について考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多国籍企業の動向などを調べ、経済的な課題を多角的に学ぶ。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		A 単元　金融、財政、社会保障 【知識及び技能】 金融、財政、社会保障の基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 3つの事項における課題を整理し、政策判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 景気変動と金融、財政、社会保障の関係を学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 金融、財政、社会保障の働きと課題を整理し、理解できる。 【思考・判断・表現】 「幸福、正義、公正」を実現する市場経済について考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な金融、財政、社会保障について調べ、検討できる。	○	○	○	18
		A 単元　経済のグローバル化 【知識及び技能】 国際経済の基本的なしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル経済下の日本経済のあり方を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGsとつなげ、国際経済の課題を主体的に学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 比較生産費説、国際収支表、自由貿易の意義等について理解できる。 【思考・判断・表現】 貧困や環境保全等を含めた国際経済と日本について考え、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本が今後の国際経済において重視すべき方向性を探究できる。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
							合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　公民　科目　政治・経済

対象学年組：第　3 学年　A　組～　F　組　　単位数：　単位
教科担当者：
使用教科書：（　政治・経済　東京書籍　）
教科　公民　の目標：
【知識及び技能】　法、倫理、政治、経済、国際社会についての概念や理論を理解するとともに、資料活用能力を高めて主体的に問題解決を目指す力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】　現代の諸課題に対して事実をもとに多面的・多角的に考察し、合意形成や社会参画を視野に入れながら幅広く議論する力の修得を目指す。
【学びに向かう力、人間性等】　社会の形成者として民主政治や平和の大切さを認識するとともに、現代の社会課題を多角的、多面的に考察し、学び続ける力を育む。
科目　政治・経済　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「公共」での学習をもとに、現代日本の政治・経済及び国際政治・経済にかかわる法、政治、経済などの理論を理解し、課題解決に向けた資料活用能力などを養う。18歳に成年年齢を迎え主権者になる高校3年生が社会の形成者として自立するための基礎的な力の向上を目指す。	社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論を活用して現実の諸課題を多面的・多角的に理解し、課題解決を構想するとともに他者と協働しながらその妥当性について検討して実現する力の修得を目指す。	民主主義や平和の大切さを自覚して国際社会にも視野を向けながら生涯にわたり学ぶ姿勢を育み、よりよい社会の実現に主体的に社会参画できる力とともに多様な人々と議論しながら合意形成していく力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期 中間考査まで	A 単元　民主政治の基本原理　日本国憲法の基本原理 【知識及び技能】 民主政治、日本国憲法の基本原理の基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治、日本国憲法の基本原理について多面的、多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治、日本国憲法の基本原理をもとに現実の諸課題を理解し、問題解決を構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	24
	A 単元　日本の政治機構 【知識及び技能】 日本の統治機構について、基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治機構にかかわる諸課題を多面的、多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 18歳成人、主権者として、よりよい社会形成の実現に向けた課題解決を構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	
	A 単元　現代政治の特質と課題 【知識及び技能】 現代日本政治について、基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本政治にかかわる諸課題を多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 18歳成人、有権者として、主体的に政治参加、社会参画するとともに、社会課題の解決を構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
期末考査まで	A 単元　現代の資本主義経済　現代経済のしくみ 【知識及び技能】 資本主義経済のしくみと基本理論について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義経済のしくみと基本理論をもとに、経済的な諸課題を多面的、多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 18歳成人として経済的な自立を目指すとともに、よりよい経済活動の実現について構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	
	A 単元　日本経済の発展と現状 【知識及び技能】 日本経済の歩みと課題について、基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本経済の歩みと課題をもとに、今日的な経済の課題を多面的、多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 18歳成人、主権者として、健全な日本経済のあり方を構想し、持続可能な社会の実現に参画する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
2学期 中間考査まで	A 単元　福祉社会と日本経済の課題 【知識及び技能】 日本経済の諸課題と福祉社会について、基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の日本経済の課題の理解をもとに、課題解決について多面的、多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 18歳成人、主権者として、持続可能な経済のしくみを構想し、よりよい社会の形成に向けて学んでいく。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	28
	A 単元　国際政治のしくみ 【知識及び技能】 国際政治について、基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際政治や国際社会の特質についての理解をもとに、今日の国際政治の課題を多角的、多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際政治の基本原理について理解を深め、世界平和の実現に向けた方策について構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	
	A 単元　複雑化する国際政治と日本 【知識及び技能】 戦後の国際関係と諸課題について、基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の国際関係と諸課題についての理解をもとに、地球的課題について多面的、多角的に理解し、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における日本の役割について学ぶとともに、世界平和や持続可能な社会について構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
期末考査まで	A 単元　国民経済と国際経済 【知識及び技能】 国際経済のしくみと特質について、基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 貿易と国際収支や南北問題などについて多角的、多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様化する国際経済の課題について学び、持続可能な国際経済のしくみについて構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	
	A 単元　世界経済の現状と課題 【知識及び技能】 世界経済の現状と課題について、基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題や資源・エネルギー問題などを理解し、地球的課題について多角的、多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化する世界経済について理解を深め、よりよい世界経済について構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
3学期	A 単元　国際社会の諸課題 【知識及び技能】 国際社会の諸課題について、基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化の進展に合わせた社会変容について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の諸課題の解決に向けて、取りうる方策について現実を踏まえて構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	18
	A 単元　1年間のまとめ 【知識及び技能】 政治・経済で学んだ知識及び技能を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 1年間に学んだことをもとに、よりよい社会の実現について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 変化し続ける日本国内や国際社会のありようを学び続け、よりよい社会の形成者として社会課題の解決を構想する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 教科書の本文と脚注の内容を正確に理解するとともに、様々な資料を活用できる。 【思考・判断・表現】 学習内容にかかわる様々な課題について周囲の生徒と議論し、課題解決に向けた方策を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スライド資料や資料集を活用して学習内容を整理でき、サブノートを活用して基本事項の定着に努めることができる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
						合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度　　教科 数学　　科目 数学Ⅰ

対象学年組：第　1 学年　A　組～　G　組　　　単位数：　3　単位
教科担当者：
使用教科書：　(　数学Ⅰ(数研出版)　)

教科　数学　の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】　数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする
【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡
【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返っ

科目　数学Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	第1章 数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数と式を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数と式を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節　式の計算 1. 多項式 2. 多項式の加法と減法および乗法 3. 因数分解 発展　3次式の展開と因数分解 第2節　実数 4. 実数	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに，簡単な無理数の計算をすることができる。 ・二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，一次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	19
		第2章　集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，集合と命題を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 集合と命題を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1. 集合 2. 命題と条件 3. 命題と証明 発展　命題「すべてのxについてp」「あるxについてp」 ・教材 教科書（数学Ⅰ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅰ(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し，簡単な命題の証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合と命題の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	第3章　2次関数 【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，2次関数を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節　2次関数とグラフ 1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ 研究　グラフの移動 3. 2次関数の最大と最小 研究　定義域の両端が動く場合の最大 4. 2次関数の決定 第2節　2次方程式と2次不等式 5. 2次方程式 ・教材 教科書（数学Ⅰ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅰ(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し，二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	19
	定期考査				○	○		1
2学期	中間考査まで	第3章　2次関数（つづき） （同上）	・指導事項 6. グラフと2次方程式 発展　放物線と直線の共有点 7. グラフと2次不等式 研究　絶対値を含む関数のグラフ ・教材 教科書（数学Ⅰ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅰ(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効	（同上）	○	○	○	17
		第4章　図形と計量 【知識及び技能】 三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、三角比を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、三角比の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 第1節　三角比 1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張 第2節　三角形への応用 4. 正弦定理 5. 余弦定理 ・教材 教科書（数学Ⅰ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅰ(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	16
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	第4章　図形と計量（つづき） （同上）	・指導事項 第2節　三角形への応用（つづき） 6. 正弦定理と余弦定理の応用 発展　三角形の形状 7. 三角形の面積 発展　ヘロンの公式 8. 空間図形への応用 ・教材	（同上）	○	○	○	8
		第5章　データの分析 【知識及び技能】 データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、データの分析を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 データの分析を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、データの分析の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 データの分析について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位範囲 4. 分散と標準偏差 研究　変量の変換 5. ２つの変量の間の関係 研究　最小２乗法 6. 仮説検定の考え方 発展　仮説検定と反復試行の確率 ・教材 教科書（数学Ⅰ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅰ(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ(数研出版)	【知識・技能】 ・分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え	○	○	○	13
	定期考査				○	○		1
3学期		（2学期で終了）						
	定期考査							
								合計
								105

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度　　教科　数学　科目　数Ⅱ

対象学年組：第　　1 学年　　A　組～　　G　組　　単位数：　1　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　数学Ⅱ(数研出版)　　）
教科　　数学　　の目標：
【知識及び技能】　数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする
【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡
【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返っ
科目　　数Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	(1,2学期では取り扱わない)						–
2学期							
3学期	第1章　式と証明　第2章　複素数と方程式 【知識及び技能】 式と証明の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠	・指導事項 第1章 第1節　式と計算 1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 研究　$(a+b+c)n$の展開式 3. 多項式の割り算 4. 分数式とその計算 5. 恒等式 研究　3つの文字についての恒等式 第2節　等式と不等式の証明 6. 等式の証明 7. 不等式の証明	【知識・技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすることができる。 ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 ・因数定理について理解し，簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・実数の性質や等式の性質，不等式の性質などを基に，等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し，証明することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，方程式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	22
	第3章　図形と方程式 【知識及び技能】 図形と方程式の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，図形と方程式の考え方を用いて事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	・指導事項 第1節　点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 （以降は2年生へ続く） ・教材 教科書（数学Ⅱ(数研出版)），　チャート式 基礎からの　数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版)	【知識・技能】 ・座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。 ・座標平面上の直線を方程式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
						合計	35

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度（１学年用）

教科 数学 科目 数学A

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組 単位数： 2 単位
教科担当者：
使用教科書： 数学A(数研出版))
教科 数学 の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする
【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡
【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返っ
科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節 場合の数 1. 集合の要素の個数 研究 3つの集合の和集合の要素の個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 円順列・重複順列 ・教材 教科書（数学A(数研出版)），チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ＋A(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用し	○	○	○	11
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	第1章 場合の数と確率（つづき （同上）	・指導事項 第1節 場合の数 5. 組合せ 研究 重複を許して取る組合せ 第2節 確率 6. 事象と確率 7. 確率の基本性質 ・教材 教科書（数学A(数研出版)），チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ＋A(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	（同上）	○	○	○	11
	定期考査				○	○		1
2学期	中間考査まで	第1章 場合の数と確率（つづき （同上）	・指導事項 第1節 場合の数 9. 反復試行の確率 10. 条件付き確率 研究 原因の確率 11. 期待値 ・教材 教科書（数学Ⅰ(数研出版)），チャート式 基礎からの 数学Ⅰ(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	（同上）	○	○	○	8
		第2章 図形の性質 【知識及び技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力や養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 第1節 平面図形 1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心，内心，重心 研究 三角形の垂心 3. チェバの定理，メネラウスの定理 研究 チェバの定理の逆， メネラウスの定理の逆 研究 三角形の辺と角 ・教材 教科書（数学A(数研出版)），チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ＋A(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しよとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	第2章 図形の性質 （同上）	・指導事項 第1節 平面図形（つづき） 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 方べきの定理 7. 2つの円の位置関係 8. 作図 研究 正五角形の作図	（同上）	○	○	○	12
	定期考査				○	○		1
3学期		第3章 数学と人間の活動（整数の内容） 【知識及び技能】 数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解 3. 最大公約数，最小公倍数 4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式 発展 補足．合同式 補足．互除法の原理の証明 補足．2次の不定方程式 ・教材 教科書（数学A(数研出版)），チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A(数研出版)，サクシード 数学Ⅰ＋A(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・人間の活動における数学のよさを認識し，様々な場面で数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 【思考・判断・表現】 ・数量に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間の活動における数学のよさを認識し，様々な場面で数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
	定期考査				○	○		1
							合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度　　教科　数学　　科目　数学Ⅱ

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組　　　単位数：　3　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　数学Ⅱ（数研出版）　）

教科　数学　の目標：
【知　識　及　び　技　能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	第3章　図形と方程式 【知識及び技能】 図形と方程式の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりす る力，図形と方程式の考え方を用いて事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節　③ 直線の方程式 第2節　円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 第3節　軌跡と領域 8. 軌跡と方程式	【知識・技能】 ・座標平面上の円を方程式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	19
		第4章　三角関数 【知識及び技能】 三角関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する様々な性質について考察することができ,加法定理から新たな性質を導くことができたり,式とグラフの関係について多面的に考察することができる力,二つの数量の関係の考え方を用いて事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節　三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 教科書（数学Ⅱ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・弧度法の考え方で角度を示したり,拡張された一般角で三角関数の値を表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・三角関数を単位円を用いて表現したり,既習の三角比の考え方を用いて様々な問題について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	第4章　三角関数 【知識及び技能】 三角関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する様々な性質について考察することができ,加法定理から新たな性質を導くことができたり,式とグラフの関係について多面的に考察することができる力,二つの数量の関係の考え方を用いて事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，	・指導事項 第1節　三角関数 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 第2節　加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	【知識・技能】 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ・三角関数の加法定理や２倍角の公式，三角関数の合成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	15
		第5章　指数関数と対数関数 【知識及び技能】 指数関数,対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数,対数関数に関する様々な性質について考察することができ,新たな性質を導くことができたり,式とグラフの関係について多面的に考察することができる力,二つの数量の関係の考え方を用いて事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 第1節　指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 教科書（数学Ⅱ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し，指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査				○	○		1
2学期	中間考査まで	第5章　指数関数と対数関数 【知識及び技能】 指数関数,対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数,対数関数に関する様々な性質について考察することができ,新たな性質を導くことができたり,式とグラフの関係について多面的に考察することができる力,二つの数量の関係の考え方を用いて事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第2節　対数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数 教科書（数学Ⅱ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版)	【知識・技能】 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
		第6章　微分法と積分法 【知識及び技能】 微分法と積分法の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 微分法と積分法に関する様々な性質について考察することができ,新たな性質を導くことができたり,式とグラフの関係について多面的に考察することができる力,二つの数量の関係の考え方を用いて事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節　微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数 第2節　導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと方程式・不等式 教科書（数学Ⅱ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・微分係数や導関数の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めることができる。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ・微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	16
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	第6章　微分法と積分法 【知識及び技能】 微分法と積分法の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 微分法と積分法に関する様々な性質について考察することができ,新たな性質を導くことができたり,式とグラフの関係について多面的に考察することができる力,二つの数量の関係の考え方を用いて事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第3節　積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積 教科書（数学Ⅱ(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・微分係数や導関数の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めることができる。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ・微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	21
	定期考査				○	○		1
3学期		2学期で終了						
								合計
								105

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 数学 科目 数学B

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組 単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： （ 数学B（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列や統計的な推測の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	第1章 数列 【知識及び技能】 数列の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和 3. 等比数列とその和 4. 和の記号Σ ・教材 教科書（数学B(数研出版)），チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めることができる。 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・事象から離散的な変化を見いだし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 ・事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用することができる。 ・自然数の性質を見いだし，それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに，他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	24
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	第1章 数列 【知識及び技能】 数列の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節 数列とその和 5. 階差数列 6. いろいろな数列の和 第2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法 ・教材 教科書（数学B(数研出版)），チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 ・漸化式について理解し，事象の変化を漸化式で表したり，簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 ・数学的帰納法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・事象から離散的な変化を見いだし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 ・事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用することができる。 ・自然数の性質を見いだし，それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに，他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	第2章 統計的な推測 【知識及び技能】 ・統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の変換 4. 確率変数の和と期待値 5. 独立な確率変数と期待値・分散 6. 二項分布 ・教材 教科書（数学B(数研出版)），チャート式 基礎からの 数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・標本調査の考え方について理解している。 ・確率変数と確率分布について理解している。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察することができる。 ・目的に応じて標本調査を設計し，収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして，母集団の特徴や傾向を推測することができる。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	28
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	第2章 統計的な推測 【知識及び技能】 ・統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会 の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	・指導事項 第1節 確率分布 7. 正規分布 第2節 統計的な推測 8. 母集団と標本 9. 標本平均とその分布 10. 推定 11. 仮説検定 ・教材 教科書（数学B(数研出版)），チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・標本調査の考え方について理解している。 ・確率変数と確率分布について理解している。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察することができる。 ・目的に応じて標本調査を設計し，収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして，母集団の特徴や傾向を推測することができる。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		総合演習 【知識及び技能】 ・数列や統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会 の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善し	・指導事項 総合演習 ・教材 教科書（数学B(数研出版)），チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B(数研出版)，サクシード 数学Ⅱ＋B(数研出版)，ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・1・2学期で学習した知識・技能についての内容が身についている。 【思考・判断・表現】 ・1・2学期で学習した思考力・表現力・判断力等に関わる内容が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数学を用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	18
	定期考査				○	○		
							合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度　　教科　数学　　科目　数学Cα

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組　　　単位数：　1　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　数学C（数研出版）　）

教科　数学　の目標：
【知　識　及　び　技　能】　数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Cα　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期							
2学期							
3学期	第1章　平面上のベクトル 【知識及び技能】 ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 第1節　平面上のベクトルとその演算 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 第2節　ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. ベクトル方程式 教科書（数学C(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅲ＋C(数研出版)，サクシード数学Ⅲ＋C(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高め	【知識・技能】 ・平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解している。 ・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察することができる。 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようと したりしている	○	○	○	17
	第2章　空間のベクトル 【知識及び技能】 ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1. 空間の座標 2. 空間ベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. 座標空間における図形 教科書（数学C(数研出版)），　チャート式 基礎からの 数学Ⅲ＋C(数研出版)，サクシード数学Ⅲ＋C(数研出版) ・一人１台端末の活用等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解している。 ・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察することができる。 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようと したりしている	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

年間授業計画 新様式

竹早 高等学校 令和7年度 教科 **数学** 科目 **数学ⅠＡα**

対象学年組：第 3 学年 D 組～ E 組 単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： （ 数学Ⅰ(数研出版) ・数学Ａ(数研出版) ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学ⅠＡα の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察する力を養う。社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数と式を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 数と式を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 式の計算(1) 2 式の計算(2) ３１次不等式の解法 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに，無理数の計算をすることができる。 ・乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象から数学的に捉え，1次不等式を問題解決に活用することができる。	○	○	○	5
		集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，集合と命題を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 集合と命題を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 4 集合 5 命題と論証 実践問題演習－数と式，集合と命題 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し，命題の証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合と命題の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	2
		2次関数 【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，2次関数を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 2次関数を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 6 2次関数 7 2次関数の最大・最小 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	5
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	2次関数、図形と計量 【知識及び技能】 三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，三角比を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 三角比を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，三角比の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 三角比について，数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 8 2次方程式と2次不等式 実践問題演習－2次関数 9 三角比の基本 10 三角比と図形(1) 11 三角比と図形(2) 実践問題演習－図形と計量 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査				○	○		1
2学期	中間考査まで	データの分析 【知識及び技能】 データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，データの分析を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 データの分析を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，データの分析の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 データの分析について，数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 12 データの代表値と散らばり 13 データの相関 14 仮説検定の考え方 実践問題演習－データの分析 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］	【知識・技能】 ・分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。	○	○	○	5
		場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 15 場合の数・順列(1) 16 順列(2)・組合せ ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学A(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・集合や要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的な法則について理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を順列や組合せの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	4
		場合の数と確率 同上	・指導事項 17 確率(1) 18 確率(2) 実践問題演習－場合の数と確率 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学A(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	同上	○	○	○	3
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	図形の性質 【知識及び技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力や表現する力を養う。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 19 平面図形(1) 20 平面図形(2) 21 空間図形 共通テスト対策演習 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学A(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ・図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	7
		数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データ上記の単元「数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質」と同様	・指導事項 共通テスト対策演習 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元「数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質」と同様	○	○	○	6
		数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データ上記の単元「数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質」と同様	・指導事項 共通テスト対策演習 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)・数学A(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元「数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質」と同様	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
3学期		数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データ上記の単元「数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質」と同様	・指導事項 共通テスト対策演習 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)・数学A(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元「数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質」と同様	○	○	○	8
		(1月で終了)						
	定期考査							
							合計	60

年間授業計画 新様式

竹早 高等学校 令和7年度

教科 数学 科目 数学ⅠAβ

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組 単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： （ 数学Ⅰ・A ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学ⅠAβ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期 中間考査まで	場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 16 場合の数・順列 17 組合せ 18 確率(1) 19 確率(2) ・教材 スタンダード数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学A(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求め	○	○	○	24
	整数の性質 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 12 数の理論 13 不定方程式 14 整数の様々の問題 ・教材 スタンダード数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学A(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・整数に関する基本的な関係や数え上げの原則について理解している。 ・具体的な数の意味を理解し，2元1次不定方程式を求めることができる。 ・違法について理解し，基本的な問題を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・解答の方法を多面的に考察することができる。 ・記述を的確に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・整数の性質を考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
期末考査まで	三角比・三角関数 【知識及び技能】 三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、三角比を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、三角比の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 28 三角比と三角形 29 図形と計量 ・教材 スタンダード数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
2学期 中間考査まで	式と証明，論理 【知識及び技能】 式と証明，論理についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，論理を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技術を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，証明の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 式と証明，論理について，数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 9 式の展開と因数分解 10 等式・不等式の証明 11 集合と論証 ・教材 スタンダード数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・二項定理について理解している。 ・証明の書き方の意義を理解している。 ・集合と論証を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・応用問題を定理や公式として導くことができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ・記述を的確に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	28
	2次関数 【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，2次関数を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 4 関数とグラフ 5 最大・最小 6 2次方程式の理論 7 種々の方程式の問題 8 不等式の種々の問題 ・教材 スタンダード数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
期末考査まで	図形の性質 【知識及び技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数と式を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の性質を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 21 図形の性質(1) 22 図形の性質(2) ・教材 スタンダード数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・図形の性質を理解するとともに，五心について考えることができる。 ・チェバ・メネラウスの定理を的確に利用することができる。 ・適切に方べきの定理を利用することができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，図形を捉えたり目的に応じて適切に補助線を引いたりすることができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数と式を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数と式を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 式の計算 2 剰等式・割り算　　3 方程式・不等式 ・教材 スタンダード数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・数と実数を関係する意義を理解するとともに，無理数の計算をすることができる。 ・乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
3学期	数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データ上記の単元「数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質」と同様	・指導事項 共通テスト対策演習 ・教材 スタンダード数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)・数学A(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元「数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質」と同様	○	○	○	8
	1月で終了			○	○		
						合計	60

年間授業計画 新様式

竹早 高等学校 令和7年度 教科 **数学** 科目 **数ⅡBCα**

対象学年組：第 3 学年 A 組～ G 組 単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： （ 数学Ⅱ(数研出版) ・数学B(数研出版) ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善した

科目 数ⅡBCα の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数列，統計的な推測，ベクトル，複素平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	「指数関数・対数関数」の学習では，二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて問題解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできるようにする。「三角関数」の学習では，三角関数に関する様々な性質について考察するとともに，三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができるようにする。「微分・積分」の学習では，関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて問題解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできるようにする。「数列」では，離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察できるようにする。「統計的な推測」では，確率分布や標本分布の性質に着目し，	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	三角関数 【知識及び技能】 （ア）角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 （イ）三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 （ウ）三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。 （エ）三角関数の加法定理や２倍角の公式，三角関数の合成について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）三角関数に関する様々な性質について考察するとともに，三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。 （イ）三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること。 （ウ）この数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	・指導事項 29 30 三角関数(1)(2)	【知識・技能】 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解するとともに，三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察し，三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること 【思考・判断・表現】 この数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
		指数関数・対数関数 【知識及び技能】 （ア）指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し，指数法則を用いて数や式の計算をすること。 （イ）指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 （ウ）対数の定義とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすること。 （エ）対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）指数と対数を相互に関連付けて考察すること。 （イ）指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察すること。 （ウ）この数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数・対数関数のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づ	・指導事項 31 指数関数 32 対数関数 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅱ，B，C(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B チャート式 基礎からの数学C	【知識・技能】 指数と対数を相互に関連付けて考察し，対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすること 【思考・判断・表現】 この数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	2
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	微分法・積分法 【知識及び技能】 （ア）微分係数や導関数の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めること。 （イ）導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解すること。 （ウ）不定積分及び定積分の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。	・指導事項 33 導関数と接線 34 関数の値の変化 35 微分法の応用 36 不定・定積分 37 面積の計算(1) 38 面積の計算(2) ・教材	【知識・技能】 関数とその導関数との関係について考察し，導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解すること 【思考・判断・表現】 関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること	○	○	○	5
	期末考査まで	数列 【知識及び技能】 （ア）等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めること。 （イ）いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 （ウ）漸化式について理解し，事象の変化を漸化式で表したり，漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 （エ）数学的帰納法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）事象から離散的な変化を見いだし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 （イ）事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用すること。 （ウ）自然数の性質などを見いだし，それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに，他の証明方法と比較し多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 42 等差・等比数列 43 種々の数列 44 漸化式，数列の応用 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅱ，B，C(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B チャート式 基礎からの数学C ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めるとともに，いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること 【思考・判断・表現】 漸化式について理解し，事象の変化を漸化式で表したり，漸化式で表された数列の一般項を求めたりするとともに，事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用すること 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査				○	○		1
2学期	中間考査まで	統計的な推測 【知識及び技能】 （ア）標本調査の考え方について理解を深めること。 （イ）確率変数と確率分布について理解すること。 （ウ）二項分布と正規分布の性質や物徴について理解すること。 （エ）正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察すること。 （イ）目的に応じて標本調査を設計し，収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして，母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに，標本調査の有効性の限界を批判的に考察すること。	・指導事項 41 統計的な推測(1) 42 統計的な推測(2) 43 統計的な推測(3) 実践問題演習ーデータの分析 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅱ，B，C(数研出版)］	【知識・技能】 標本調査の考え方について理解を深めること 確率変数と確率分布について理解すること 【思考・判断・表現】 二項分布と正規分布の性質や物徴について理解するとともに，確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察すること 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
		ベクトル 【知識及び技能】 （ア）平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解すること。 （イ）ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 （ウ）座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察すること。 （イ）ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすること。 （ウ）数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。	・指導事項 39 ベクトル 40 ベクトルと平面図形 41 ベクトルと空間図形 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅱ，B，C(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B チャート式 基礎からの数学C ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること 【思考・判断・表現】 数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ベクトルを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	4
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	複素数 【知識及び技能】 （ア）放物線，楕円，双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。 （イ）曲線の媒介変数表示について理解すること。 （ウ）極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解すること。 （エ）複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解すること。 （オ）ド・モアブルの定理について理解すること	・指導事項 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅱ，B，C(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B チャート式 基礎からの数学C ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 曲線の媒介変数表示について理解すること 極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解すること 【思考・判断・表現】 複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解するとともに，複素数平面における図形の移動などと関連付けて複素数の演算などの意味を考察すること 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素平面を用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断し ようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	7
		三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数上記の単元「三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数列，統計的な推測，ベクトル，複素平面」と同様	・指導事項 共通テスト対策演習 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅱ，B，C(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B チャート式 基礎からの数学C	上記の単元「数と式，集合と命題，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質」と同様	○	○	○	6
		三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数上記の単元「三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数列，統計的な推測，ベクトル，複素平面」と同様	・指導事項 共通テスト対策演習 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)・数学A(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元「三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数列，統計的な推測，ベクトル，複素平面」と同様	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
3学期		三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数上記の単元「三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数列，統計的な推測，ベクトル，複素平面」と同様	・指導事項 共通テスト対策演習 ・教材 ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 教科書［数学Ⅰ(数研出版)・数学A(数研出版)］ チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A ・一人１台端末の活用 等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元「三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数列，統計的な推測，ベクトル，複素平面」と同様	○	○	○	8
		(1月で終了)						
	定期考査							
							合計	57

年間授業計画 新様式

竹早 高等学校 令和7年度

教科 数学 科目 数ⅡBCβ

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組 単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： （ 数学Ⅱ(数研出版) ・数学B(数研出版) ・数学C(数研出版) ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善した

科目 数ⅡBCβ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
三角関数，指数関数，対数関数，微分法と積分法，数列，統計的な推測，ベクトル，複素平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	「指数関数・対数関数」の学習では，二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて問題解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできるようにする。「三角関数」の学習では，三角関数に関する様々な性質について考察するとともに，三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができるようにする。「微分・積分」の学習では，関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて問題解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	図形と方程式 【知識及び技能】 図形と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 図形と方程式を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 図形と方程式のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 点と直線 曲線と直線 軌跡と領域 領域の最大最小 図形と式の種々の問題	【知識・技能】 ・図形と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 図形と方程式をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
		三角関数 【知識及び技能】 （ア）角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理 解すること。 （イ）三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 （ウ）三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。 （エ）三角関数の加法定理や 2 倍角の公式，三角関数の合成について理解すること。	・指導事項 三角関数(1) 三角関数(2)	【知識・技能】 ・三角関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 三角関数をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	2
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	指数・対数関数 【知識及び技能】 指数・対数関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 指数・対数関数を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 指数・対数関数のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 指数関数・対数関数	【知識・技能】 ・指数・対数関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 指数・対数関数をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
	期末考査まで	微分・積分 【知識及び技能】 微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 微分・積分を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 微分・積分のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 導関数 関数の極値 最大・最小 方程式・不等式への応用 積分の計算 定積分で表された関数	【知識・技能】 ・微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 微分・積分をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査				○	○		1
2学期	中間考査まで	微分・積分 【知識及び技能】 微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 微分・積分を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 微分・積分のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 面積(1) 面積(2)	【知識・技能】 ・微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 微分・積分をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
		ベクトル 【知識及び技能】 ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 ベクトルを活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 ベクトルのよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 ベクトルの基本 ベクトルの内積 ベクトルと平面図形(1) ベクトルと平面図形(2) ベクトルと空間図形	【知識・技能】 ・ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ベクトルをより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	4
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	数列 【知識及び技能】 数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 数列を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数列のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 等差数列・等比数列 種々の数列 漸化式と数列 数学的帰納法 数列の応用	【知識・技能】 ・数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数列をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	7
		大学入試演習 上記の単元と同様	・教材 スタンダード数学演習ⅠⅡＡＢＣ（数研出版） 教科書［数学Ⅱ，B，C(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A チャート式　基礎からの数学Ⅱ＋B チャート式　基礎からの数学C ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限	上記の単元と同様	○	○	○	6
					○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
3学期		(1月で終了)			○	○	○	8
	定期考査							

合計 57

年間授業計画 新様式

竹早 高等学校 令和7年度

教科 数学 科目 数学Ⅲ

対象学年組：第 3 学年 A 組～ C 組 単位数： 4 単位

教科担当者：

使用教科書： （ 数学Ⅲ(数研出版) ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	関数 【知識及び技能】 関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数と式を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 関数を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数 ・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人1台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 関数の値の変化に着目し，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
		極限 【知識及び技能】 極限についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 極限を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数 4 関数の極限 5 三角関数の極限 6 関数の連続性 ・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人1台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・極限についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12
		定期考査			○	○		1
	期末考査まで	微分法 【知識及び技能】 導関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 導関数を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 微分係数と導関数 2 導関数の計算 3 いろいろな関数の導関数 4 第n次導関数 5 関数のいろいろな表し方と導関数 ・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人1台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・微分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 微分法について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12
	期末考査まで	微分法の応用 【知識及び技能】 導関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 導関数を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 接線と法線 2 平均値の定理 3 関数の値の変化 4 関数の最大と最小 5 関数のグラフ 6 方程式，不等式への応用 7 速度と加速度 8 近似式 ・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 ・微分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 微分法について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
		定期考査			○	○		1
2学期		積分法 【知識及び技能】 不定積分，定積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 不定積分，定積分を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 不定積分とその基本性質 2 置換積分法 3 部分積分法 4 いろいろな関数の不定積分 5 定積分とその基本性質 6 定積分と置換積分法 7 定積分の部分積分法 8 定積分の様々の問題 ・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 ・不定積分，定積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 不定積分，定積分について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	26
		定期考査			○	○		1
	期末考査まで	積分法の応用 【知識及び技能】 不定積分，定積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】 不定積分，定積分を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力，人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 面積 2 体積 3 曲線の長さ 4 速度と道のり ・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人1台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・不定積分，定積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 不定積分，定積分について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
		定期考査			○	○		1
3学期		数学Ⅲ総復習 上記の単元と同様	・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C クリアー数学Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元と同様	○	○	○	16
		(1月で終了)						
		定期考査						
							合計	98

年間授業計画 新様式

竹早 高等学校 令和7年度

教科 数学 科目 数学C

対象学年組：第 3 学年 A 組～ C 組 単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： （ 数学C(数研出版) ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	複素数平面 【知識及び技能】 複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数と式を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 複素数を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 複素数平面 2 複素数の極形式と乗法，除法 3 ド・モアブルの定理 4 複素数と図形 ・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C 教科書［数学C(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようしている。	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	式と曲線 【知識及び技能】 2次曲線についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数と式を用いて事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 媒介変数表示を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線 6 2次曲線の性質 7 曲線の媒介変数表示 8 極座標と極方程式 9 コンピュータといろいろな曲線 ・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	【知識・技能】 ・2次曲線についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようしている。	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
2学期		数学C復習 上記の単元と同様	・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C クリアー数学Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元と同様	○	○	○	13
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	共通テスト演習 上記の単元と同様	・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C クリアー数学Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元と同様	○	○	○	4
	定期考査				○	○		1
3学期		数学Ⅲ総復習(1月で終了) 上記の単元と同様	・教材 サクシード数学演習Ⅲ・C クリアー数学Ⅲ・C 教科書［数学Ⅲ(数研出版)］ チャート式　基礎からの数学Ⅲ＋C ・一人１台端末の活用　等 授業・授業外において、一人1台端末の利点を最大限に生かし、学習の効果や効率を高める。	上記の単元と同様	○	○	○	8
	定期考査							
							合計	49

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 理科 科目 地学基礎

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組　　単位数： 2 単位
教科担当者： A～G組
使用教科書： （ 高等学校 地学基礎 数研出版 ）
教科 理科 の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】 科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得を目指す。
【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけることを目指す。
【学びに向かう力、人間性等】 上記の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができることを目指す。
科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地球やその周りの環境についての知識の習得や科学的知識の概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得を目指す。	習得した「知識・技能」を活用して、地球やその周りの環境についての課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけることを目指す。	知識･技能および思考力･表現力･判断力の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができることを目指す。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	地球の形と大きさ 【知識及び技能】 エラトステネスの方法及び地球楕円体の理解 【思考力、判断力、表現力等】 エラトステネスの方法 地球が回転楕円体であることの根拠 【学びに向かう力、人間性等】 地球の形や大きさが測定されてきた歴史	・地球の形と大きさの測定の仕方 ・地球楕円体であることの測定の仕方	【知識・技能】 エラトステネスが地球の大きさを測定した方法を理解する。 【思考・判断・表現】 ・エラトステネスが地球の大きさを測定した方法について説明できる。 ・地球が赤道方向に膨らんだ回転だ円体である根拠を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球の形や大きさが測定されてきた歴史に興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	24
		地球の構造 【知識及び技能】 地球と形と大きさ　地球の構造 【思考力、判断力、表現力等】 地球内部の層構造の調べ方 【学びに向かう力、人間性等】 地球内部の層構造やその要因・発見の過程	・地球の構造の測定の仕方 ・地球内部は構成物質の違いから、地殻・マントル・核に分けられることの理解。 ・地球内部は構成物質の変形しやすさの違いからリソスフェア・アセノスフェアに分けられることの理解。 ・地球の構成物質の密度の測定	【知識・技能】 ・地球内部の層構造を知り、状態や構成物質の違いを理解する。 【思考・判断・表現】 ・地球内部の層構造を、構成物質と変形のしやすさのそれぞれの観点から説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球内部の構造やその要因・発見の過程に興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	
		プレートの運動 【知識及び技能】 プレートテクトニクスと地殻変動　プレート運動 【思考力、判断力、表現力等】 プレート運動と境界の関係 過去と現在のプレートの運動 【学びに向かう力、人間性等】 地球表層の地学現象とプレート運動	・海底地形と地震の分布および火山の分布との関連 ・プレート境界と地学現象の関連 ・ホットスポットとプレート運動の関連 ・プレート運動の原動力についての理解 ・プレート境界では断層や褶曲などの地質構造が形成されたり、変成作用が生じたりすること	【知識・技能】 ・プレート境界では大地形や地質構造が形成されることを理解する。 ・プレート境界やマグマの周囲で変成作用が生じることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・ホットスポットにより形成される火山・海山列とプレートの運動の関係を説明できる。 ・プレート運動の原動力について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレート運動のしかたに関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
	定期考査		中間考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正	○	○		
	期末考査まで	地震 【知識及び技能】 地震　地震の分布　地震災害 【思考力、判断力、表現力等】 震源の決定　プレート境界と地震　液状化現象 【学びに向かう力、人間性等】 日本で起こる地震の発生の仕組みや種類	・地震発生のしくみを、プレート運動と関連づける。 ・地震波の性質や、プレート境界と地震の分布の関係。 ・日本付近で発生する地震について理解を深め、地震によってどのような災害が発生し、どのような対応が必要かの理解。	【知識・技能】 ・地震発生の仕組み。進度とマグニチュード、地震波の伝わり方 【思考・判断・表現】 ・地震波の性質や、震源決定の方法について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本で起こる地震の種類や発生のしくみに興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	
		火山 【知識及び技能】 火山活動　火成岩　火山がもたらす恵みと災害 【思考力、判断力、表現力等】 火山噴火の仕組み　鉱物と火成岩の分類 【学びに向かう力、人間性等】 火山噴火の仕組みや、マグマの性質と噴火の仕方の関連	・火山噴火の仕組み、多様な噴火活動と火山地形、マグマが発生する仕組みを学ぶ。 ・火山活動はプレート運動と関連があり、火山の分布はプレート境界に多いことを理解。 ・火成岩の特徴や分類について。 ・日本における活火山を知り、火山災害への対応だけでなく、火山の恩恵についても理解する。	【知識・技能】 ・火山噴火のしくみや火山噴出物について理解する。 ・火山岩と深成岩の構造や成因の違いについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・火成岩を構成する鉱物と、火成岩の分類について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・火山がもたらす恵みと災害に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
	定期考査		期末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正	○	○		
2学期	中間考査まで	地層の形成 【知識及び技能】 堆積作用と堆積岩　地層の形成 【思考力、判断力、表現力等】 地形や堆積岩の形成過程 【学びに向かう力、人間性等】 堆積作用と堆積岩の関係	・堆積作用・侵食作用で形成される陸上と海底の地形や、堆積岩の形成過程を学ぶ。 ・土砂災害の種類についても学ぶ。 ・地層の重なり方や変形のしかた、堆積構造を観察することで、地層の本来の層序や堆積環境がわかることを理解する。	【知識・技能】 ・堆積岩の形成過程と種類について理解する。 ・堆積構造から地層の層序や堆積環境を推定できることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・地層中の堆積構造から読み取ることができる情報を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・形成後に変形した地層について、地層が変形する前の様子や変形の過程に興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	28
		古生物の変遷と地球環境 【知識及び技能】 化石と地質時代の区分　古生物の変遷 【思考力、判断力、表現力等】 地質時代の区分の仕方 【学びに向かう力、人間性等】 生物の活動によって形成された環境	・地球環境と古生物は互いに影響を及ぼしあって変遷し、現在の姿があることを理解する。 ・地球環境や古生物について調べる方法や地質時代の区分のしかたを理解し、時間の長さを感覚的にとらえる。 ・人類の進化についてを学ぶ。	【知識・技能】 ・化石を用いて地層の年代や地層が堆積した環境を推定できることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・生物の進化と古生物の変遷について説明できる。 ・古生物の変遷と地球環境の変化との関係について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古生物の変遷に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
		日本の自然環境 【知識及び技能】 気候の自然変動　人間活動による環境変化 【思考力、判断力、表現力等】 地形や水資源に関する日本の特徴 【学びに向かう力、人間性等】 日本で発生する自然災害	・地球を構成する大気、海洋、固体地球、生物の間には絶えず相互作用があることを踏まえ、気候の自然変動や人間活動による環境変化を、全地球的な空間スケール、および長期的な時間スケールでとらえて理解し、考える力を身につける。 ・日本は、特徴的な地形や気候によって、豊かな自然環境が育まれていることを理解する。一方で、多発する自然災害に対応する必要があることも学ぶ。	【知識・技能】 ・人間活動が原因とされる地球温暖化、オゾン層破壊、砂漠化、酸性雨の起こるしくみと、その影響や対策について理解する。 【思考・判断・表現】 ・人間活動によって起こる環境変化のしくみと、その影響について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の自然環境に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
	定期考査		中間考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正	○	○		
	期末考査まで	地球の熱収支 【知識及び技能】 大気の構造　地球全体の熱収支 【思考力、判断力、表現力等】 大気の層構造と各層の特徴 地球のエネルギー収支　温室効果 【学びに向かう力、人間性等】 地球が受ける太陽放射や地球の熱収支	・地球の大気が、気温の変化から4つの層に分けられていることを理解する。 ・対流圏で様々な気象現象のほとんどが起きていることを学ぶ。 ・太陽放射エネルギーと地球のエネルギー収支について理解する。 ・地球の自然環境は、地球のエネルギー収支のつりあいの上に成り立っていることを学ぶ。	【知識・技能】 ・大気の組成と気圧、大気の層構造、雲ができる仕組みを理解する。 ・地球全体のエネルギー収支がつりあっていることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・大気の層構造の各層の特徴、雲ができる仕組みを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中間圏より上の大気の組成にも興味をもち、自ら調べ学習に取り組める。	○	○	○	
		大気と海水の運動 【知識及び技能】 大気の大循環　海水の運動　日本の天気と気象災害 【思考力、判断力、表現力等】 大気の大循環の仕組み 【学びに向かう力、人間性等】 大気の大循環の仕組みに興味を持つ	・大気や海水の大循環は、緯度方向の熱収支の不均衡を是正するためのものであることを理解する。 ・長い時間をかけてめぐる海洋の鉛直方向の循環を学ぶ。 ・日本の各季節の天気の特徴を理解し、気象災害について学び、防災に役立てる。	【知識・技能】 ・熱収支には緯度による不均衡があり、大気や海洋が低緯度から高緯度へ熱を輸送していることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・大気の大循環が生じるしくみと、それがもたらす効果について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大気の大循環に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
	定期考査		期末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正	○	○		
3学期		太陽系と宇宙 【知識及び技能】 太陽系と太陽 【思考力、判断力、表現力等】 太陽系の天体　太陽　太陽系の誕生と現在の地球 【学びに向かう力、人間性等】 太陽系の天体に興味を持つ	・太陽系を構成する天体について理解を深める。 ・惑星の特徴、太陽の表面のようすやエネルギー源、太陽の活動について学ぶ。 ・太陽および太陽系の形成過程を学び、地球に生命が誕生した要因を理解する。	【知識・技能】 太陽系の天体についての理解 【思考・判断・表現】 ・惑星の内部構造の違いを惑星の形成過程をふまえて説明できる。 ・太陽系の惑星の比較から、地球に生命が存在できる理由について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・太陽の進化の過程に興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	18
		宇宙の誕生 【知識及び技能】 宇宙の誕生 【思考力、判断力、表現力等】 銀河系　宇宙の大規模構造　宇宙の誕生 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙の誕生に興味を持つ	・銀河系の構造を理解し、その中の太陽系の位置を学ぶ。 ・ビッグバンで始まった宇宙の誕生と変遷を学ぶ。	【知識・技能】 恒星や銀河の特徴、銀河系の構造、宇宙の進化の過程を理解する。 【思考・判断・表現】 ・銀河系の構造について、天の川の見え方から説明できる。 ・ビッグバンによる宇宙の誕生から、太陽や地球の誕生までの過程を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・宇宙の誕生に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
	定期考査		期末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正	○	○		
							合計	70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度　教科 理科　科目 化学基礎

対象学年組：第　1 学年　A　組～　G　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（　啓林館　「化学基礎」（化基706）　）
教科　理科　の目標：
【知識及び技能】　自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技術を身につけようとする。
【思考力、判断力、表現力等】　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。
科目　化学基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	序章　化学と人間生活　第1章　化学の特徴 【知識及び技能】化学と物質について化学の特徴を理解するとともに，観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】　化学と物質について，科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	・身のまわりの物や製品が物質でできていることに気づく。(教科書内の写真を活用) ・身のまわりの製品には，その物質がうまく利用されていることに気づく。(一人１台端末の活用) ・それぞれの物質には性質があり，私たちはそれを利用して生活していることを理解する。	【知識・技能】化学の特徴について理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学の特徴について，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】(化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り，振り返るなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	24
		第1部　物質の構成　第1章　物質の構成 【知識及び技能】本章で取り扱う事象について理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う事象について主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	・2種類の物質を区別する方法を考え，実際に分離する。(一人１台端末の活用・家庭での実験) ・混合物から成分となる物質を分離する方法があり，それは物質の性質によるものであることを理解する。 ・元素を確認する方法に，炎色反応や沈殿の生成があることを理解する。(一人１台端末の活用) ・物質が自然に広がっていく現象を拡散ということ，また，その現象は熱運動によることを理解する。	【知識・技能】化学と物質について，物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】　本章に関する事物・現象について，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章に関する事物・現象について主体的に関わり，振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	
		第1部　物質の構成　第2章　物質の構成粒子 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・物質を構成する粒子が原子であることに気づく。 ・陽子，中性子，電子の性質を理解する。 ・同じ原子であっても質量数の異なるものがあることに気づく。(一人１台端末の活用) ・電子配置で電子殻への電子の収まり方を知る。 ・電子配置は原子番号の順に規則正しく変化することを理解する。(教科書内の写真を活用) ・元素の周期律について確認する。元素の性質の規則性について考察する。(一人１台端末の活用)	【知識・技能】物質の構成粒子について，原子の構造，電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】原子の構造，電子配置と周期表について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】原子の構造，電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査		中間考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○		
	期末考査まで	第2部　物質の変化　1章　物質量と化学反応式 【知識及び技能】物質量，化学反応式のことを理解するとともに，観察・実験に関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質量等について，観察・実験などを通して，物質量，化学反応式を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質量，化学反応式に主体的に関わり科学的に探究する態度を養う。	・原子の質量を，相対質量をつかって表す方法について理解する。 ・物質量とその単位のmolの関係，さらに原子量・分子量・式量との関係やモル質量との関係がわかり，それらの単位変換を理解する。(一人１台端末の活用) ・モル濃度による溶液の濃度の表し方を理解する。 ・化学反応式やイオン反応式の書き方やそれが表している内容を理解する。(実験) ・化学反応式の係数が表している量的関係を考える。	【知識・技能】物質量，化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質量，化学反応式について，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】物質量，化学反応式について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○		
2学期	中間考査まで	第1部　物質の構成　第3章　化学結合 【知識及び技能】物質と化学結合について，各結合のことを理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質と化学結合について，各結合について違いを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】この章で学ぶ事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	・電子配置からイオンの生成を理解する。 ・イオンからなる物質の組成式およびイオン結晶の性質を理解する。 ・分子の特徴を知る。(一人１台端末の活用) ・共有結合の形成，構造式について理解する。 ・金属は，金属元素の原子が規則正しく配列してできた結晶であることを知る。 ・周期表の分類と結合の種類との間に，どのような関係性が見られるか考える。(一人１台端末の活用)	【知識・技能】物質と化学結合についての実験などを通して，イオンとイオン結合，分子と共有結合，金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】各結合について，違い等を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】各結合に関する事物・現象について主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	28
		第2部　物質の変化　第2章　酸と塩基 【知識及び技能】酸・塩基と中和のことを理解するとともに，観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを通して探究し，酸・塩基と中和を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	・酸と塩基の性質について理解する。 ・アレーニウスの酸・塩基の定義を理解する。 ・ブレンステッド・ローリーの酸・塩基の定義を理解する。 ・酸と塩基の価数を理解し，電離度を比較して酸と塩基の強弱の違いを考察する。	【知識・技能】酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸・塩基と中和について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸・塩基と中和について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査		中間考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○		
	期末考査まで	第2部　物質の変化　第2章　酸と塩基（後半） 【知識及び技能】酸・塩基と中和のことを理解するとともに，観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを通して探究し，酸・塩基と中和を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	・水溶液の酸性・塩基性は，水素イオン濃度の大小で表せることを知る。 ・水溶液の水素イオン濃度とpHの標記の関係性を理解する。(一人１台端末の活用) ・中和の条件は，酸から生じる水素イオンの物質量と塩基から生じる水酸化物イオンの物質量が等しくなることだと理解する。 ・中和滴定に用いる器具の使い方がわかり，中和滴定の実験操作を理解する。(実験)	【知識・技能】酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸・塩基と中和について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸・塩基と中和について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○		
3学期		第2部　物質の変化　第3章　酸化還元反応 【知識及び技能】酸化と還元のことを理解するとともに，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを通して探究し，酸化と還元を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	・酸化と還元は常に同時に起こることを知る。 ・酸化と還元が電子の授受によって統一的に説明できることを理解する。 ・酸化還元反応の化学反応式の作ることができ，この反応の量的関係を理解する。 ・実験観察を通して金属の陽イオンへのなりやすさを比較し，金属の反応性に違いがあることを知る。 ・実験観察を通して，金属のイオン化傾向と電流の流れる向きを比較し関係性を考える。	【知識・技能】化学反応についての実験などを通して，酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸化と還元について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸化と還元について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	18
		終章　化学が拓く世界 【知識及び技能】化学が拓く世界のことを理解するとともに，実験などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】見通しをもって実験を行い，人間生活と関連付けて，考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学が拓く世界に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	・化学基礎で学んできたことが日常生活や社会生活を支えている科学技術と結びついていることを理解する。	【知識・技能】科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学が拓く世界について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学が拓く世界について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査		学年末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○		
								合計
								70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　理科　科目　生物基礎

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：　啓林館　i版　生物基礎　　）
教科　理科　の目標：
【知識及び技能】　理科的なものの見方や考え方　・自然事象に対する概念や原理・法則の体系的な理解・観察、実験、調査についての技能
【思考力、判断力、表現力等】　知識・技能を活用できる力　・自然事象から見通しを立て課題や仮説を設定する力・観察、実験の組み立てから得られた結果を分析して解釈する力
【学びに向かう力、人間性等】　理科的なものの見方や考え方を自ら意欲的に身につけようとする力
科目　生物基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	生物の特徴 様々な生物の比較に基づいて，生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと，共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また，細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。	・生物の共通性と多様性をこの科目の導入に位置づけ，以降の学習においてこの視点を意識させて展開する。 ・原核細胞と真核細胞を学習する際に，両者の観察を行う。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識及び技能】 ・生物の共通性と多様性について，すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて，それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・試料の採取，染色などを行い，光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 ・生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。（実験評価） 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料や実験をもとに，生物に共通する性質を見いだし表現することができる。 ・細胞が生物の基本構造であることを，生物学的な視点から考察することができる。 （定期評価・課題提出）	○	○	○	24
		生物の特徴 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際，呼吸と光合成の概要を扱う。 ・代謝の反応が行われるときに，酵素がどのように関与しているのか理解させる。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。	・時間がある場合は，酵素の基質特異性や最適条件，呼吸や光合成の反応の過程などにも触れる。 ・時間がある場合は，細胞の共通性に関連して，呼吸と光合成が行われる細胞小器官の起源についても触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを，呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は，酵素が触媒していることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を，関連づけて考察し，それを表現できる。 （発問評価・課題提出） ・カタラーゼを用いた実験から，酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 （実験評価）	○	○	○	
		遺伝子とその働き DNAの構造や性質を，研究史を展開しながら理解させる。 ・DNA，遺伝子，ゲノムの関係性を理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に，複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解させる。	・時間がある場合は，DNAの分子構造や，染色体の構造についても触れる。 ・体細胞分裂の過程については，中学でも学習していることに留意する。 ・時間があれば，減数分裂時のDNA量の変化を体細胞分裂と比較して，違いを理解させる。また，DNA複製の過程についても理解させる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・DNAが二重らせん構造であること，そのため，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム，遺伝子，染色体，DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に，遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づき，DNAの構造を科学的に見いだすことができる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの性質や構造を，DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子，染色体，DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に，DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし，理解しようとする。 （授業態度）	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	遺伝子とその働き 2節　遺伝情報とタンパク質の合成 　2節　遺伝情報とタンパク質の合成 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ，それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。・DNAからタンパク質が合成される際には，転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。	・時間があれば，アミノ酸の構造やタンパク質の立体構造について触れる。 ・転写，翻訳の過程の詳細について，必要であれば触れる。また，その際，トリプレットとコドンの関係についても触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・DNAの塩基配列に基づいて，タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し，細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 （定期考査） ・試料の採取，染色などを行い，光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 （実験評価） 【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し，表現できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて，タンパク質が合成されることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	生物の多様性と生態系 3節　生態系と生物の多様性 　4節　生態系のバランスと保全 ・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと，人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。	・植物の環境形成作用が遷移の進行に影響すること，遷移の進み方はすべての植生で必ずしも同じではないことに留意させる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・陸上には，森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ，植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていることを理解している。 ・植生の遷移についてその過程を理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて，遷移の要因を見いだして理解することができる。 ・植生の遷移が，光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて，植生が変化する要因を見いだし，その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。	○	○	○	28
		生物の多様性と生態系 ・気温や降水量の違いにより，地球上には多くのバイオームが成立していることを理解させる。 ・遷移の結果として森林・草原・荒原のバイオームとなることを理解させる。 ・バイオームの構成要素である植物種を取り上げ，その場所の気温や降水量に適応していることを理解させる。	・バイオームの定義についてはその構成要素に動物も含まれるが，生物基礎ではおもに植物で説明を行うことに留意する。 ・自作プリント、教科書、PPT	（発問評価・授業態度） 【知識・技能】 ・地球上には，気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは，バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し，それを表現することができる。	○	○	○	
		3節　生態系と生物の多様性 　4節　生態系のバランスと保全 ・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと，人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。	・生物の関係性については捕食と被食を中心に扱い，生産者，消費者(分解者)について触れる。 ・人間活動の影響により，生物の多様性に変化がみられた例については，科学的なデータや根拠を示して，生態系の保全の重要性を理解させる。 ・生物の多様性の低下と関連させて，生物の絶滅についても扱う。 ・自作プリント、教科書、PPT	・生物の関係性については捕食と被食を中心に扱い，生産者，消費者(分解者)について触れる。 ・人間活動の影響により，生物の多様性に変化がみられた例については，科学的なデータや根拠を示して，生態系の保全の重要性を理解させる。 ・生物の多様性の低下と関連させて，生物の絶滅についても扱う。 ・自作プリント、教科書、PPT	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	ヒトの体の調節 第3章　ヒトのからだの調節 　1節　体内環境 ・動物が体内環境をもち，外界からの影響を適切に調節していることを理解させる。 ・恒常性により，体内環境が保たれていることを理解させる。 ・体液を調節することで，体内環境が保たれていることを理解させる。	・体内環境を一定に保つ仕組みを理解するために、肝臓と腎臓の働きについても詳しく触れる。 ・体内環境を維持することに関わる臓器について、実験観察を通して理解を深めさせる。	【知識・技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や，肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 （定期考査） ・解剖など生体を扱う技能を習得している。 （実験評価） 【思考・判断・表現】	○	○	○	
		ヒトの体の調節 2節　体内環境の維持のしくみ ・体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解させる。 ・体内環境の調節に，神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解させる。・ヒトの体液濃度の調節が，自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ・血糖濃度がホルモンと自律神経が関わるしくみで調節されていることについて理解させ，調節ができなくなったときに発症する疾患についても触れる。		【知識・技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており，ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 （定期考査） ・実験により得られたデータを比較・分析することにより，結論を導き出すことができる。 （課題提出・実験評価） 【思考・判断・表現】 ・体の調節に関する観察，実験などを行い，体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができる。 ・血糖濃度調節のしくみを，ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・[illegible]	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		ヒトの体の調節 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解させる。 ・病原体の侵入を防ぐための，異物を認識し，排除するしくみを理解させる。 ・免疫のしくみの概要を取り上げ，体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・免疫のしくみの概要を取り上げ，体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ，同じ疾患に二度はかからない仕組みを理解させる。	・二次応答における記憶細胞の存在や，予防接種などの医療利用についても取り上げる。 ・身近な疾患として花粉症やエイズなどを取り上げる。 ・自作プリント、教科書、PP	【知識・技能】・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて，異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し，表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について，身近な例をもとに説明することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	18
					○	○	○	
	定期考査				○	○		
							合計	
							70	

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度　　教科　理科　科目　物理基礎

対象学年組：第　　2 学年　　A　組～　　F　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：　　第一学習社 物理基礎　　）
教科　　理科　　の目標：
【知識及び技能】　科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得を目指す。
【思考力、判断力、表現力等】　習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけることを目指す。
【学びに向かう力、人間性等】　上記の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができることを目指す。
科目　　物理基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについての観察，実験などを行うことを通して，物体の運動と様々なエネルギーに関する概念や原理・法則の理解を図るとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けさせる。	物体の運動と様々なエネルギーを対象に，探究の過程を通して，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，実験データの分析・解釈，法則性の導出などの探究の方法を習得させるとともに，報告書を作成させたり発表させたりして，科学的に探究する力を育てる。	物体の運動と様々なエネルギーに対して主体的に関わり，それらの事物・現象に対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	1節　運動の表し方 【知識及び技能】 ・直線運動の変位，速度を扱い，運動の表し方を理解する。 ・直線運動の加速度を学び，等加速度運動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物体の運動についての実験を通して，物理量の測定方法と扱い方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	第1章　物体の運動 1節　運動の表し方 1　速さと等速直線運動 2　速度，位置と変位 3　平均の速度と瞬間の速度 4　速度の合成と相対速度 5　加速度（Ⅰ）〈実験〉 6　加速度（Ⅱ）	【知識・技能】 ・速度や加速度について，実験器具を用いて測定しながら運動を解析し，量的な関係を理解することができる。（課題提出） ・速度や加速度がベクトル量であることや，等速直線運動，等加速度直線運動を理解することができる。（定期考査） 【思考・判断・表現】 ・様々な物体の運動について，速度や加速度などの物理量を用いて，表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常的に見られる様々な運動を，物理的な運動と捉え，動きの規則性を解明しようとするなど意欲的に学習しようとする。（授業態度）	○	○	○	24
		1節　運動の表し方 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・物体の重力による運動を調べる。落下運動を等加速度運動の一例として扱う。 【学びに向かう力、人間性等】	第1章　物体の運動 1節　運動の表し方 9　落体の運動（Ⅰ） 10　落体の運動（Ⅱ） 11　落体の運動（Ⅲ）	【知識・技能】 ・落体の運動について，物体の時間や速度，位置についての関係を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・物体が重力のみを受けて運動するとき，どのような運動をするかを，速度，加速度などを用いて的確に表現することができる。（発問評価） ・速度，加速度，力について実験器具を用いて測定しながら運動を解析し，量的な関係を理解することができる。（課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常的にみられる落体の運動を物理的な現象として，運動の規則性や，その原因について解明するために，意欲的に学習しようとする。（授業態度）	○	○	○	
		2節　力	2節　力 1　力とは 2　力の性質	【知識・技能】 ・物体が受ける力を見つけることができ，矢印や音叉で表現することができる。（定期考査） ・また，力がベクトル量であることを理解し，矢印を使って，合成や分解した力を求めることができる。（定期考査） 【思考・判断・表現】 ・物体が力を受けているかどうか関心を持ち，力を意欲的に見つけようとする。（授業態度） ・速度，加速度，力について実験器具を用いて測定しながら運動を解析し，量的な関係を理解することができる。（課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	2節　力と運動の法則 【知識及び技能】 ・力のつり合い，作用反作用の法則を学び，作用反作用と力のつり合いの関係との違いについて理解する。 ・摩擦力，圧力，浮力などのいろいろな力について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・慣性の法則を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	第1章　物体の運動 2節　力と運動の法則 3　力のつり合い 4　作用・反作用の法則 5　慣性の法則 6　加速度が変化する要因（Ⅰ）〈実験〉 7　加速度が変化する要因（Ⅱ）	【知識・技能】 ・力のつり合いと作用反作用との違いについて関心を持ち，身の回りの物体が受ける色々な力を理解しようと意欲的に学習に取り組む。また，物体が受ける力と，運動との関係を意欲的に探求しようとする。（授業態度） ・探求活動とは何か，また，実験施の扱い方など，探求活動を行うために必要な知識や考え方を意欲的に身につけようとする。（授業態度） 【思考・判断・表現】 ・力のつり合いと作用反作用との違いを区別し，的確に表現することができる。また，慣性の法則について，物体が受けているカを考察し，的確に表現することができる。（発問評価） ・物体の運動から身の回りの慣性を見つけることができ，慣性の法則と運動の状態とにどのような関係があるか説明することができる。（発問評価） ・実験により得られた結果をグラフにまとめ，規則性や関係性を見いだすことができる。また，発表を行い，他の人に結果を報告することができる。（課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
		2節　力と運動の法則 【知識及び技能】 ・運動の法則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体的な問題に，運動方程式を適用できる。 【学びに向かう力、人間性等】	第1章　物体の運動 2節　力と運動の法則 8　運動の法則 9　運動方程式の活用（Ⅰ） 10　運動方程式の活用（Ⅱ） 11　摩擦を受ける運動（Ⅰ） 12　摩擦を受ける運動（Ⅱ） 13　気体や液体から受ける力（Ⅰ） 14　気体や液体から受ける力（Ⅱ）	【知識・技能】 ・運動と力に関する物理学の量的関係と向きに関する関係を理解し，運動の法則に基づいて様々な運動の規則性を見つけ，それらの運動を再現，考察することができる。（定期考査） 【思考・判断・表現】 ・運動の原因となる力を探る過程を通して，運動の法則を理解し，運動方程式に表すことができる。（課題提出） ・物体が静止しているときや，運動しているときに，物体が受ける摩擦力について，その向きや大きさがどのようになるかを理解し，的確に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動が物体の質量，加速度，力に関係していることに関心を持ち，その規則性について意欲的に解明しようとする。（授業態度）	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	第2章　エネルギー 1節　運動とエネルギー 【知識及び技能】 ・エネルギーは，物体のする仕事で測定できること，仕事の原理，仕事率の定義を理解する。 ・運動している物体がエネルギーを持つこと，運動物体のエネルギーと仕事の関係を理解する。 ・高いところにある物体や変形した物体がエネルギーを持つことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・力学的エネルギー保存の法則と，その法則が成り立つ条件を理解する。保存力以外の力が物体に仕事をする場合は，その仕事分だけ物体の持つ力学的エネルギーが変化することを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	第2章　エネルギー 1節　運動とエネルギー 1　仕事とエネルギー 2　運動エネルギー 3　力の向きと運動の向きが異なる場合の仕事と運動エネルギー 4　位置エネルギー 5　力学的エネルギー保存の法則 6　力学的エネルギー保存の法則の検証（実験） 7　弾性力がはたらくときの力学的エネルギー	【知識・技能】 ・運動状態や位置，基準面の違いなどにより，物体の持つエネルギーが異なることを理解できる。（発問評価） ・運動エネルギー，位置エネルギーなどを測定する実験を的確に実施し，運動エネルギーと位置エネルギーについて，仕事と関連付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・物体が仕事をされることにより，そのエネルギーが変化する現象について，考察し，物体が持つエネルギーは，力が物体にする仕事から測定できる事を見いだすことができる。（課題提出） ・物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換し，力学的エネルギーが保存されることについて，的確に考察することができる。（課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仕事とエネルギーの関係性について，関心を持ち，身の回りの現象と結びつけて考えるなど，意欲的に学習しようとする。（授業態度）	○	○	○	28
		第2章　エネルギー 【知識及び技能】 ・熱のマクロ的な意味，ミクロ的な意味を理解する。 ・熱運動・温度・熱の伝わり方・物質の三態について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・熱と仕事の同等性と違いについて理解する。仕事と熱はどちらも移動するエネルギーであり同等のはたらきをするが，仕事はすべて熱に変換できるが，熱をすべて仕事に変換できないこと，具体的に熱力学第一法則，熱機関について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	第2章　エネルギー 2節　熱 1　熱と温度 2　熱量の保存（Ⅰ）〈実験〉 3　熱量の保存（Ⅱ） 4　物質の状態変化 5　熱の利用	【知識・技能】 ・熱と温度の違いについて，原子や分子の熱運動の観点から定性的に理解することができる。（発問評価） ・熱についての観察，実験など適切に実施し，熱と温度，熱の利用について理解することができる。（課題提出） 【思考・判断・表現】 ・熱の移動にともなう温度変化についての，観察や実験を通して，高温物体と低温物体が接触して熱平衡に至る際に，熱量が保存されることについて考察し，比熱，質量，温度変化の関係について，的確に表現することができる。（課題提出） ・熱の利用について，物体の内部エネルギーと，得られる仕事について考察し，比熱，物体に出入りする熱量と，得られた仕事から，的確に熱効率を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・熱と温度との関係性や，熱の利用について関心を持ち，身の回りの現象と関連付けて，意欲的に学習しようとする。（授業態度）	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	第3章　波 1節　波の性質 【知識及び技能】 ・波を表すさまざまな量や用語を理解し，使えるようになる。 ・波の重 【思考力、判断力、表現力等】 ・波の性質，特に縦質の運動と波の伝播の違いを理解する。 ね合わせの原理と波の独立性を理解する。波の重ね合わせの原理から，反射や定在波のでき方が説明できることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平面を伝わる波の性質として，反射・屈折・解説・干渉について理解する。	第3章　波 1節　波の性質 1　波の動きと表し方 2　波の速さと波を表すグラフ 3　縦波と横波 4　波の独立性と重ね合わせの原理 5　定在波（定常波） 6　波の反射	【知識・技能】 ・ウェーブマシンやひもにより起こした波を観察し，波の動きと媒質の各点の動きの関係や，周期と振動数の関係などを理解することができる。（課題提出） 【思考・判断・表現】 ・波動現象を表すグラフが2種類あり，与えられた条件と組み合わせて一方のグラフから他方のグラフへ変換することができる。（課題提出） ・波の反射には2種類あり，それぞれにおいて入射した波と反射された波の関係がどのようになるかを理解し，反射波の作図ができる。（課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・いろいろな波の現象の存在を理解し，日常生活に存在する波動現象に関心を持ち，波の性質がどのように表されるかを結び付けて学習しようとする。（授業態度）	○	○	○	
		2節　音波 【知識及び技能】 ・波の伝わり方が波の性質を示すことから，音が波であることを理解する。 ・定在波の知識から，弦の振動や気柱の振動のどちらにも固有振動が生じることを理解する。 ・共振や共鳴は，同じ固有振動を持つ発音体の間で生じることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音波の性質として，回折・屈折・干渉・ドップラー効果について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	第3章　波 2節　音波 1　音の基本的な性質 2　音のさまざまな現象 3　弦の振動 4　気柱の共鳴（Ⅰ）〈実験〉 5　気柱の共鳴（Ⅱ）	【知識・技能】 ・弦に生じる定在波（弦の固有振動）について理解し，弦楽器から生じる音がどのようなものかという認識を持つことができる。（発問評価） ・気柱の共鳴について科学的な探究をおこない，管内に生じている定在波（気柱の固有振動）について理解することができる。（課題提出） 【思考・判断・表現】 ・重ね合わせの原理より，音波のうなりとついて理解し，うなりの周期について適切に説明することができる。（発問評価） ・うなりや弦の固有振動，気柱の固有振動といった現象が波の一般的な性質から理解するとともに，与えられた条件よりさまざまな物理量を求めることができる。（定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・音色も波の性質を表すことに関心を持ち，日常生活に存在する音の現象について探究しようとする意欲や態度が見られる。（授業態度）	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		第4章　電気 1節　物質と電流 【知識及び技能】 ・静電気の発生する仕組みや原因を探り，その正体を理解する。 ・電流の正体と電荷の移動との関係を理解させる。 ・電圧，オームの法則，抵抗の検証，抵抗率について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ジュール熱，電力量，電力を学習し，電気と仕事・エネルギーの関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	第4章　電気 1節　物質と電流 1　電流 2　抵抗率（Ⅰ）〈実験〉 3　抵抗率（Ⅱ）	【知識・技能】 ・原子の構造を基に，物体の帯電のしくみや静電気力の関係を適切に説明できる。（発問評価） ・抵抗の大きさについて科学的な探究をおこない，導体の形状と抵抗の大きさの関係について理解することができる。（課題提出） 【思考・判断・表現】 ・電流の大きさや向き，電圧について理解し，導線を移動する電子との関係を適切に説明できる。（発問評価） ・直列接続や並列接続における合成抵抗について理解することができ，導体の形状との対応関係を考察することができる。（発問評価） ・抵抗に電流が流れたときに発生するジュール熱と仕事との関係を考察し，電力や電力量の単位などを適切に表現することができる。（発問評価） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・静電気の現象がどのように生じるか，さらに身近な現象としてどのような電気現象があるかに関心を持ち，意欲的に学習しようとする。（授業態度）	○	○	○	18
		2節　磁場と電流 【知識及び技能】 ・電流と磁場の関係や磁場から電流が受ける力の基本について理解し，モーターや発電機の原理を理解する。 ・直流と交流の違い、交流に実効値があることを理解する ・変圧器と電力の輸送について理解する。 ・原子の構造と放射線や放射能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電磁波の発生法と利用について学び，電磁波の性質を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	第4章　電気 2節　磁場と電流 1　発電のしくみ 2　交流の利用 第5章　物理と社会 1節　エネルギーとその利用 1　エネルギーの変換と保存 2　エネルギー資源とその利用 3　核反応と原子力発電 4　放射線治療と放射線	【知識・技能】 ・コイル内の磁場の変化と電流の関係を基に，電磁誘導について適切に説明することができ，継続的な発電はどのようにすればできるのかを考察することができる。（発問評価） ・電気と磁気に関する基本的な現象について系統的に理解するとともに，与えられた条件よりさまざまな物理量を求めることができる。（定期考査） 【思考・判断・表現】 ・モーターや手回し発電機、変圧器の仕組みについて理解するとともに，交流の発電、実効値、電力の輸送について理解し，その仕組みを適切に説明できる。（発問評価） ・放射線について理解するとともに，放射線からの防護について総合的に判断することができる。（発問評価） ・原子力発電所の事故や放射線の利用について理解するとともに，持続可能な未来の実現のために人類ができることを考え，表現することができる。（発問評価） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電気や磁気の現象が，どのように生じるか，さらに身近な現象としてどのような電磁気現象があるかに関心を持	○	○	○	
	定期考査				○	○		
							合計	70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 理科 科目 化学特論

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組 単位数： 1 単位
教科担当者：
使用教科書： （ 数研出版「化学」（化706） ）
教科 理科 の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】 科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得。
【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。
【学びに向かう力、人間性等】 上記の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができるようになる。
科目 化学特論 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察，実験などを行い，科学的に探究できるようになる。	物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする。粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができるようになる。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	電池 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・ボルタ電池 ・ダニエル電池 ・鉛蓄電池 ・燃料電池 ・実用電池（リチウムイオン電池ほか）	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	12
		電気分解 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・さまざまな溶液の電気分解 ・ファラデーの法則	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査		実施なし					
	期末考査まで	脂肪族炭化水素 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・炭素と水素から成る化合物 ・アルカン、アルケン、アルキン	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査		期末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○		
2学期	中間考査まで	酸素を含む脂肪族① 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・アルコール ・エーテル ・アルデヒド ・ケトン	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	14
		酸素を含む脂肪族② 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・カルボン酸 ・油脂 ・セッケン ・合成洗剤	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査		実施なし					
	期末考査まで	芳香族化合物① 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・ベンゼン ・芳香族炭化水素 ・フェノール類	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査		期末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○		
3学期		芳香族化合物② 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・芳香族カルボン酸 ・芳香族アミン ・有機化合物の分離	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	9
	定期考査		学年末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○		
								合計 35

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　理科　科目　物理

対象学年組：第　3 学年　A　組～　C　組　　単位数：　5　単位
教科担当者：
使用教科書：（　第一　物理７０９　）
教科　理科　の目標：
【知識及び技能】　科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得。
【思考力、判断力、表現力等】　習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。
【学びに向かう力、人間性等】　上記の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができるようになる。
科目　物理　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・観察・実験などを通して、自然の物理的な事物・現象に対して、基本的な概念や、原理・法則を理解し、身につけている。 ・自然の物理的な事物・現象に関して観察・実験技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につけている。	・自然の物理的な事物・現象に問題を見いだし、実験・観察などを行うとともに、物理学的に探究する能力と態度が形成され、基本的な概念・法則を理解し、科学的な自然観をもつことができる。 ・実験の過程や結果及びそこから導き出した考えを的確に表現することができる。	・自然の物理的な事物・現象について関心、探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身につけている。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	第1章　さまざまな運動 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	第1章　さまざまな運動 1節　平面内の運動と剛体のつり合い 1　運動の表し方 2　落体の運動 3　剛体にはたらく力	【知識・技能】 ・運動の基本法則を理解し、それらを応用して様々な運動の解析に発展することを物理学的に理解し、未知の運動を予測できる。 ・力のつり合いと、モーメントのつり合いから、剛体の運動を予測できる。 ・平面の運動について、運動の法則を用いて、運動現象を統一的に理解できる。 ・剛体の転倒と安定の条件を理解し、日常生活との関連を考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・運動の相対性の視点から運動現象を観察でき、実験を考案できる。複雑な運動が基本的な運動のどのような組み合わせによって生じているのかを理解して、実験を計画できる。	○	○	○	60
		2節　運動量 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	2節　運動量 1　運動量と力積 2　運動量の保存 3　衝突とエネルギー 3節　円運動と単振動 1　等速円運動 2　慣性力	【知識・技能】 ・運動量保存の法則から、物体の衝突や、運動量と運動エネルギーとの違いについて、概念を理解し、違いを説明することができる。 ・観察する立場により生じる慣性力の存在について理解し、違いを説明することができる。 ・円運動や単振動・単振り子などの周期的運動の実験を的確に行い、周期と他の物理量との関係を導くことができる。 【思考・判断・表現】 ・運動量と力積の違いや、運動量と運動エネルギーとの違いを見出し、的確に表現することができる。	○	○	○	
		【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
	定期考査		上記指導内容と総合問題		○	○		
	期末考査まで	4節　万有引力　5節　気体分子の運動 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	4節　万有引力 1　ケプラーの法則 2　万有引力 3　万有引力による位置エネルギー 5節　気体分子の運動 1　気体の状態方程式 2　気体分子の運動 3　気体の内部エネルギー 4　気体の状態変化	【知識・技能】 ・万有引力により宇宙が力学的に解釈されることなどについて理解できる。 ・惑星の公転周期や手長軸の値から、的確なグラフをかくことができ、ケプラーの法則を導くことができる。また、各地の重力加速度の値を調べることで、資料調査・データの解釈ができるようになる。 ・気体に関して温度、圧力、体積の3つの変数の関係を理解し、実験を計画し実施できる。 ・理想気体の状態方程式、気体の状態変化について知識を身につけ、現象のミクロな理解ができ、分子の存在がマクロな現象の原因になっているということを統一的に理解できる。 【思考・判断・表現】 ・万有引力を受ける物体の運動を思考し、例などを用いて的確に表現することができる。また、重力と万有引力の違いを思考し、的確に説明することができる。 ・物質の状態変化に伴う量的変化を考察でき、気体の分子運動の力学的な振る舞いを分子の集団としても思考できる。固体の原子・分子の定圧力と電子の振る舞いの物質を考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
		第2章　波 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	第2章　波 1節　波の伝わり方 1　波の表し方 2　波の伝わり方 2節　音 1　音の性質 2　ドップラー効果	【知識・技能】 ・波の干渉について、重ね合わせの原理により説明できることを理解し、強め合う条件や弱め合う条件を説明することができる。 ・波動の物質的現象としての干渉について、水面波の干渉を観察し、強め合ったり弱め合ったりする条件を確認することができる。 ・クインケ管による音の干渉や、ドップラー効果について、現象を観測し、聞こえ方が変化することの原因を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・振動が伝わる事象に対し、その事象に相応しい量を見いだし、波を表す量的関係およびグラフを用いた理解ができる。グラフでは横軸を空間に取った場合と時間に取った場合を組み合わせて波という事象の全体像を理解し、グラフで表現できる。 ・ドップラー効果について、音源や観測者の動きと聞こえる音との関係を思考し、的確に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
	定期考査		上記指導内容と総合問題		○	○		
2学期	中間考査まで	3節　光 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	3節　光 1　光の性質 2　レンズと球面鏡 3　回折と干渉	【知識・技能】 ・レンズや球面鏡の実験により、屈折や反射のようすから実像や虚像が得られることを理解できる。 ・ヤングの実験や、薄膜や空気層による干渉、回折格子による分光などの現象から、光が波の性質をもつことを理解できる。 ・光源からの光を回折格子と複スリットを通して見ると、見え方が異なることを観察し、光の見え方と波長との関係を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・レンズと球面鏡の物質を、光の進み方から思考し、的確に表現することができる。 ・ヤングの実験や、薄膜や空気層による干渉、回折格子による分光など、光が波の性質をもつことによる現象であることを理解し、的確に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・光の現象が波動という同じ物理的な性質を持つことに興味を持ち、一体化して捉えようという態度を身につけている。	○	○	○	70
		3章　電気と磁気 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	3章　電気と磁気 1節　電荷と電場 1　静電気 2　電場 3　電位 4　コンデンサー	【知識・技能】 ・電場がベクトルであることを理解し、電場の合成や電荷が受ける静電気力について理解し、説明できる。 ・静電気を用いた電場の観察の実験を通じて、電場のようすを観察できる。 ・コンデンサーの接続について、合成抵抗を正しく理解できている。 ・充電したコンデンサーを用いて電気で動くものを実際に動かし、静電エネルギーが蓄えられていることを観察できる。 【思考・判断・表現】・電場や電位のような電気現象の基本概念を理解するとともに、そのようすを図で表現することができる。 ・静電誘導について実験を通じて理解し、正しく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電気の現象がどのように生じるかに関して関心を持ち、それらの法則性や基本概念について意欲的に調べる態度を身につけている。	○	○	○	
		2節　電流　3節　磁場と電流 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	2節　電流 1　電流と抵抗 2　直流回路 3節　磁場と電流 1　磁場 2　電流が磁場から受ける力 3　ローレンツ力	【知識・技能】 ・電流計、電圧計、検流計、デジタルマルチメーターなどの測定器を正しく使える技能が身についている。 ・抵抗の温度変化の実験を通して、抵抗の温度変化を観察し、実験を再現できる。 ・キルヒホッフの法則について、正しく理解し説明できる。 ・電流のつくる磁場について正しく理解し、フレミングの左手の法則などを使って説明できる。 ・ローレンツ力について、その向き や大きさを説明できる。 ・物体の中の電荷の振る舞いや、電流の変化、磁場の発生などについて観察でき、実験を再現できる。 【思考・判断・表現】 ・電気の基本的な概念や原理・法則を用いて、抵抗率の温度係数や電流計・電圧計のしくみについて説明できる。 ・電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則を理解できる。またそれらの概念や原理・法則を用いて系統的に考察し、様々な物理量の関係をグラフで表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
	定期考査		上記指導内容と総合問題		○	○		
	期末考査まで	4節　電磁誘導と電磁波 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	4節　電磁誘導と電磁波 1　電磁誘導の法則 2　自己誘導と相互誘導 3　交流 4　電磁波	【知識・技能】 ・電気と磁気に関する基本的な法則を系統的に理解し、交流や電磁波の基本的振る舞いについて知識を持ち、理解できる。 ・マクロな電磁気法則を総合的に理解するとと同時に、ローレンツ力などを通して電子の運動によるミクロな視点から電磁気現象を理解できる。 【思考・判断・表現】・電磁誘導の法則や磁束などの概念を理解するとともに、磁場中を動く導体に生じる起電力を数式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】・電場と磁場の捉え方が様々な電磁気現象に共通することに興味を持ち、総合的に捉えようとする意欲を持つ。 ・交流回路におけるコイルやコンデンサーの動作の実験を通じ、回路内におけるコイルやコンデンサーのはたらきについて理解し、実験を計画できる。	○	○	○	
		4章　原子 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	4章　原子 1節　電子と光 1　電子 2　光の粒子性 3　電子の波動性 2節　原子と原子核 1　原子の構造	【知識・技能】 ・真空放電の実験を通じて、電子の発見について理解を深めることができる。 ・真空放電、陰極線、光電効果などから、電子の存在とその性質を理解できる。・水素原子の構造を、波動や円運動の知識を用いて理解でき、量子条件と振動数条件という2つの仮説に基づく思考が理解できる。 ・原子線の崩壊と放反応、放射線、素粒子の振る舞いに関して理解できる。 ・放射線の観察や放射線量の測定などを通して、放射線の物質や原子核反応についての理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・光電効果やコンプトン効果を理解する際に、物質の二重性を新たに考えるに至った思考ができ、１９世紀末に解明された物理現象と は異なる発想を取り入れて新現象を理解するに至った経緯が分かる。 ・電子の波動性について、関係式や図を用いて表現できる。・原子模型について、関係式や図を用いて表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・目に見えない原子がどんな振る舞いをしているかについて関心を持ち、20世紀の物理学の研究対象となった原子と原子核について意欲的に学ぶ態度を身につけている。・原子と原子核の理解が現代社会にどうつながり、現代の識	○	○	○	
	定期考査		上記指導内容と総合問題		○	○		
3学期		終章　物理学が築く未来 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	終章　物理学が築く未来 相対性理論と重力波天文学 シミュレーション科学とデータ科学 量子コンピュータ 新規材料と物理	【知識・技能】 ・最先端の物理学の実験の意味と意義を理解したり、コンピュータシミュレーションの意義と利用を理解できる。 ・現代物理学の発展と、技術革新などについて、基本的な知識を持ち、物理と社会の関係について的確に理解できる。 【思考・判断・表現】 ・最先端の技術革新などについて自ら調べ、それを元に相互討論を行い、議論の要点を図やグラフで表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の物理学がどのように社会を変え、今後どのように発展していくかに興味を持ち、意欲的に調べようという態度を身につけている。	○	○	○	45
					○	○	○	
	定期考査		実施なし					
							合計	175

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　理科　科目　物理基礎演習

対象学年組：第　3 学年　自選 組～　自選 組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（　第一学習社 物理基礎　）
教科　理科　の目標：
【知識及び技能】　科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得を目指す。
【思考力、判断力、表現力等】　習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけることを目指す。
【学びに向かう力、人間性等】　上記の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができることを目指す。
科目　物理基礎演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについての観察，実験などを行うことを通して，物体の運動と様々なエネルギーに関する概念や原理・法則の理解を図るとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けさせる。	物体の運動と様々なエネルギーを対象に，探究の過程を通して，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，実験データの分析・解釈，法則性の導出などの探究の方法を習得させるとともに，報告書を作成させたり発表させたりして，科学的に探究する力を育てる。	物体の運動と様々なエネルギーに対して主体的に関わり，それらの事物・現象に対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	運動の表し方 【知識及び技能】 ・直線運動の変化，速度を扱い，運動の表し方を理解する。 ・直線運動の加速度を学び，等加速度運動について理解する。 【思考力，判断力，表現力等】 ・物体の運動についての実験を通して，物理量の測定方法と扱い方を理解する。 ・物体の重力による運動を調べる。落下運動を等加速度運動の一例として扱う。 【学びに向かう力，人間性等】	第1章　物体の運動 1節　運動の表し方 1　速さと等速直線運動 2　速度，位置と変位 3　平均の速度と瞬間の速度 4　速度の合成と相対速度 5　加速度（Ⅰ）〈実験〉 6　加速度（Ⅱ） 7　等加速度直線運動（Ⅰ）	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	24
		力と運動の法則 【知識及び技能】 ・力のつり合い，作用反作用の法則を学び，作用反作用と力のつり合いの関係との違いについて理解する。 ・摩擦力，圧力，浮力などのいろいろな力について理解する。 ・運動の法則について理解する。 【思考力，判断力，表現力等】 ・慣性の法則を理解する。 ・具体的な問題に，運動方程式を適用できる。 【学びに向かう力，人間性等】	8　運動の法則 9　運動方程式の活用（Ⅰ） 10　運動方程式の活用（Ⅱ） 11　摩擦を受ける運動（Ⅰ） 12　摩擦を受ける運動（Ⅱ） 13　気体や液体から受ける力（Ⅰ） 14　気体や液体から受ける力（Ⅱ）	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
		エネルギー 【知識及び技能】 ・エネルギーは，物体のする仕事で測定できること，仕事の原理，仕事率の定義を理解する。 ・運動している物体がエネルギーを持つこと，運動物体のエネルギーと仕事の関係を理解する。 ・高いところにある物体や変形した物体がエネルギーを持つことを理解する。 【思考力，判断力，表現力等】 ・力学的エネルギー保存の法則と，その法則が成り立つ条件を理解する。保存力以外の力が物体に仕事をする場合は，その仕事分だけ物体の持つ力学的エネルギーが変化することを理解する。 【学びに向かう力，人間性等】	第2章　エネルギー 1節　運動とエネルギー 1　仕事とエネルギー 2　運動エネルギー 3　力の向きと運動の向きが異なる場合の仕事と運動エネルギー 4　位置エネルギー 5　力学的エネルギー保存の法則 6　力学的エネルギー保存の法則の検証〈実験〉 7　弾性力がはたらくときの力学的エネルギー保存則 8　力学的エネルギー保存	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	エネルギー・波の性質 【知識及び技能】 ・熱のマクロ的な意味，ミクロ的な意味を理解する。 ・熱運動・温度・熱の伝わり方・物質の三態について理解する。 ・波を表すさまざまな量や用語を理解し，使えるようになる。 ・波の伝わり方が波の性質を示すことから，音が波であることを理解する。 ・定在波の知識から，弦の振動や気柱の振動のどちらにも固有振動が生じることを理解する。 ・共振や共鳴は，同じ固有振動を持つ発音体の間で生じることを理解する。 【思考力，判断力，表現力等】 ・熱と仕事の同等性と違いについて理解する。仕事と熱はどちらも移動するエネルギーであり同等のはたらきをするが，仕事はすべて熱に変換できるが，熱をすべて仕事に変換できないこと，具体的に熱力学第一法則，熱機関について理解する。	第2章　エネルギー 2節　熱 1　熱と温度 2　熱量の保存（Ⅰ）〈実験〉 3　熱量の保存（Ⅱ） 4　物質の状態変化 5　熱の利用 6　波	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
		電気 【知識及び技能】 ・静電気の発生する仕組みや原因を探り，その正体を理解する。 ・電流の正体と電荷の移動との関係を理解させる。 ・電圧，オームの法則，抵抗の接続，抵抗率について理解する。 ・電流と磁場の関係や磁場から電流が受ける力の基本について理解し，モーターや発電機の原理を理解する。 ・直流と交流の違い，交流に実効値があることを理解する ・変圧器と電力の輸送について理解する。 ・原子の構造と放射線や放射能について理解する。 【思考力，判断力，表現力等】 ・ジュール熱，電力量，電力を学習し，電気と仕事・エネルギーの関係を理解する。 ・電磁波の発生法と利用について学び，電磁波の性質を理解する。	第4章　電気 1節　物質と電流 1　電流 2　抵抗率（Ⅰ）〈実験〉 3　抵抗率（Ⅱ） 2節　磁場と電流 1　発電のしくみ 2　交流の利用	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで		大学入学共通テスト対策問題演習 ・教材　大学入学共通テスト対策チェック＆演習 物理基礎	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	28
			大学入学共通テスト対策問題演習 ・教材　大学入学共通テスト対策チェック＆演習 物理基礎	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
			・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	A 単元	大学入学共通テスト対策問題演習 ・教材　大学入学共通テスト対策チェック＆演習 物理基礎	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
			大学入学共通テスト対策問題演習 ・教材　大学入学共通テスト対策チェック＆演習 物理基礎	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		A 単元	大学入学共通テスト対策問題演習 ・教材　大学入学共通テスト対策チェック＆演習 物理基礎	【知識・技能】定期考査など 【思考・判断・表現】定期考査など 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	18
			大学入学共通テスト対策問題演習 ・教材　大学入学共通テスト対策チェック＆演習 物理基礎	【知識・技能】対策テストなど 【思考・判断・表現】対策テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	
	定期考査		実施なし		○	○		
							合計	70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 理科 科目 化学

対象学年組：第 3 学年 A 組～ C 組 単位数： 4 単位
教科担当者：
使用教科書： （ 数研出版 「化学」（化学706） ）
教科 理科 の目標：
【知識及び技能】 科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得。
【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。
【学びに向かう力、人間性等】 上記の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができるようになる。
科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察，実験などを行い，科学的に探究できるようになる。	物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする。 粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期 中間考査まで	芳香族化合物 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・ベンゼン ・芳香族炭化水素 ・フェノール類 ・芳香族カルボン酸 ・芳香族アミン ・有機化合物の分離	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	48
	固体 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・結晶とアモルファス ・金属結晶 ・イオン結晶 ・分子結晶 ・分子間力 ・共有結合の結晶	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	気体の性質 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・蒸気圧 ・三態図 ・水銀柱 ・ボイルシャルルの法則 ・状態方程式 ・分圧の法則 ・実在気体	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査	上記指導内容と総合問題		○	○		
期末考査まで	溶液 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・溶解のしくみ ・固体の溶解度 ・気体の溶解度 ・沸点上昇／凝固点降下 ・浸透圧 ・コロイド	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	化学反応とエネルギー 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・化学反応と熱 ・ヘスの法則 ・化学反応と光	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査	上記指導内容と総合問題		○	○		
2学期 中間考査まで	反応速度と化学平衡 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・化学反応のしくみと速さ ・化学平衡 ・電解質溶液の化学平衡	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	56
	無機化学（非金属） 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・周期表 ・非金属元素	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	無機化学(金属) 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・典型金属元素 ・遷移金属元素 ・金属イオンの分離・精製	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査	上記指導内容と総合問題		○	○		
期末考査まで	高分子化合物 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・合成樹脂 ・合成繊維 ・合成ゴム ・機能性樹脂 ・糖類 ・タンパク質 ・核酸	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	問題演習、演習実験 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し，わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・共通テスト予想問題演習 ・入試演習 ・演習実験	【知識・技能】基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査	上記指導内容と総合問題		○	○		
3学期	総合問題演習 【知識及び技能】既習事項の単元をまたがる内容を俯瞰的に理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】問題文から読解し、発展的な内容を探究して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く取り組み、理解が及ばない箇所を振り返ることで自己調整を図る。	分野をまたがる総合的な問題の演習 多様な入試問題演習	【知識・技能】基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	36
	定期考査	実施なし					
							合計 140

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 理科 科目 化学基礎演習

対象学年組：第 3 学年 D 組～ E 組 （選択者のみ） 単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： （ 東京書籍 「化学基礎」（化基701） ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な技術を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 問題演習から、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けるようにする。	問題演習から、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	第１編 物質の構成と化学結合 【知識及び技能】物質や化学結合について，各物質の性質及び各結合のことを理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質と化学結合について，各結合について違いを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】この章で学ぶ事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	【知識・技能】物質と化学結合についての問題演習を通して，イオンとイオン結合，分子と共有結合，金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】各結合について，違い等を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】各結合に関する事物・現象について主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	24
		第２編 物質の変化① 【知識及び技能】物質量，化学反応式のことを理解するとともに，観察・実験に関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質量等について，観察・実験などを通して，物質量，化学反応式を見出して表現する。 【学びに向かう力，人間性等】物質量，化学反応式に主体的に関わり科学的に探究する態度を養う。	第4章 物質量と化学反応式	【知識・技能】物質量，化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質量，化学反応式について，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】物質量，化学反応式について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査		実施なし					
	期末考査まで	第２編 物質の変化② 【知識及び技能】酸・塩基と中和のことを理解するとともに，観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを通して探究し，酸・塩基と中和を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	第5章 酸と塩基	【知識・技能】酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸・塩基と中和について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸・塩基と中和について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	
		第２編 物質の変化③ 【知識及び技能】酸化と還元のことを理解するとともに，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などの問題演習を通して探究し，酸化と還元を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	第6章 酸化と還元	【知識・技能】化学反応についての実験などを通して，酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸化と還元について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸化と還元について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】を問う問題の出題とその正解率	○	○		
2学期	中間考査まで	第7章 日常生活に関連した化学 【知識及び技能】 日常生活に密着した化学とその役割について理解するとともに、その技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活に密着した化学とその役割について、思考力を問う演習問題から判断力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学ぶ事柄について、主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	第7章 日常生活に関連した化学	【知識及び技能】 日常生活に密着した化学とその役割について理解するとともに、その技能を身につけることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活に密着した化学とその役割について、思考力を問う演習問題から判断力を養うことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学ぶ事柄について、主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うことができている。	○	○	○	28
		第8章 化学実験の基礎 【知識及び技能】 化学実験とその役割について理解するとともに、その技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学実験とその役割について、思考力を問う演習問題から判断力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学ぶ事柄について、主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	第8章 化学実験の基礎	【知識及び技能】 化学実験とその役割について理解するとともに、その技能を身につけることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 化学実験とその役割について、思考力を問う演習問題から判断力を養うことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 この単元で学ぶ事柄について、主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うことができている。	○	○	○	
		総合問題演習 【知識及び技能】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての知識・技能を問題演習を通して養う。 【思考力、判断力、表現力等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての思考力・判断力・表現力を問題演習を通して養う。 【学びに向かう力、人間性等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての学習を自ら探求しようとする態度を養う。	大学入学共通テストの問題演習	【知識及び技能】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての知識・技能を問題演習を通して養うことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての思考力・判断力・表現力を問題演習を通して養うことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての学習を自ら探求しようとする態度を養うことができている。	○	○	○	
	定期考査		実施なし					
	期末考査まで	総合問題演習 【知識及び技能】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての知識・技能を問題演習を通して養う。 【思考力、判断力、表現力等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての思考力・判断力・表現力を問題演習を通して養う。 【学びに向かう力、人間性等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての学習を自ら探求しようとする態度を養う。	大学入学共通テストの問題演習	【知識及び技能】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての知識・技能を問題演習を通して養うことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての思考力・判断力・表現力を問題演習を通して養うことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての学習を自ら探求しようとする態度を養うことができている。	○	○	○	
	定期考査		期末考査までの範囲における【知識・技能】及び【思考力・判断力・表現力】の修得確認		○	○		
3学期		A 単元	大学入学共通テストの問題演習	【知識及び技能】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての知識・技能を問題演習を通して養うことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての思考力・判断力・表現力を問題演習を通して養うことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 全範囲を通じて化学の領域である「物質」についての学習を自ら探求しようとする態度を養うことができている。	○	○	○	18
	定期考査		実施なし					
							合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　理科　科目　生物

対象学年組：第　3 学年　C　組～　組　　単位数：　5　単位

教科担当者：

使用教科書：（　啓林館　高等学校　生物　）

教科　理科　の目標：

【知識及び技能】　科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得。

【思考力、判断力、表現力等】　習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。

【学びに向かう力、人間性等】　上記の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができるようになる。

科目　生物　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	第１章　生物の進化 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・生命の起源と生物進化の道筋について理解させる。 ・生物の進化に関係している地球環境の変化について理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	60
		第２章　有性生殖と遺伝的多様性 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝子的な組み合わせが生じることを理解させる。 ・遺伝子が独立の場合と，連鎖の場合，組換えが起こる場合とに分けて理解ができる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
		第３章　進化のしくみ 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・進化を裏づける証拠がわかる。 ・生物の変異と進化，自然選択によるそのしくみがわかる。 【観察，実験】モデル実験を行い，遺伝的浮動や自然選択が遺伝子頻度を変化させる要因であることに気付かせ，遺伝子頻度が変化する要因を見いださせる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
		第４章　生物の系統 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・生物はその系統に基いて分類できることを理解させる。 ・ドメインによる分類について理解させる。 ・細菌ドメインの特徴を理解させる。 ・アーキアドメインの特徴を理解させる。 ・真核生物の特徴とそれに含まれる生物を理解させる。 ・人類の出現を，生物の進化の一部としてとらえさせるとともに，人類の進化を理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査		・		○	○		
	期末考査まで	第５章　生命と物質 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を理解させる。 ・様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
		第６章　代　謝 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・有機物の分解・合成に伴ってエネルギーが出入りするとともに，ATPがはたす役割を理解させる。 ・呼吸によって有機物からエネルギーがつくられるしくみを理解させる。 ・光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられるしくみを理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査		上記指導内容と総合問題		○	○		
2学期	中間考査まで	第７章　遺伝現象と物質 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・DNAの複製のしくみを理解させる。 ・遺伝子の発現のしくみの概要を理解させる。 ・遺伝子の発現が調節されていることおよびそのしくみの概要を理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	70
		第８章　発生と遺伝子の発現 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・配偶子形成と受精の過程について理解させる。 ・卵割から器官分化の始まりまでの過程について理解させる。 ・細胞の分化と形態形成のしくみを理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
		第９章　バイオテクノロジー 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・遺伝子を扱った技術について，その原理と有用性を理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査		上記指導内容と総合問題		○	○		
	期末考査まで	第１０章　刺激の受容と反応 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・外界の刺激を受容する受容器について，その働きを理解させる。 ・神経細胞が刺激を伝達するしくみを理解させる。 ・受容器と効果器を結びつけている神経系のしくみを理解させる。 ・刺激に対し反応して働く効果器の働きを理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
		第１１章　動物の行動 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・刺激に対する反応として動物個体の生得的な行動を理解させる。 ・動物が生後に受けた刺激により個体の行動を変化させる学習行動を理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
		第１２章　植物の環境応答 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・配偶子形成と受精の過程について理解させる。 ・植物の環境応答に関係している，植物ホルモンの働きについて理解させる。 ・受容器と効果器を結びつけている神経系のしくみを理解させる。 ・刺激に対し反応して働く効果器の働きを理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
		第１３章　個体群と生物群集 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・個体群とその変動について理解させる。 ・個体群内の相互関係について理解させる。 ・異種個体群間の相互関係について理解させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
		第１４章　生態系 【知識及び技能】本章で取り扱う内容を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】本章で取り扱う内容を探究し、わかることを見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】本章で取り扱う内容に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	・生態系における物質生産とエネルギー効率について理解させる。窒素固定と窒素同化について理解させる。 ・生物多様性やそれに影響を与える要因を理解し，生物多様性の重要性を認識させる。	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	
	定期考査		上記指導内容と総合問題		○	○		
3学期		総合問題演習 【知識及び技能】既習事項の単元をまたがる内容を俯瞰的に理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】問題文から読解し、発展的な内容を探究して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く取り組み、理解が及ばない箇所を振り返ることで自己調整を図る。	分野をまたがる総合的な問題の演習 多様な入試問題演習	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	45
	定期考査		実施なし					
							合計	175

年間授業計画 新様式

高等学校 令和７年度　　教科 生物　　科目 生物基礎演習

対象学年組：第 3 学年 D 組～ E 組　　単位数： 2 単位
教科担当者：
使用教科書： 啓林館 i版 生物基礎)

教科 生物 の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】 理科的なものの見方や考え方 ・自然事象に対する概念や原理・法則の体系的な理解・観察、実験、調査についての技能
【思考力、判断力、表現力等】 知識・技能を活用できる力 ・自然事象から見通しを立て課題や仮説を設定する力・観察、実験の組み立てから得られた結果を分析して解釈する力
【学びに向かう力、人間性等】 理科的なものの見方や考え方を自ら意欲的に身につけようとする力

科目 生物基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	期末考査まで	生物の特徴 様々な生物の比較に基づいて，生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと，共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また，細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。	・生物の共通性と多様性をこの科目の導入に位置づけ，以降の学習においてこの視点を意識させて展開する。 ・原核細胞と真核細胞を学習する際に，両者の観察を行う。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識及び技能】 ・生物の共通性と多様性について，すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて，それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・試料の採取，染色などを行い，光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 ・生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。（実験評価） 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料や実験をもとに，生物に共通する性質を見いだし表現することができる。 ・細胞が生物の基本構造であることを，生物学的な視点から考察することができる。 （発問評価・課題提出）	○	○	○	24
		生物の特徴 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際，呼吸と光合成の概要を扱う。 ・代謝の反応が行われるときに，酵素がどのように関与しているのか理解させる。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。	・時間がある場合は，酵素の基質特異性や最適条件，呼吸や光合成の反応の過程などにも触れる。 ・時間がある場合は，細胞の共通性に関連して，呼吸と光合成が行われる細胞小器官の起源についても触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを，呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は，酵素が触媒していることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を，関連づけて考察し，それを表現できる。 （発問評価・課題提出） ・カタラーゼを用いた実験から，酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 （実験評価） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて，生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また，呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は，酵素が関わっていることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	
		遺伝子とその働き DNAの構造や性質を，研究史を展開しながら理解させる。 ・DNA，遺伝子，ゲノムの関係性を理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に，複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解させる。	・時間がある場合は，DNAの分子構造や，染色体の構造についても触れる。 ・体細胞分裂の過程については，中学でも学習していることに留意する。 ・時間があれば，減数分裂時のDNA量の変化を体細胞分裂と比較して，違いを理解させる。また，DNA複製の過程についても理解させる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・DNAが二重らせん構造であること，そのため，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム，遺伝子，染色体，DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に，遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づき，DNAの構造を科学的に見いだすことができる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの性質や構造を，DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子，染色体，DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に，DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし，理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	
		遺伝子とその働き 2節　遺伝情報とタンパク質の合成 　2節　遺伝情報とタンパク質の合成 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ，それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。・DNAからタンパク質が合成される際には，転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。	・時間があれば，アミノ酸の構造やタンパク質の立体構造について触れる。 ・転写，翻訳の過程の詳細について，必要であれば触れる。また，その際，トリプレットとコドンの関係についても触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・DNAの塩基配列に基づいて，タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し，細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 （定期考査） ・試料の採取，染色などを行い，光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 （実験評価） 【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し，表現できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて，タンパク質が合成されることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	期末考査まで	ヒトの体の調節 第3章　ヒトのからだの調節 　1節　体内環境 ・動物が体内環境をもち，外界からの影響を適切に調節していることを理解させる。 ・恒常性により，体内環境が保たれていることを理解させる。 ・体液を調節することで，体内環境が保たれていることを理解させる。	A 単元 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解させる。 ・病原体の侵入を防ぐための，異物を認識し，排除するしくみを理解させる。 ・免疫のしくみの概要を取り上げ，体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ，同じ疾患に	【知識・技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や，肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 （定期考査） ・解剖など生体を扱う技能を習得している。 （実験評価） 【思考・判断・表現】 ・腎臓の働きについて体系的に理解し，ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。	○	○	○	28
		ヒトの体の調節 　2節　体内環境の維持のしくみ ・体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解させる。 ・体内環境の調節に，神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解させる。・ヒトの体液濃度の調節が，自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ・血糖濃度がホルモンと自律神経が関わるしくみで調節されていることについて理解させ，調節ができなくなったときに発症する疾患についても触れる。	・神経系については，中枢神経系と末梢神経系に分けられることを扱い，脳幹の働きに関連して脳死についても触れる。 ・内分泌系については，血液中に分泌されるホルモンが標的器官に情報を伝達することで調節が行われることを扱い，神経系に比べて持続的な調節が行われることにも触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており，ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 （定期考査） ・実験により得られたデータを比較・分析することにより，結論を導き出すことができる。 （課題提出・実験評価） 【思考・判断・表現】 ・体の調節に関する観察，実験などを行い，体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができる。 ・血糖濃度調節のしくみを，ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
		ヒトの体の調節 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解させる。 ・病原体の侵入を防ぐための，異物を認識し，排除するしくみを理解させる。 ・免疫のしくみの概要を取り上げ，体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ，同じ疾患に	・二次応答における記憶細胞の存在や，予防接種などの医療利用についても取り上げる。 ・身近な疾患として花粉症やエイズなどを取り上げる。 ・自作プリント、教科書、PP	【知識・技能】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて，異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し，表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について，身近な例をもとに説明することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	
		生物の多様性と生態系 第4章　生物の多様性と生態系 　1節　生態系とその成り立ち ・生物は環境からの影響を受けながら存在し，生態系には多様な生物が存在することを理解させる。 ・陸上には，草原や森林などのさまざまな植生があることを理解させる。 ・植生は不変ではなく，光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解させる。 ・環境形成作用により土壌が形成されることを理解させる。 ・植生内の光環境の変化や土壌の発達によって遷移が進行することを理解させる。	・植物の環境形成作用が遷移の進行に影響すること，遷移の進み方はすべての植生で必ずしも同じではないことに留意させる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・陸上には，森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ，植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 ・植生の遷移についてその過程を理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて，遷移の要因を見いだして理解することができる。 ・植生の遷移が，光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて，植生が変化する要因を見いだし，その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。	○	○	○	
		生物の多様性と生態系 ・気温や降水量の違いにより，地球上には多くのバイオームが成立していることを理解させる。 ・遷移の結果として森林・草原・荒原のバイオームとなることを理解させる。 ・バイオームの構成要素である植物種を取り上げ，その場所の気温や降水量に適応していることを理解させる。	・バイオームの定義についてはその構成要素に動物も含まれるが，生物基礎ではおもに植物で説明を行うことに留意する。 ・自作プリント、教科書、PPT	（発問評価・授業態度） 【知識・技能】 ・地球上には，気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは，バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し，それを表現することができる。	○	○	○	
		生物の多様性と生態系 　3節　生態系と生物の多様性 　4節　生態系のバランスと保全 ・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと，人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。 ・総合演習	・生物の関係性については捕食と被食を中心に扱い，生産者，消費者(分解者)について触れる。 ・人間活動の影響により，生物の多様性に変化がみられた例については，科学的なデータや根拠を示して，生態系の保全の重要性を理解させる。 ・生物の多様性の低下と関連させて，生物の絶滅についても扱う。 ・自作プリント、教科書、PPT	・生物の関係性については捕食と被食を中心に扱い，生産者，消費者(分解者)について触れる。 ・人間活動の影響により，生物の多様性に変化がみられた例については，科学的なデータや根拠を示して，生態系の保全の重要性を理解させる。 ・生物の多様性の低下と関連させて，生物の絶滅についても扱う。 ・自作プリント、教科書、PPT	○ ○	○ ○	○ ○	
	定期考査				○	○		
3学期		総合演習 【知識及び技能】既習事項の単元をまたがる内容を俯瞰的に理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】問題文から読解し、発展的な内容を探究して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く取り組み、理解が及ばない箇所を振り返ることで自己調整を図る。	分野をまたがる総合的な問題の演習 多様な入試問題演習	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	18
	定期考査		実施なし					
								合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度　　教科　生物　科目　生物基礎演習

対象学年組：第　　3 学年　　自選 組～　　E　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：　　啓林館　i版　生物基礎　　）
教科　　生物　　の目標：
【知識及び技能】　理科的なものの見方や考え方　・自然事象に対する概念や原理・法則の体系的な理解・観察、実験、調査についての技能
【思考力、判断力、表現力等】　知識・技能を活用できる力　・自然事象から見通しを立て課題や仮説を設定する力・観察、実験の組み立てから得られた結果を分析して解釈する力
【学びに向かう力、人間性等】　理科的なものの見方や考え方を自ら意欲的に身につけようとする力
科目　　生物基礎演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期 期末考査まで	生物の特徴 様々な生物の比較に基づいて，生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと，共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また，細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。	・生物の共通性と多様性をこの科目の導入に位置づけ，以降の学習においてこの視点を意識させて展開する。 ・原核細胞と真核細胞を学習する際に，両者の観察を行う。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識及び技能】 ・生物の共通性と多様性について，すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて，それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・試料の採取，染色などを行い，光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 ・生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。（実験評価） 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料や実験をもとに，生物に共通する性質を見いだし表現することができる。 ・細胞が生物の基本構造であることを，生物学的な視点から考察することができる。 （発問評価・課題提出）	○	○	○	24
	生物の特徴 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際，呼吸と光合成の概要を扱う。 ・代謝の反応が行われるときに，酵素がどのように関与しているのか理解させる。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。	・時間がある場合は，酵素の基質特異性や最適条件，呼吸や光合成の反応の過程などにも触れる。 ・時間がある場合は，細胞の共通性に関連して，呼吸と光合成が行われる細胞小器官の起源についても触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを，呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は，酵素が触媒していることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を，関連づけて考察し，それを表現できる。 （発問評価・課題提出） ・カタラーゼを用いた実験から，酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 （実験評価） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて，生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また，呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は，酵素が関わっていることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	
	遺伝子とその働き DNAの構造や性質を，研究史を展開しながら理解させる。 ・DNA，遺伝子、ゲノムの関係性を理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に，複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解させる。	・時間がある場合は，DNAの分子構造や，染色体の構造についても触れる。 ・体細胞分裂の過程については，中学でも学習していることに留意する。 ・時間があれば，減数分裂時のDNA量の変化を体細胞分裂と比較して，違いを理解させる。また，DNA複製の過程についても理解させる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・DNAが二重らせん構造であること，そのため，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム，遺伝子，染色体，DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂がそれぞれ行われる際に，遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づき，DNAの構造を科学的に見いだすことができる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの性質や構造を，DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子，染色体，DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に，DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし，理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	
	遺伝子とその働き 2節　遺伝情報とタンパク質の合成 　2節　遺伝情報とタンパク質の合成 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ，それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。・DNAからタンパク質が合成される際には，転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。	・時間があれば，アミノ酸の構造やタンパク質の立体構造について触れる。 ・転写，翻訳の過程の詳細について，必要であれば触れる。また，その際，トリプレットとコドンの関係についても触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・DNAの塩基配列に基づいて，タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し，細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 （定期考査） ・試料の採取，染色などを行い，光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 （実験評価） 【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し，表現できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて，タンパク質が合成されることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	
	定期考査			○	○		
2学期 期末考査まで	ヒトの体の調節 第3章　ヒトのからだの調節 　1節　体内環境 ・動物が体内環境をもち，外界からの影響を適切に調節していることを理解させる。 ・恒常性により，体内環境が保たれていることを理解させる。 ・体液を調節することで，体内環境が保たれていることを理解させる。	A 単元 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解させる。 ・病原体の侵入を防ぐための，異物を認識し，排除するしくみを理解させる。 ・免疫のしくみの概要を取り上げ，体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ，同じ疾患に	【知識・技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や，肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 （定期考査） ・解剖など生体を扱う技能を習得している。 （実験評価） 【思考・判断・表現】 ・腎臓の働きについて体系的に理解し，ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・外界の環境が変化しても，体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	28
	ヒトの体の調節 　2節　体内環境の維持のしくみ ・体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解させる。 ・体内環境の調節に，神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解させる。・ヒトの体液濃度の調節が，自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ・血糖濃度がホルモンと自律神経が関わりしくみで調節されていることについて理解させ，調節ができなくなったときに発症する疾患についても触れる。	・神経系については，中枢神経系と末梢神経系に分けられることを扱い，脳幹の働きに関連して脳死についても触れる。 ・内分泌系については，血液中に分泌されるホルモンが標的器官に情報を伝達することで調節が行われることを扱い，神経系に比べて持続的な調節が行われることにも触れる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・神経やホルモンの働きによりヒト体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており，ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 （定期考査） ・実験により得られたデータを比較・分析することにより，結論を導き出すことができる。 （課題提出・実験評価） 【思考・判断・表現】 ・体の調節に関する観察，実験などを行い，体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができる。 ・血糖濃度調節のしくみを，ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・[illegible]	○	○	○	
	ヒトの体の調節 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解させる。 ・病原体の侵入を防ぐための，異物を認識し，排除するしくみを理解させる。 ・免疫のしくみの概要を取り上げ，体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ，同じ疾患に	・二次応答における記憶細胞の存在や，予防接種などの医療利用についても取り上げる。 ・身近な疾患として花粉症やエイズなどを取り上げる。 ・自作プリント、教科書、PP	【知識・技能】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて，異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し，表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について，身近な例をもとに説明することができる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。 （発問評価・授業態度）	○	○	○	
	生物の多様性と生態系 第4章　生物の多様性と生態系 　1節　生態系とその成り立ち ・生物は環境からの影響を受けながら存在し，生態系には多様な生物が存在することを理解させる。 ・陸上には，草原や森林などのさまざまな植生があることを理解させる。 ・植生は不変ではなく，光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解させる。 ・環境形成作用により土壌が形成されることを理解させる。 ・植生内の光環境の変化や土壌の発達によって遷移が進行することを理解させる。	・植物の環境形成作用が遷移の進行に影響すること，遷移の進み方はすべての植生で必ずしも同じではないことに留意させる。 ・自作プリント、教科書、PPT	【知識・技能】 ・陸上には，森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ，植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 ・植生の遷移についてその過程を理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて，遷移の要因を見いだして理解することができる。 ・植生の遷移が，光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。 （発問評価・課題提出） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて，植生が変化する要因を見いだし，その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。	○	○	○	
	生物の多様性と生態系 ・気温や降水量の違いにより，地球上には多くのバイオームが成立していることを理解させる。 ・遷移の結果として森林・草原・荒原のバイオームとなることを理解させる。 ・バイオームの構成要素である植物種を取り上げ，その場所の気温や降水量に適応していることを理解させる。	・バイオームの定義についてはその構成要素に動物も含まれるが，生物基礎ではおもに植物で説明を行うことに留意する。 ・自作プリント、教科書、PPT	（発問評価・授業態度） 【知識・技能】 ・地球上には，気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。 （定期考査） 【思考・判断・表現】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは，バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し，それを表現することができる。	○	○	○	
	生物の多様性と生態系 　3節　生態系と生物の多様性 　4節　生態系のバランスと保全 ・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと，人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。 ・総合演習	・生物の関係性については捕食と被食を中心に扱い，生産者，消費者(分解者)について触れる。 ・人間活動の影響により，生物の多様性に変化がみられた例については，科学的なデータや根拠を示して，生態系の保全の重要性を理解させる。 ・生物の多様性の低下と関連させて，生物の絶滅についても扱う。 ・自作プリント、教科書、PPT	・生物の関係性については捕食と被食を中心に扱い，生産者，消費者(分解者)について触れる。 ・人間活動の影響により，生物の多様性に変化がみられた例については，科学的なデータや根拠を示して，生態系の保全の重要性を理解させる。 ・生物の多様性の低下と関連させて，生物の絶滅についても扱う。 ・自作プリント、教科書、PPT	○	○	○	
				○	○	○	
	定期考査			○	○		
3学期	総合演習 【知識及び技能】既習事項の単元をまたがる内容を俯瞰的に理解するとともに，それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】問題文から読解し、発展的な内容を探究して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く取り組み、理解が及ばない箇所を振り返ることで自己調整を図る。	分野をまたがる総合的な問題の演習 多様な入試問題演習	【知識・技能】本章で学ぶ事項について，基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】本章で学ぶ事項について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】本章で学ぶ事項について，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。また，粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	18
	定期考査	実施なし					

合計
70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　理科　科目　地学基礎演習

対象学年組：第　3 学年　D　組～　E　組　　単位数：　2　単位

教科担当者：

使用教科書：（　高等学校　地学基礎　数研出版　）

教科　理科　の目標：

【知識及び技能】　科学的知識の習得や概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得を目指す。

【思考力、判断力、表現力等】　習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけることを目指す。

【学びに向かう力、人間性等】　上記の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができることを目指す。

科目　地学基礎演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地球やその周りの環境についての知識の習得や科学的知識の概念的な理解、実験や観察の操作の基本的な技術の習得を目指す。	習得した「知識・技能」を活用して、科学的課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけることを目指す。	知識･技能および思考力･表現力･判断力の力をを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとすることができることを目指す。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	地球の形と大きさ 【知識及び技能】 エラトステネスの方法及び地球楕円体の理解 【思考力、判断力、表現力等】 エラトステネスの方法 地球が回転楕円体であることの根拠 【学びに向かう力、人間性等】 地球の形や大きさが測定されてきた歴史	・地球の形と大きさの測定の仕方 ・地球楕円体であることの測定の仕方	【知識・技能】 エラトステネスが地球の大きさを測定した方法を理解する。 【思考・判断・表現】 ・エラトステネスが地球の大きさを測定した方法について説明できる。 ・地球が赤道方向に膨らんだ回転だ円体である根拠を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球の形や大きさが測定されてきた歴史に興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	24
		地球の構造 【知識及び技能】 地球と形と大きさ　地球の構造 【思考力、判断力、表現力等】 地球内部の層構造の調べ方 【学びに向かう力、人間性等】 地球内部の層構造やその要因・発見の過程	・地球の構造の測定の仕方 ・地球内部は構成物質の違いから、地殻・マントル・核に分けられることの理解。 ・地球内部は構成物質の変形しやすさの違いからリソスフェア・アセノスフェアに分けられることの理解。 ・地球の構成物質の密度の測定	【知識・技能】 ・地球内部の層構造を知り、状態や構成物質の違いを理解する。 【思考・判断・表現】 ・地球内部の層構造を、構成物質と変形のしやすさのそれぞれの観点から説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球内部の構造やその要因・発見の過程に興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	
		プレートの運動 【知識及び技能】 プレートテクトニクスと地殻変動　プレート運動 【思考力、判断力、表現力等】 プレート運動と境界の関係 過去と現在のプレートの運動 【学びに向かう力、人間性等】 地球表層の地学現象とプレート運動	・海底地形と地震の分布および火山の分布との関連 ・プレート境界と地学現象の関連 ・ホットスポットとプレート運動の関連 ・プレート運動の原動力についての理解 ・プレート境界では断層や褶曲などの地質構造が形成されたり、変成作用が生じたりすること	【知識・技能】 ・プレート境界では大地形や地質構造が形成されることを理解する。 ・プレート境界やマグマの周囲で変成作用が生じることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・ホットスポットにより形成される火山・海山列とプレートの運動の関係を説明できる。 ・プレート運動の原動力について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレート運動のしかたに関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
	定期考査							
	期末考査まで	地震 【知識及び技能】 地震　地震の分布　地震災害 【思考力、判断力、表現力等】 震源の決定　プレート境界と地震　液状化現象 【学びに向かう力、人間性等】 日本で起こる地震の発生の仕組みや種類	・地震発生のしくみを、プレート運動と関連づける。 ・地震波の性質や、プレート境界と地震の分布の関係。 ・日本付近で発生する地震について理解を深め、地震によってどのような災害が発生し、どのような対応が必要かの理解。	【知識・技能】 ・地震発生の仕組み。進度とマグニチュード、地震波の伝わり方 【思考・判断・表現】 ・地震波の性質や、震源決定の方法について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本で起こる地震の種類や発生のしくみに興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	
		火山 【知識及び技能】 火山活動　火成岩　火山がもたらす恵みと災害 【思考力、判断力、表現力等】 火山噴火の仕組み　鉱物と火成岩の分類 【学びに向かう力、人間性等】 火山噴火の仕組みや、マグマの性質と噴火の仕方の関連	・火山噴火の仕組み、多様な噴火活動と火山地形、マグマが発生する仕組みを学ぶ。 ・火山活動はプレート運動と関連があり、火山の分布はプレート境界に多いことを理解。 ・火成岩の特徴や分類について。 ・日本における活火山を知り、火山災害への対応だけでなく、火山の恩恵についても理解する。	【知識・技能】 ・火山噴火のしくみや火山噴出物について理解する。 ・火山岩と深成岩の構造や成因の違いについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・火成岩を構成する鉱物と、火成岩の分類について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・火山がもたらす恵みと災害に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
		地層の形成 【知識及び技能】 堆積作用と堆積岩　地層の形成 【思考力、判断力、表現力等】 地形や堆積岩の形成過程 【学びに向かう力、人間性等】 堆積作用と堆積岩の関係	・堆積作用・侵食作用で形成される陸上と海底の地形や、堆積岩の形成過程を学ぶ。 ・土砂災害の種類についても学ぶ。 ・地層の重なり方や変形のしかた、堆積構造を観察することで、地層の本来の層序や堆積環境がわかることを理解する。	【知識・技能】 ・堆積岩の形成過程と種類について理解する。 ・堆積構造から地層の層序や堆積環境を推定できることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・地層中の堆積構造から読み取ることができる情報を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・形成後に変形した地層について、地層が変形する前の様子や変形の過程に興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	
	定期考査							
2学期	中間考査まで	地球の熱収支 【知識及び技能】 大気の構造　地球全体の熱収支 【思考力、判断力、表現力等】 大気の層構造と各層の特徴 地球のエネルギー収支　温室効果 【学びに向かう力、人間性等】 地球が受ける太陽放射や地球の熱収支	・地球の大気が、気温の変化から4つの層に分けられていることを理解する。 ・対流圏で様々な気象現象のほとんどが起きていることを学ぶ。 ・太陽放射エネルギーと地球のエネルギー収支について理解する。 ・地球の自然環境は、地球のエネルギー収支のつりあいの上に成り立っていることを学ぶ。	【知識・技能】 ・大気の組成と気圧、大気の層構造、雲ができる仕組みを理解する。 ・地球全体のエネルギー収支がつりあっていることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・大気の層構造の各層の特徴、雲ができる仕組みを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中間圏より上の大気の組成にも興味をもち、自ら調べ学習に取り組める。	○	○	○	28
		大気と海水の運動 【知識及び技能】 大気の大循環　海水の運動　日本の天気と気象災害 【思考力、判断力、表現力等】 大気の大循環の仕組み 【学びに向かう力、人間性等】 大気の大循環の仕組みに興味を持つ	・大気や海水の大循環は、緯度方向の熱収支の不均衡を是正するためのものであることを理解する。 ・長い時間をかけてめぐる海洋の鉛直方向の循環を学ぶ。 ・日本の各季節の天気の特徴を理解し、気象災害について学び、防災に役立てる。	【知識・技能】 ・熱収支には緯度による不均衡があり、大気や海洋が低緯度から高緯度へ熱を輸送していることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・大気の大循環が生じるしくみと、それがもたらす効果について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大気の大循環に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
		日本の自然環境 【知識及び技能】 気候の自然変動　人間活動による環境変化 【思考力、判断力、表現力等】 地形や水資源に関する日本の特徴 【学びに向かう力、人間性等】 日本で発生する自然災害	・地球を構成する大気、海洋、固体地球、生物の間には絶えず相互作用があることを踏まえ、気候の自然変動や人間活動による環境変化を、全地球的な空間スケール、および長期的な時間スケールでとらえて理解し、考える力を身につける。 ・日本は、特徴的な地形や気候によって、豊かな自然環境が育まれていることを理解する。一方で、多発する自然災害に対応する必要があることも学ぶ。	【知識・技能】 ・人間活動が原因とされる地球温暖化、オゾン層破壊、砂漠化、酸性雨の起こるしくみと、その影響や対策について理解する。 【思考・判断・表現】 ・人間活動によって起こる環境変化のしくみと、その影響について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の自然環境に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
	定期考査							
	期末考査まで	太陽系と宇宙 【知識及び技能】 太陽系と太陽 【思考力、判断力、表現力等】 太陽系の天体　太陽　太陽系の誕生と現在の地球 【学びに向かう力、人間性等】 太陽系の天体に興味を持つ	・太陽系を構成する天体について理解を深める。 ・惑星の特徴、太陽の表面のようすやエネルギー源、太陽の活動について学ぶ。 ・太陽および太陽系の形成過程を学び、地球に生命が誕生した要因を理解する。	【知識・技能】 太陽系の天体についての理解 【思考・判断・表現】 ・惑星の内部構造の違いを惑星の形成過程をふまえて説明できる。 ・太陽系の惑星の比較から、地球に生命が存在できる理由について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・太陽の進化の過程に興味をもち、積極的に学習に取り組める。	○	○	○	
		宇宙の誕生 【知識及び技能】 宇宙の誕生 【思考力、判断力、表現力等】 銀河系　宇宙の大規模構造　宇宙の誕生 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙の誕生に興味を持つ	・銀河系の構造を理解し、その中の太陽系の位置を学ぶ。 ・ビッグバンで始まった宇宙の誕生と変遷を学ぶ。	【知識・技能】 恒星や銀河の特徴、銀河系の構造、宇宙の進化の過程を理解する。 【思考・判断・表現】 ・銀河系の構造について、天の川の見え方から説明できる。 ・ビッグバンによる宇宙の誕生から、太陽や地球の誕生までの過程を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・宇宙の誕生に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	
	定期考査							
3学期		総合演習 【知識及び技能】既習事項の単元をまたがる内容を俯瞰的に理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】問題文から読解し、発展的な内容を探究して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く取り組み、理解が及ばない箇所を振り返ることで自己調整を図る。	分野をまたがる総合的な問題の演習 多様な入試問題の演習	【知識・技能】基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。また、粘り強く学習に取り組み学習を調整している。	○	○	○	18
	定期考査							
							合計	70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 保健体育 科目 体育女子

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組 単位数： 2 単位
教科担当者：
使用教科書： （ 現代高等保健体育 ）
教科 保健体育 の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
科目 体育女子 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期		オリエンテーション	体育の授業の進め方	プリント提出		○	○	1
	中間考査まで	体つくり運動 【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解したか。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようになったか。	○	○	○	3
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
		バレーボール 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	6
	定期考査							
	期末考査まで	サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防をできるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	6
		水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとするこ	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあえたか。	○	○	○	6
	定期考査							
2学期	中間考査まで	¥0 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	13
	定期考査							
	期末考査まで	バドミントン 【知識及び技能】状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようなったか。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組めたか。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすることができたか。	○	○	○	13
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	定期考査							
3学期	期末考査まで	バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防をできるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	8
		長距離走 【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振返ることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	8
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	定期考査							
							合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和７年度　　教科　保健体育　科目　体育男子

対象学年組：第　　１学年　　Ａ　組～　　Ｇ　組　　単位数：　２　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　現代高等保健体育　）
教科　保健体育　の目標：
【知識及び技能】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
科目　体育男子　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期		オリエンテーション	体育の授業の進め方	プリント提出		○	○	1
	中間考査まで	体つくり運動 【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解したか。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようになったか。	○	○	○	3
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
		陸上競技　短距離・ハードル 【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	6
	定期考査							
	期末考査まで	陸上競技　短距離・ハードル 【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 走る動作・ハードルの技術について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 走る動作・ハードルの技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	6
		水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあえたか。	○	○	○	6
	定期考査							
2学期	中間考査まで	バレーボール 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	13
	定期考査							
	期末考査まで	ソフトボールか卓球の選択 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁、守備ができるようになる。（ソフトボール） 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようにする。（卓球） 【思考力、判断力、表現力等】 守備における自己やチームの課題を発見し、解決法を考えたり伝えあったりすること。（ソフトボール） 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。（卓球）	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁、守備ができるようになったか。（ソフトボール） 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようなったか。（卓球） 【思考力、判断力、表現力等】 守備における自己やチームの課題を発見し、解決法を考えたり伝えあえたか。（ソフトボール） 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組めたか。（卓球） 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすることができたか。	○	○	○	13
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	定期考査							
3学期	期末考査まで	サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防をできるようにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	8
		長距離走 【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振返ることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	8
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	定期考査							
							合計	70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 保健体育 科目 体育女子

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組 単位数： 3 単位
教科担当者：
使用教科書： （ 現代高等保健体育 ）
教科 保健体育 の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
科目 体育女子 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期		オリエンテーション	体育の授業の進め方	プリント提出		○	○	1
	中間考査まで	体つくり運動 【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できたか。	○	○	○	3
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	3
		サッカー 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができたか。 【思考・判断・表現】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	10
		ソフトボール 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	10
	定期考査							
		水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあえたか。	○	○	○	12
	定期考査							
2学期	中間考査まで	テニス 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むことができた。	○	○	○	14
		バレーボール 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	14
	定期考査							
	期末考査まで	バドミントン 【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようなったか。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組めたか。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすることができたか。	○	○	○	14
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	定期考査							
3学期	期末考査まで	バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防をできるようにすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができた。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができた。	○	○	○	14
		長距離走 【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振返ることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	8
	定期考査							
							合計	105

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 保健体育 科目 体育男子

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組 単位数： 3 単位
教科担当者：
使用教科書： （ 現代高等保健体育 ）
教科 保健体育 の目標：
【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
科目 体育男子 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期		オリエンテーション	体育の授業の進め方	プリント提出		○	○	1
	中間考査まで	体つくり運動 【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できたか。	○	○	○	3
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	3
		バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防をできるようにすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができた。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができた。	○	○	○	10
		バレーボール 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や空間の作り方ができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しむことができたか。	○	○	○	10
	定期考査							
		水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあえたか。	○	○	○	12
	定期考査							
2学期	中間考査まで	テニス 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むことができた。	○	○	○	14
		ソフトボール 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	14
	定期考査							
	期末考査まで	バドミントン 【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組むこと。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防ができるようなったか。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに巣継続する自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組めたか。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合い教えあおうとすることができたか。	○	○	○	14
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	定期考査							
3学期	期末考査まで	サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防をできるようにすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、攻防ができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 仲間と協力して、作戦を考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアプレイを尊重し、運動を楽しもうとすることができたか。	○	○	○	14
		長距離走 【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 自己に適したペースを維持して、長く走ることができるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保する為に、体調や環境に応じた練習について振返ることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	8
	定期考査							
								合計 105

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度　　教科　保健体育　科目　体育（３年）

対象学年組：第　　3 学年　　A　組～　　F　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　現代高等保健体育　）
教科　保健体育　の目標：
【知識及び技能】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
科目　体育（３年）　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、校正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全をかくほして、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	体つくり運動 【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【【知識及び技能】 体つくり運動のおこない方を理解したか。 【思考力、判断力、表現力等】 体の動かし方について、仲間とともに動きを考えられるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いを理解し、互いに協力して活動できるようになったか。	○	○	○	
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
		バレーボール・ソフトボール・卓球から選択 【知識及び技能】 各種目の特性を生かして運動すること。ルールは覚えること。 【思考力、判断力、表現力等】 各種目の技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 各種目の特性を生かして運動することができたか。ルールは覚えられたか。 【思考力、判断力、表現力等】 各種目の技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
	期末考査まで	バレーボール・ソフトボール・卓球から選択 【知識及び技能】 各種目の特性を生かして運動すること。ルールは覚えること。 【思考力、判断力、表現力等】 各種目の技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 各種目の特性を生かして運動することができたか。ルールは覚えられたか。 【思考力、判断力、表現力等】 各種目の技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	4
		水泳 【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあおうとすること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 クロール・平泳ぎについて学び、効率的に泳げるようになったか。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自他の課題を発見し、考えたことを伝えようとしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全を確保し、互いに助け合い教えあえたか。	○	○	○	8
	定期考査				○	○		1
2学期	中間考査まで	バドミントン・テニス・卓球から選択 【知識及び技能】 各種目の特性を生かして運動すること。ルールは覚えること。 【思考力、判断力、表現力等】 各種目の技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 各種目の特性を生かして運動することができたか。ルールは覚えられたか。 【思考力、判断力、表現力等】 各種目の技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	13
	定期考査							
	期末考査まで	サッカー・バスケットボール・卓球から選択 【知識及び技能】 各種目の特性を生かして運動すること。ルールは覚えること。 【思考力、判断力、表現力等】 各種目の技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組もうとする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 各種目の特性を生かして運動することができたか。ルールは覚えられたか。 【思考力、判断力、表現力等】 各種目の技術について、仲間と課題を分析し、解決法を考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の違いに応じた挑戦を大切にし、取り組めたか。	○	○	○	13
		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	定期考査							
3学期		体育理論 【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【【知識及び技能】 スポーツの歴史的発展や現代スポーツの意義や価値について学べたか。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、解決に向けて思考できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に自主的に取り組めたか。	○	○	○	2
	定期考査							
							合計	52

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 保健体育 科目 保健

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組 単位数： 1 単位
教科担当者：
使用教科書： （ 現代高等保健体育 ）
教科 保健体育 の目標：
【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	健康の考え方 【知識及び技能】 国民の健康課題について、理解できる。また、健康の成立には、主体要因と環境要因が影響しあい関わっていることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題について、健康水準や疾病構造の変化に関するデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりについて、ノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 国民の健康課題について、理解できる。また、健康の成立には、主体要因と環境要因が影響しあい関わっていることを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題について、健康水準や疾病構造の変化に関するデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりについて、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	3
		生活習慣病 【知識及び技能】 生活習慣病について、種類や要因、予防について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病について、資料やデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題である生活習慣病について、ノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 生活習慣病について、種類や要因、予防について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病について、資料やデータ等に基づき、分析、整理、説明することができるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題である生活習慣病について、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	3
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	運動・食事・休養 【知識及び技能】 運動、食事、休養について、健康との関りを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動、食事、休養について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 運動、食事、休養について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 運動、食事、休養について、健康との関りを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 運動、食事、休養について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 運動、食事、休養について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	2
		喫煙・飲酒・薬物乱用 【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	3
	定期考査				○	○		1
2学期	中間考査まで	喫煙・飲酒・薬物乱用 【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、心身の健康を損ねることを理解し、個人や社会への対策が必要なことを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、わが国の取組を分析したり、諸外国と比較したりして、評価できるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	4
		精神疾患 【知識及び技能】 精神疾患について、個人や社会における課題について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患について、予防や対策について整理することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 精神疾患について、個人や社会における課題について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患について、予防や対策について整理することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	3
		現代の感染症 【知識及び技能】 現代の感染症について、発生や流行に違いがあること、予防や対策について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症について、発生や流行の違いについて整理し、対策を考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 現代の感染症について、発生や流行に違いがあること、予防や対策について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症について、発生や流行の違いについて整理し、対策を考えることができるようなったか。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	1
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	現代の感染症 【知識及び技能】 現代の感染症について、発生や流行に違いがあること、予防や対策について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症について、発生や流行の違いについて整理し、対策を考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 現代の感染症について、発生や流行に違いがあること、予防や対策について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症について、発生や流行の違いについて整理し、対策を考えることができるようなったか。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	3
		健康に関する意思決定・行動 【知識及び技能】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択について考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 健康の考え方について、健康に関する適切な意思決定・行動選択について考えることができるようなったか。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	2
	定期考査				○	○		1
3学期		安全な社会づくり 【知識及び技能】 安全な社会づくりのためには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりのために必要な、責任ある行動とは何かを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりついて、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 安全な社会づくりのためには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりのために必要な、責任ある行動とは何かを考えられるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりついて、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	4
		応急手当 【知識及び技能】 適切で迅速な応急手当ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な応急手当を選択することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、学習したことをノートやプリントにまとめることができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識及び技能】 適切で迅速な応急手当ができる知識を身に付けたか。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な応急手当を選択することができるようになったか。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、学習したことをノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	4
	定期考査				○	○		1
							合計	35

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　保健体育　科目　保健

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組　　単位数：　1　単位
教科担当者：
使用教科書：（　現代高等保健体育　）
教科　保健体育　の目標：
【知識及び技能】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
科目　保健　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	生涯を通じる健康 ライフステージ・思春期と健康 【知識及び技能】 思春期における体の変化を女性と男性に分けて説明	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 思春期における体の変化を女性と男性に分けて説明できる。 【思考・判断・表現】 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について　例をあげることができる。	○	○	○	3
		生涯を通じる健康 妊娠・出産と健康 ① 【知識及び技能】妊娠・出産にかかわる健康課題を理解することができる。 【思考・判断・表現】妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 妊娠・出産に活用できる母子保健サービスの例をあげ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】健康課題について理解できたか。　妊娠・出産における健康課題について説明できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 妊娠・出産に活用できる母子保健サービスの例をあげることができたか。	○	○	○	2
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	生涯を通じる健康 妊娠・出産と健康 ② 【知識及び技能】 妊娠・出産にかかわる健康課題を理解することができる。 【思考・判断・表現】妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 妊娠・出産に活用できる母子保健サービスの例をあげ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】健康課題について理解できたか。 【思考・判断・表現】 妊娠・出産における健康課題について説明できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 妊娠・出産に活用できる母子保健サービスの例をあげることができたか。	○	○	○	2
		生涯を通じる健康 避妊法と人工妊娠中絶、結婚生活と健康 【知識及び技能】 家族計画の意義と適切な避妊法について理解することができる。。 【思考・判断・表現】 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明ができ、ノートやプリントにまとめることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 家族計画の意義と適切な避妊法について理解できたか。 【思考・判断・表現】 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できたか。 【学びに向かう力・人間性等】 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明ができ、ノートやプリントにまとめることができたか。	○	○	○	4
	定期考査				○	○		1
2学期	7月 中間考査まで	課題研究レポート・発表の説明、テーマ設定・発表順 【知識及び技能】 課題研究レポート・発表について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 レポート作成作業について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の興味・関心あることでテーマ設定ができる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】　課題研究レポート・発表について理解できたか。 【思考・判断・表現】　今後の作業等の準備ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】　自分の興味・関心あることでテーマ設定ができたか。	○	○	○	2
		課題発表準備 【知識及び技能】 作成したレポートの原稿はできているか。 【思考力、判断力、表現力等】 発表準備は出来ているか。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の原稿は出来ているか。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】　作成したレポートの発表原稿はできたか。 【思考・判断・表現】　今後の発表等の準備ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】　発表原稿ができたか。	○	○	○	2
		課題研究発表 【知識及び技能】 作成したレポートの原稿はできているか。 【思考力、判断力、表現力等】 発表準備は出来ているか。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の原稿は出来ているか。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】　発表者の自己評価と聞き手との相互評価 【思考・判断・表現】　落ち着いて発表できたか。資料の評価 【主体的に学習に取り組む態度】　発表をしっかりと聞けたか。	○	○	○	4
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	課題研究発表 【知識及び技能】 作成したレポートの原稿はできているか。 【思考力、判断力、表現力等】 発表準備は出来ているか。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の原稿は出来ているか。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】　発表者の自己評価と聞き手との相互評価 【思考・判断・表現】　落ち着いて発表できたか。資料の評価 【主体的に学習に取り組む態度】　発表をしっかりと聞けたか。	○	○	○	5
	定期考査				○	○		1
3学期	12月 期末考査まで	課題研究発表 【知識及び技能】 作成したレポートの原稿はできているか。 【思考力、判断力、表現力等】 発表準備は出来ているか。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の原稿は出来ているか。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】　発表者の自己評価と聞き手との相互評価 【思考・判断・表現】　落ち着いて発表できたか。資料の評価 【主体的に学習に取り組む態度】　発表をしっかりと聞けたか。	○	○	○	1
		課題研究発表 【知識及び技能】 作成したレポートの原稿はできているか。 【思考力、判断力、表現力等】 発表準備は出来ているか。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の原稿は出来ているか。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】　発表者の自己評価と聞き手との相互評価 【思考・判断・表現】　落ち着いて発表できたか。資料の評価 【主体的に学習に取り組む態度】　発表をしっかりと聞けたか。	○	○	○	5
		課題研究発表 振り返り 【知識及び技能】 発表内容から作問ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 今後の生活に役立てられるか。 他人の発表について客観的に評価できているか。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】　発表者の自己評価と聞き手との相互評価 【思考・判断・表現】　落ち着いて発表できたか。資料の評価 【主体的に学習に取り組む態度】　発表をしっかりと聞けたか。	○	○	○	2
	定期考査				○	○		1

35

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度　教科 芸術（音楽）　科目 音楽Ⅰ

対象学年組：第　1 学年　A　組～　G　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（　Mousa 1（教育芸術社）　）
教科　芸術（音楽）　の目標：
【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　想像的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】　生涯に渡り芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関り及び音楽の多様性について理解するとともに、創造工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことが出来るようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	ハーモニーを感じて歌おう 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方など、表現に必要な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の可能性を追求する態度を養う	・指導事項 曲にふさわしい発声、呼吸や口の形など発声の基本について ・教材 校歌、教科書 ・一人１台端末の活用　等 参考映像の鑑賞等	○			○	【知識・技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解し、姿勢や呼吸などの身体の使い方、他者との調和を意識して歌っている 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、働きを感受しながらその関わりについて考え、表現意図を持っている 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞の関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	24
		音楽の基礎知識を身に付けよう 【知識及び技能】 楽譜の仕組みを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 楽譜の正しい読み方・書き方を身に付け、表現に生かす 【学びに向かう力、人間性等】 音楽性豊かな表現の基礎となる学習を大切にする態度を養う	・指導事項 楽譜の仕組み、音程、拍、リズム ・教材 教科書 ・一人１台端末の活用 予習・復習等		○		○	【知識・技能】 楽譜の仕組みを理解し、音高や音程、リズムを正しく把握している 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素を正しく読み取り、どのように演奏するか表現意図を持っている 【主体的に学習に取り組む態度】 表現や鑑賞の学習に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	
	定期考査											
	期末考査まで	イタリア歌曲を歌おう 【知識及び技能】 言葉の発音や特徴、身体の使い方、表現の工夫 【思考力、判断力、表現力等】 言葉の特性、曲種に応じた発声との関わりについて考えて表現する 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の可能性を追求する態度を養う	・指導事項 さまざまな言語による表現の工夫、イタリア語の発音、歌詞の内容、曲想を理解し楽曲に合わせた表現方法 ・教材 教科書、プリント ・一人１台端末の活用　等 参考映像の鑑賞等	○			○	【知識・技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、働きを感受しながらその関わりについて考え、表現意図を持っている 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	
		物語と音楽との関りに注目しよう 【知識及び技能】 曲想や歌詞、音楽の構造、文化的・歴史的背景について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、イメージをもって歌唱表現をする 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の可能性を追求する態度を養う	・指導事項 ミュージカルの文化的・歴史的背景、歌詞と曲想や他の芸術との関わり ・教材 教科書、学習プリント、DVD ・一人１台端末の活用　等 参考映像の鑑賞、予習・復習等	○			○	【知識・技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台芸術としての表現方法を理解している。 【思考・判断・表現】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって鑑賞している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物語や登場人物、それぞれの楽曲に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の活動に取り組んでいる。	○	○	○	
	定期考査											
2学期	中間考査まで	クラシックギターを演奏しよう 【知識及び技能】 クラシックギター・リコーダーの基礎的な奏法、演奏効果を高めるための身体の使い方 【思考力、判断力、表現力等】 ギターの正しい奏法を身に付け、創造的に器楽表現をする 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の可能性を追求する態度を養う	・指導事項 TAB譜の読み方、クラシックギター・リコーダーの奏法 ・教材 教科書、プリント		○		○	【知識・技能】 TAB譜の仕組みを理解する。クラシックギターの基礎的な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 楽曲に相応しい奏法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素や関連を知覚し、働きを感受しながらその関わりについて考え、表現意図を持っている 【主体的に学習に取り組む態度】 ギターの独奏やアンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	28
		日本歌曲を歌おう 【知識及び技能】 言葉の発音や特徴、身体の使い方、表現の工夫 【思考力、判断力、表現力等】 言葉の特性、曲種に応じた発声との関わりについて考えて表現する 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の可能性を追求する態度を養う	・指導事項 さまざまな言語による表現の工夫 ・教材 教科書、プリント、DVD ・一人１台端末の活用　等 参考映像の鑑賞等	○			○	【知識・技能】 曲想と歌詞や楽曲の背景との関りについて理解居ている。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲に相応しい発声、言葉（歌詞）の発音などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 旋律と楽曲の美しさとの関りについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 楽曲の美しさに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている	○	○	○	
	定期考査											
	期末考査まで	西洋音楽を通して、幅広く音楽に触れよう 【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景の関わりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 日本や世界の諸民族の音楽や表現方法の比較を通し、音楽表現の共通性や固有性について考える 【学びに向かう力、人間性等】 音楽や音楽文化を尊重する態度を養う	・指導事項 日本や世界各地の音楽の音色や表現の特徴 ・教材 教科書、DVD、プリント ・一人１台端末の活用　等 調べ学習、参考映像の鑑賞等				○	【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関り、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関りについて理解している。 【思考・判断・表現】 音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関りについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 西洋音楽の鑑賞と文化的・歴史的背景の学習で迫ることに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	
		ヴォイスアンサンブル 【知識及び技能】 音楽構造の理解、表現の工夫 【思考力、判断力、表現力等】 他者との調和を意識して各パートの役割を考え、創造的に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の可能性を追求する態度を養う	・指導事項 音楽構造・手法の理解、ハンドクラップアンサンブルのパートの役割と他者との調和 ・教材 教科書、学習プリント ・一人１台端末の活用　等			○	○	【知識・技能】 ・音楽構造や反復、変化、対照などの手法を理解し、表現に生かしている 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感受しながらその関わりについて考え、表現意図を持って音楽をつくっている 【主体的に学習に取り組む態度】 音色や奏法との関わり、他者との調和を意識して創作・演奏することに関心をもち、主体的・創造的に学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	
	定期考査											
3学期		混声合唱を美しく響かせよう 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方など、表現に必要な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の可能性を追求する態度を養う	・指導事項 他者との調和を意識した演奏する技能。 各パートや指揮者の役割を理解するとともに、全体の響きやハーモニーをイメージする。 共通のイメージをもって、音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫するすること。 ・教材 教科書、学習プリント	○			○	【知識・技能】 姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他社との調和やハーモニーを意識して歌う技能を身に付け、歌唱で奏している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
		アンサンブル 1年間の学習における表現や鑑賞の知識、技能を生かし、歌唱や器楽、創作で表現する 【思考力、判断力、表現力等】 表現形態の特徴を理解し、他者との調和を意識した音楽づくりを行い演奏する 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の可能性を追求する態度を養う	・指導事項 表現形態の特徴の理解、パートの役割他者との調和 ・教材 教科書、学習プリント ・一人１台端末の活用　等 動画で演奏を記録しフィードバックを行う、予習・復習等	○	○	○	○	【知識・技能】 学習における表現や鑑賞の知識、技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽、創作で表現している 【思考・判断・表現】 アンサンブルの特徴を理解し、他者との調和を意識した音楽づくりを行い演奏している 【主体的に学習に取り組む態度】 1年間の学習活動を経て、自分の音楽に対する考え方の変容について考えることに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	
	定期考査											
												合計
												70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度　　教科　芸術（美術）　科目　美術Ⅰ

対象学年組：第　1 学年　C　組～　G　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：　明日香
使用教科書：（　高校生の美術１　）
教科　芸術（美術）　の目標：
【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A表現 オリエンテーション 好きな作品紹介 【知識及び技能】 美術作品における造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風を自分なりに捉え、絵と文で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 作品鑑賞と創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項 図版の模写、作品解説と共に自分の感想を一枚の用紙に主とめ発表する。他者の発表を聞き、それぞれの見方や考え方を味わう。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、画材一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大。作品についての情報検索。	○			○	【知識・技能】 美術作品における造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風を自分なりに捉え、絵と文で表すことを理解している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさを感じ取り、それが自己の体験や価値観などから生じることに意識的になり、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品鑑賞と創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	24
		A表現 鉛筆デッサン1 【知識及び技能】 線の強弱、画材の特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 基本形態を基に、形と明暗の関係を考え表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近なものの特徴や構造を捉えて表す創造活動を追求する態度を養う。	・指導事項 鉛筆で10段階以上の明暗の階調を表現する。平面上に基本形態を立体的に表現する。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、画材一式 ・一人１台端末の活用　等 鑑賞の補助	○			○	【知識・技能】 課題を理解し、線の強弱や画材の特性を生かして表している。 【思考・判断・表現】 形と明暗の関係を考え、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近なものの特徴や構造を捉えて表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		A表現 鉛筆デッサン2 【知識及び技能】 形、明暗、質感などの効果、モチーフの構造などを捉え、画材の特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近なものの特徴や動きなどを基に、形、明暗、質感などの効果を考え、構図を練ったり、鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 身近なものの特徴や構造を捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項 目的に応じた構図を採用する。モチーフの要素、動きを挙げ、よく観察して鉛筆で写実的に描写する。正確な比率や形態、明暗や質感を探求し表現しようと努力する。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、画材一式 ・一人１台端末の活用　等 鑑賞の補助	○			○	【知識・技能】 形、明暗、質感などの効果、モチーフの構造などを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表している。 【思考・判断・表現】 身近なものの特徴や動きなどを基に、形、明暗、質感などの効果を考え、構図を練ったり、鑑賞している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近なものの特徴や構造を捉えて表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査		作品提出、発表等						○	○	○	
	期末考査まで	A表現 平面構成1 【知識及び技能】 色彩の要素、材料や用具の特性を生かし、計画を基に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 色彩の要素、画材の使い方を工夫し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 色彩と画材の関係を追求し創造活動に取り組む態度を養う。	・指導事項 画材の特徴、色彩の基礎を理解する。計画に基づいてアクリル絵の具で明度別に、均一に塗り分ける。 ・教材 教科書（高校生の美術1）、画材一式 ・一人１台端末の活用　等 配色計画の補助		○		○	【知識・技能】 色彩の要素を理解し、材料や用具の特性を生かし、計画を基に表している。 【思考・判断・表現】 色彩の要素、画材の使い方を考え、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 色彩と画材の関係を追求し創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		A表現 平面構成2 【知識及び技能】 自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、構成の効果、全体のイメージなどを捉え、計画を基に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 自然物などの形や色彩の特徴や美しさを基に、構成の効果を考え構想を練り、イメージを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 イメージを抽象化して表す創造活動に主体的に取り組む。	・指導事項 色彩と形態を用いてイメージを表現する。造形秩序（バランス、リズムなど）、トーンと色彩感情を意識して配色計画を立てる。計画に基づいてアクリル絵の具で目的の色を作り、均一に塗り分ける。全員の作品を鑑賞し、多様なアイデアに触れ、デザインや抽象表現への理解を深める。 ・教材 教科書（高校生の美術1）、画材一式 ・一人１台端末の活用　等 配色計画の補助		○		○	【知識・技能】 自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、構成などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、計画を基に表している。 【思考・判断・表現】 自然物などの形や色彩の特徴や美しさを基に、構成などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イメージを抽象化して表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査		作品提出、発表等						○	○	○	
2学期	中間考査まで	B鑑賞 西洋美術史(17世紀オランダ絵画) 【知識及び技能】 静物画の定義や17世紀オランダの社会と藝術の関係について理解する。全体のイメージや作風などを捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 時代背景、美術文化の継承と創造について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 古典作品のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項 静物画の定義や17世紀オランダの社会と藝術の関係などから美術史を概観し絵画制作のテーマ設定について理解を深める。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、スライド ・一人１台端末の活用　等 鑑賞の補助				○	【知識・技能】 静物画の定義や17世紀オランダの社会と藝術の関係について理解している。全体のイメージや作風、様式などを捉えている。 【思考・判断・表現】 時代背景、美術文化の継承と創造について考え、美術作品の見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 古典作品のよさや美しさ、位置付けなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	28
		A表現 静物画1 【知識及び技能】 モチーフの形、全体の明暗や空間を捉え表す。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 モチーフが置かれている状況を捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項 古典絵画技法に触れ、設計図の必要性を理解する。モチーフに応じた科学的観察や構造的理解をする。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、画材一式、参考動画 ・一人１台端末の活用　等 鑑賞、構図確認の補助	○			○	【知識・技能】 モチーフの形、全体の明暗や空間を捉え表すことを理解している。 【思考・判断・表現】 モチーフの形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練っている。静物画の見方や捉え方を深めて鑑賞している。 【主体的に学習に取り組む態度】 モチーフが置かれている状況を捉えて表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		A表現 静物画2 【知識及び技能】 形、色彩、明暗や空間を捉え画材の特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの特徴や、構図など全体のバランスを考え表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 モチーフが置かれている状況から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項 モチーフの状況をよく観察・計測して全体感やモチーフ間の大きさや体積の比例関係、大まかな明暗の階調を捉える。アクリル絵の具での写実表現に挑戦する。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、画材一式 ・一人１台端末の活用　等 構図確認の補助	○			○	【知識・技能】 モチーフの形や色彩、全体の明暗や空間を捉え、絵の具などの特性を生かして表すことを理解している。 【思考・判断・表現】 モチーフの形や色彩、構図などの効果を考えた構想を練って表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 モチーフが置かれている状況から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査		作品提出、発表等						○	○	○	
	期末考査まで	A表現 静物画3 【知識及び技能】 形や色彩、明暗や空間を捉え画材の特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの特徴や、空間の状況を分析、観察して表現を追求し、鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 モチーフが置かれている状況から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項 絵具を重ねることで色彩が響きあうことを体感する。固有色の調色などに努め、写実表現を追求する。客観的に自己と他者の作品を鑑賞し、絵画表現の理解を深める。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、画材一式 ・一人１台端末の活用　等 鑑賞の補助	○			○	【知識・技能】 風景の中の空間、モチーフの形や色彩、全体の明暗やイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表すことを理解している。 【思考・判断・表現】 モチーフの特徴や空間全体を捉え、写実的な表現を追求し、絵画の見方や捉え方を深めて鑑賞している。 【主体的に学習に取り組む態度】 モチーフが置かれている状況から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		A表現 様々な絵の具表現 モダンテクニック 【知識及び技能】 シュールレアリスムの芸術家グループとその思想・方法について理解し、様々な描画技法を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 モダンテクニックの特性を基に構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 モダンテクニックの特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項 シュールレアリスムの芸術家グループとその思想・方法について理解する。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、画材一式 ・一人１台端末の活用　等 鑑賞の補助	○	○		○	【知識・技能】 シュールレアリスムの芸術家グループとその思想・方法について理解し、様々な描画技法を生かして表している。 【思考・判断・表現】 モダンテクニックの特性を基に、五感を表現する効果を考え、構想を練っている。創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 モダンテクニックの特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査		作品提出、発表等						○	○	○	
3学期		A表現 超現実主義的絵画空間を創る 【知識及び技能】 イメージの組み合わせ、構図や色彩などの効果、コラージュ技法を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 自分のテーマを伝えるための形体や色彩、配置、組み合わせなどの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の世界を表す創造活	・指導事項 表現するテーマを各自が設定する。コラージュの手法、レイアウトについて理解する。テーマに合わせたコラージュ素材を収集し、制作に生かす。テーマを掘り下げ、モダンテクニックなども利用して表現を追求する。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、画材一式 ・一人１台端末の活用　等 素材収集、鑑賞の補助	○			○	【知識・技能】 具体物や抽象的なものの組み合わせ、構図や色彩などの効果、全体のイメージなどを捉え、コラージュ技法を生かして表している。 【思考・判断・表現】 自分のテーマを伝えるための形体や色彩、配置、組み合わせなどの効果を考え、構想を練っている。創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の世界を表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
		B鑑賞/映像メディア表現 【知識及び技能】 映像の効果、美しさや全体のイメージなどを捉える 【思考力、判断力、表現力等】 映像表現の特質や表現効果、投影の工夫などを感じ取り、機器の特質を生かした創造的な工夫について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 映像表現のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。	・指導事項 ビデオアートなどの作品を鑑賞し、映像表現の特質や良さを味合う。現代アートと社会の関わりについての理解を深め、過去から現代のテクノロジーとの関係や未来の表現を考え、一年間の振り返りを行う。 ・教材　教科書（高校生の美術1）、参考動画 ・一人１台端末の活用　等 鑑賞の補助			○	○	【知識・技能】 形や色彩、光、空間、動きなどの性質及び それらが人の感情にもたらす効果や、映像作品の印象や特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】 映像表現の特質や表現効果、投影の工夫などを感じ取り、機器の特質を生かした創造的な工夫について考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 映像表現のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査		作品提出、発表等						○	○	○	
												合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　芸術（書道）□　科目　書道Ⅰ□

対象学年組：第　1 学年　A、B、FG　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（　書道Ⅰ（教育図書）　）
教科　芸術（書道）□　の目標：
【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質を理解するとともに、意図に基づいて表現するための知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
科目　書道Ⅰ□　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創 造していく態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元　書写から書道へ 【知識及び技能】 漢字の書体の変遷，仮名の成立等について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 書のよさや美しさを味わってとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 書の特質や学習の全体像の把握する。姿勢・執筆や用具・用材について理解し、書の学習方法を把握する。 ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大　等	○	○	○	○	【知識・技能】 用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解し、身に付けている。 【思考・判断・表現】 意図に基づいた表現について構想し工夫している。 書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	24
		A 単元　楷書の学習 【知識及び技能】 楷書の古典の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、中国の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わってとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 楷書の古典の特質に基づく幅広い表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 九成宮醴泉銘/孔子廟堂碑/雁塔聖教序/顔氏家廟碑の鑑賞と臨書 ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大　等		○		○	【知識・技能】 楷書の古典の書体や書風について理解し、線質・字形や構成を生かした表現を身に付けている。 表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 【思考・判断・表現】 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。また、その価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 楷書の特質に基づく表現をする幅広いの学習活動に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		定期考査							○	○		
	期末考査まで	A 単元　行書の学習 【知識及び技能】 行書の古典の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、中国や日本等の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わってとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 行書の古典の特質に基づく幅広い表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 蘭亭序/祭姪稿ほか三筆、三跡の書の鑑賞と臨書 ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大　等		○		○	【知識・技能】 行書の古典の書体や書風について理解し、線質・字形や構成を生かした表現を身に付けている。 表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 【思考・判断・表現】 行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。また、その価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 行書の特質に基づく表現をする幅広い学習活動に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		A 単元　楷行書の学習 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 意図に基づいた表現について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の特質に基づく表現をする幅広い表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 創作の手順　古典の書風に即した創作作品制作 ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 鑑賞の補助　題材について情報検索　等		○		○	【知識・技能】 漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考・判断・表現】 漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。また、その価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の意図に基づく表現、漢字の書の特質に基づく表現をする幅広い学習活動に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		定期考査							○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元　篆書と篆刻の学習 【知識及び技能】 篆刻の古典の書風と用刀・運刀との関わり、篆刻の用具・用材、基本的な表現の過程について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 篆刻の書風に即した用刀・運刀、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 篆刻の書風に即した用刀・運刀、字形、全体の構成について構想し工夫する。	・指導事項 篆書の古典を鑑賞し、姓名印を刻る ・教材 教科書　篆刻用具一式 ・一人１台端末の活用　等 鑑賞の補助　手順を動画で確認　等		○		○	【知識・技能】 篆書の古典の書体や書風について理解し、線質・字形や構成を生かした表現を身に付けている。 表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 【思考・判断・表現】 篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。また、その価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 篆書の特質に基づく表現をする幅広い学習活動に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	28
		A 単元　行草書の学習 【知識及び技能】 行草書の古典に基づく基本的な用筆・運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 行草書の古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わってとらえる。	・指導事項 風信帖／伊都内親王願文／真草千字文の鑑賞と臨書 ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大　等		○		○	【知識・技能】 行草書の古典の書体や書風について理解し、線質・字形や構成を生かした表現を身に付けている。 表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 【思考・判断・表現】 行草書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。また、その価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 行草書の特質に基づく表現をする幅広い学習活動に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		A 単元　隷書の学習 【知識及び技能】 隷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 隷書の古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わってとらえる。	・指導事項 曹全碑の鑑賞と臨書 ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大　等		○		○	【知識・技能】 隷書の古典の書体や書風について理解し、線質・字形や構成を生かした表現を身に付けている。 表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 【思考・判断・表現】 隷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。また、その価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 隷書の特質に基づく表現をする幅広い学習活動に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		定期考査							○	○		
	期末考査まで	A 単元　漢字の書の学習 【知識及び技能】 古典に基づく基本的な用筆・運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わってとらえる。	・指導事項 各古典の鑑賞と臨書　条幅に仕上げる ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大　等		○		○	【知識・技能】 漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考・判断・表現】 古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。また、その価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い学習活動に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		A 単元　生活に広げる 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の意図に基づく表現、漢字仮名交ぜりの書の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 書式や目的に応じた表現意図を踏まえ、年賀状または寒中見舞いハガキを仕上げる ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大　素材収集　等	○			○	【知識・技能】 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 生活や社会における書の効用について理解している。 創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現、自身の表現の意図に基づく表現、書の幅広い学習活動に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		定期考査							○	○		
3学期		A 単元　仮名の書の学習 【知識及び技能】 日本の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 連綿と単体、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 仮名の成立と発達、基本線、仮名、変体仮名についての理解　高野切第三種の鑑賞と臨書 ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大　等			○	○	【知識・技能】 仮名の古典の書体や書風について理解し、線質・字形や構成を生かした表現を身に付けている。表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 【思考・判断・表現】 仮名の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。また、その価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 仮名の特質に基づく表現をする幅広い学習活動に生かそうとし、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
		A 単元　漢字仮名交じり書 【知識及び技能】 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 目的に応じた表現意図を踏まえて書き、色紙に漢字仮名交じりの作品を仕上げる ・教材 教科書　書道具一式 ・一人１台端末の活用　等 図版の拡大　素材収集　等	○			○	【知識・技能】 名筆や現代の書の表現と関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 目的や用途に即した、古典を生かす表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。また、創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく幅広い学習活動に生かそうとし、作品や書の意味や価値について関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
		定期考査							○	○		
												合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 外国語　　科目 English Communication Ⅰ

対象学年組：第　1 学年　A　組～　G　組　　単位数：　4 単位
教科担当者：
使用教科書：　(ELEMENT English Communication Ⅰ、SKYWAES、Mileage Reader 4、Word Navi 3000、Focus on Listening Pre-standard　)
教科　外国語　の目標：
【知識及び技能】　言語や文化に対する理解を深める
【思考力、判断力、表現力等】　情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う
【学びに向かう力、人間性等】　積極的にコミュニケーションをはかろうとする態度の育成を図る
科目　English Communication Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・新出単語、熟語、重要表現、関連表現、文法を理解し、本文のないようを正確に読み取り聞き取ることができる。 ・EssayWritingの基礎的な構成を理解できる。	・本文の内容を要約したり、本文に関連したテーマについて読んだり書いたりすることができる。 ・本文の内容に関する自分の意見を表現できる。	・外国語の文化背景を積極的に理解し表現しようとすることができる。 ・学習に見通しを持ち自ら学ぼうとする姿勢がある。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話や	話発	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期 中間考査まで	Element English Communication Ⅰ 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 Element Lesson 1-2 【単語・熟語】 Word Navi 0565-0764 【速読】 Mileage Reader Lesson1-4 【リスニング】 Focus on Listening 1-4 一人１台端末を適宜活用する	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	48
	SKYWARD 【知識及び技能】 難易度が高めの英文をALL Englishによる説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 SKYWARD Unit 1-4 一人１台端末を適宜活用する 外国人講師とのTeam Teaching	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	
	Speaking 【知識及び技能】 ネイティブの英語を、聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや意見を英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語で表現しコミュニケーションをとることができる。	【Speaking】 Online 英会話 一人１台端末を活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ネイティブの英語を理解している。 【思考・判断・表現】 テーマ関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	
	定期考査	中間考査							○	○		
期末考査まで	Element English Communication Ⅰ 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 Element Lesson 3-4 【単語・熟語】 Word Navi 0765-0964 【速読】 Mileage Reader Lesson5-8 【リスニング】 Focus on Listening 5-8 一人１台端末を適宜活用する	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	
	SKYWARD 【知識及び技能】 難易度が高めの英文をALL Englishによる説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 SKYWARD Unit 5-8 一人１台端末を適宜活用する 外国人講師とのTeam Teaching 【Speaking】 Online 英会話 一人１台端末を活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	
	定期考査	期末考査							○	○		
2学期 中間考査まで	Element English Communication Ⅰ 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 Element Lesson 5-6 【単語・熟語】 Word Navi 1171-1360 【速読】 Mileage Reader Lesson 10-13 【リスニング】 Focus on Listening 9-12 一人１台端末を適宜活用する	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	56
	SKYWARD 【知識及び技能】 難易度が高めの英文をALL Englishによる説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 SKYWARD Unit 9-12 一人１台端末を適宜活用する 外国人講師とのTeam Teaching	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	
	Speaking 【知識及び技能】 ネイティブの英語を、聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや意見を英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語で表現しコミュニケーションをとることができる。	【Speaking】 Online 英会話 一人１台端末を活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ネイティブの英語を理解している。 【思考・判断・表現】 テーマ関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	
	定期考査	中間考査							○	○		
期末考査まで	Element English Communication Ⅰ 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 Element Lesson 7-8 【単語・熟語】 Word Navi 1361-1560 【速読】 Mileage Reader Lesson14-17 【リスニング】 Focus on Listening 13-16 一人１台端末を適宜活用する	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	
	SKYWARD 【知識及び技能】 難易度が高めの英文をALL Englishによる説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 SKYWARD Unit 13-16 一人１台端末を適宜活用する 外国人講師とのTeam Teaching 【Speaking】 Online 英会話 一人１台端末を活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	
	定期考査	期末考査							○	○		
3学期	Element English Communication Ⅰ 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 Element Lesson 9 【単語・熟語】 Word Navi 1171-1786 【速読】 Mileage Reader Lesson20-23 【リスニング】 Focus on Listening 17-20 一人１台端末を適宜活用する	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	36
	SKYWARD 【知識及び技能】 難易度が高めの英文をALL Englishによる説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で学習の見通しを立て、自ら学ぼうとする姿勢を持つことができる。	【読解】 SKYWARD Unit 17-20 一人１台端末を適宜活用する 外国人講師とのTeam Teaching 【Speaking】 Online 英会話 一人１台端末を活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して自分で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、自ら学習の仕方を考え工夫することができる。	○	○	○	
	定期考査	学年末考査							○	○		
												合計 140

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組　　単位数： 2 単位
教科担当者：
使用教科書： （ EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Advanced ）
教科 外国語 の目標：
【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況などに応じて様々な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり表現したり伝え合ったりする。
【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自律的に外交後を用いて｣コミュニケーションをとろうとする。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英文法を体系的にとらえ、英語の基本構造を演習を通して理解する。基本的な文法や英文の構造を理解した上で「読む・聞く・話す・書く」の４技能を高める。	学習した語彙・文法・構文を正しく使って基礎的な英文を書いたり話したりする力を養う。	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図り、学習した語彙や文法を素地として論理の展開や表現を工夫しながら自分の考えを伝えようとする力を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話や	話発	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元 「文の組み立て方」 【知識及び技能】 品詞や文型の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文型を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 文型を適切に使って自他やテーマについて表現する。	・指導事項 「文の組み立て方」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 1～2 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 1～3 ・Future Globe unit 1～7 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ５文型を理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動詞と文型を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 動詞と文型を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	5
		A 単元 「動詞と時の表し方」 【知識及び技能】 時制の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 時制を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 時制を適切に使って自他やテーマについて表現する。	・指導事項 「動詞と時の表し方」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 3～6, Practical Training! 2 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 1～3 ・Future Globe unit 8～12 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 時制を正しく理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 時制を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 時制を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	6
		A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等						【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査		中間考査		○			○		○	○		1
	期末考査まで	A 単元 「助動詞」 【知識及び技能】 助動詞の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 助動詞を適切に使って自他やテーマについて表現する。	・指導事項 「助動詞」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 7～11, Practical Training! 2 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 4～6 ・Future Globe unit 13～18 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 助動詞を正しく理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 助動詞を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	6
		A 単元 「受動態」 【知識及び技能】 受動態の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 受動態を適切に使って自他やテーマについて表現する。	・指導事項 「受動態」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 9～11, Practical Training! 2 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 4～6 ・Future Globe unit 19～25 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 受動態と能動態を正しく理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態と能動態を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 受動態と能動態を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	7
	定期考査		期末考査		○			○		○	○		1
2学期	中間考査まで	A 単元 「準動詞・不定詞」 【知識及び技能】 不定詞の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞を適切に使って自他やテーマについて表現する。	・指導事項 「不定詞」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 12～E.L.1 不定詞 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 7～9 ・Future Globe unit 26～34 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 不定詞を正しく理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	6
		A 単元 「準動詞・動名詞」 【知識及び技能】 動名詞の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 動名詞を適切に使って自他やテーマについて表現する。	・指導事項 「動名詞」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 15，16 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 10～12 ・Future Globe unit 35～44 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 動名詞を正しく理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 動名詞を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	7
		A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等						【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
	定期考査		中間考査		○			○		○	○		1
	期末考査まで	A 単元 「準動詞・分詞」 【知識及び技能】 分詞の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞を適切に使って自他やテーマについて表現する。	・指導事項 「分詞」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 17～E.L.3 Practical Training! 3 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 7～9 ・Future Globe unit 35～39 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 分詞を正しく理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	7
		A 単元 「関係詞」 【知識及び技能】 関係詞の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関係詞を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 関係詞を適切に使って自他やテーマについて表現する。	・指導事項 「関係詞」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 19～E.L.3 Practical Training! 3 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 10～12 ・Future Globe unit 35～44 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 動名詞を正しく理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 動名詞を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	7
	定期考査		期末考査		○			○		○	○		1
3学期		A 単元 「比較」 【知識及び技能】 比較の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 比較を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 比較を適切に使って自他やテーマについて表現する。	・指導事項 「比較」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 22～Practical Training! 4 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 13～15 ・Future Globe unit 45～56 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 比較を正しく理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 比較を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 比較を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	7
		A 単元 「仮定法」 【知識及び技能】 仮定法の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 仮定法を正しく使って自分や友だちのことを話す。 【学びに向かう力、人間性等】 仮定法を適切に使って自他のことを表現する。	・指導事項 「仮定法」 ・教材 ・EARTHRISE English Grammar in 24 24～E.L. 5仮定法 ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ 13～15 ・Future Globe unit 57,58 ・一人１台端末の活用 等 授業の内外で利点を最大限に生かし学習の効果や効率を高める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 仮定法を正しく理解し、文を正確に作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮定法を正しく使用し、伝えたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 仮定法を適切に使用し、積極的に会話し、まとまった英語を書き期限通りに提出できる。	○	○	○	7
	定期考査		学年末考査		○		○			○	○		1
												合計	70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 英語　　科目 英語コミュニケーションII

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組　　単位数： 4 単位
教科担当者：
使用教科書：（ CROWN English Communication II ）
教科 英語 の目標：
【知識及び技能】 言語や文化に対する理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを計ろうとする態度の育成を図る。
科目 英語コミュニケーションII の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
進出単語、熟語、重要表現、関連表現、文法を理解し、本文の内容を正確に読み取り、聞き取る。	本文の内容の要約、本文に関連したテーマについて読んだり、書いたりする。本文の内容に関する自分の意見を表現できる。	外国語の文化背景を積極的に理解し表現しようとする。学習に見通しを持ち学ぼうとする。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話や	話発	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	CROWN Lesson 1-2 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 CROWN Lesson 1-2 【単語】 英単語ターゲット1900　1-400 【速読】JET Reading	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。				48
		NEO現代を読む Unit 1-4 【知識及び技能】難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学べる。	【読解】 NEO現代を読む Unit 1-4 外国人講師とのTT	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。				
		Logical English Reading 【知識及び技能】 論題に対する賛否両論の意見を英語で理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 論題についての自分の意見を論理的に英語で書いたり表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分とは異なる意見も傾聴し、多様なものの見方、考え方を尊重し、協働で建設的に議論を深めることができる。	【Debate】 論題に対する立論を事前に作成して臨む。 【Essay Writing】 Debate後、同じ論題でEssay Writing。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 多様な意見を英語で読んだり聞いたりして理解できる。 【思考・判断・表現】 論題について自分の意見をデータを用いて論理的に表現でき、異なる意見も傾聴できる。思考力、判断力がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 論題に知的好奇心を持ち、能動的に事前準備に取り組み、やりとりを継続でき、議論を建設的に展開しようとする主体性がある。	○	○	○	
	定期考査		中間考査	○	○			○		○	○	○	
	期末考査まで	CROWN Lesson 3-4 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 CROWN Lesson 3-4 【単語】 英単語ターゲット1900　401-800 【速読】JET Reading	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。				
		NEO現代を読む Unit 5-8 【知識及び技能】難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学べる。	【読解】 NEO現代を読む Unit 5-8 外国人講師とのTT	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。				
	定期考査		期末考査	○	○			○		○	○	○	
2学期	中間考査まで	CROWN Lesson 5-6 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 CROWN Lesson 5-6 【単語】 英単語ターゲット1900　801-1200 【速読】JET Reading	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	56
		NEO現代を読む Unit 9-12 【知識及び技能】難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学べる。	【読解】 NEO現代を読む Unit 9-12 外国人講師とのTT	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	
		Logical English Reading 【知識及び技能】 論題に対する賛否両論の意見を英語で理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 論題についての自分の意見を論理的に英語で書いたり表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分とは異なる意見も傾聴し、多様なものの見方、考え方を尊重し、協働で建設的に議論を深めることができる。	【Debate】 論題に対する立論を事前に作成して臨む。 【Essay Writing】 Debate後、同じ論題でEssay Writing。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 多様な意見を英語で読んだり聞いたりして理解できる。 【思考・判断・表現】 論題について自分の意見をデータを用いて論理的に表現でき、異なる意見も傾聴できる。思考力、判断力がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 論題に知的好奇心を持ち、能動的に事前準備に取り組み、やりとりを継続でき、議論を建設的に展開しようとする主体性がある。	○	○	○	
	定期考査		中間考査	○	○			○		○	○	○	
	期末考査まで	CROWN Lesson 7-8 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 CROWN Lesson 7-8 【単語】 英単語ターゲット1900　1201-1600 【速読】共通テストReading	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	
		NEO現代を読む Unit 13-16 【知識及び技能】難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学べる。	【読解】 NEO現代を読む Unit 13-16 外国人講師とのTT	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	
	定期考査		期末考査	○	○			○		○	○	○	
3学期		CROWN Lesson 9-10 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 CROWN Lesson 9-10 【単語】 英単語ターゲット1900　1601-1900 【速読】共通テストReading	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	36
		NEO現代を読む Unit 17-20 【知識及び技能】難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学べる。	【読解】 NEO現代を読む Unit 17-20 外国人講師とのTT	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	
	定期考査		学年末考査	○	○			○		○	○	○	

合計 140

年間授業計画 新様式　　H

高等学校 令和7年度　　教科 外国語　　科目 論理表現Ⅱ

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（ Ace Vision Quest論理表現Ⅱ Write to the point Scramble 新英語の構文150 英熟語Target1000 Focus on Listening(Pre-Advanced) ）
教科　外国語　の目標：
【知識及び技能】　まとまった英文を正確に聞き取り、読み取り、書く能力を培う。
【思考力、判断力、表現力等】　情報や考えなどを的確に理解し、自らの力で考え適切に伝えるコミュニケーション能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　異なる文化や背景を積極的に理解し、他者を尊重しコミュニケーションを取ろうとする態度を育成する。
科目　論理表現Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英文法を体系的にとらえ、英語の基本構造を演習を通して理解する。基本的な文法や英文の構造を理解した上で「読む・聞く・話す・書く」の４技能を高める。	学習した語彙・文法・構文を正しく使って基礎的な英文を書いたり話したりする力を養う。	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図り、学習した語彙や文法を素地として論理の展開や表現を工夫しながら自分の考えを伝えようとする力を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話や	話発	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson1 英語の主語 【知識及び技能】さまざまな主語の形の基本について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】さまざまな主語を正しく使ってテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな主語を適切に使って自他やテーマについて表現する。	Scramble 新構文150 １～６	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	24
		A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson 2 動詞	Write to the point Ｌ１～３ ExerciseＡ 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson 3 英語の時制	Focus on Listening Tr.１～３ 英熟語ターゲット１０００ Ｎｏ．３１９～４２０		○			○	【知識・技能】 単語の意味を理解し書くことができる 英語を正確に聞き取ることができる 英文を連読し内容を素早くつかむことができる 【思考・判断・表現】 単語を英文の中で適切に使用することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査									○	○		
	期末考査まで	A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson４ 助動詞	Scramble 新構文150 ７～１４	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson ５ 情報を加える（１）修飾関係（形容詞・分詞・不定詞）	Write to the point Ｌ４～７ ExerciseＡ Focus on Listening Tr. ４～８ 一人１台端末の活用し、背景知識を深める 英熟語ターゲット１０００ Ｎｏ．４２１～５４８	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
	定期考査		期末考査							○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson ６ 情報を加える（２）関係詞	Scramble 新構文150 １５～２４	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	28
		A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson ７ 情報を加える（３）副詞（不定詞・分詞構文）	Write to the point Ｌ８～１２ ExerciseＡ 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson８ 情報を伝える 話法	Focus on Listening Tr.９～１２ 英熟語ターゲット１０００ Ｎｏ．５４９～６８５		○			○	【知識・技能】 単語の意味を理解し書くことができる 英語を正確に聞き取ることができる 英文を連読し内容を素早くつかむことができる 【思考・判断・表現】 単語を英文の中で適切に使用できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査		中間考査							○	○		
	期末考査まで	A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson ９ 仮定法	Scramble 新構文150 ２５～３４	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson １０ 数量を表す表現	Write to the point Ｌ１３～１８ ExerciseＡ Focus on Listening Tr. １３～１６ 一人１台端末の活用し、背景知識を深める 英熟語ターゲット１０００ Ｎｏ．６８６～８０６	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
	定期考査		期末考査							○	○		
3学期		A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson １１ 比較を表す表現	Scramble 新構文150 ３５～４４	○	○	○	○	○	【知識・技能】 問題を正確に解くことができる 【思考・判断・表現】 テーマに即した自分の考えを英語で表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら計画的に繰り返し学習に取り組むことができる	○	○	○	18
		A 単元 Vision Quest 論理表現Ⅱ Lesson １２ 否定を表す表現	Write to the point Ｌ１～４ Exercise(B) Focus on Listening Tr. １７～２０ 一人１台端末の活用し、背景知識を深める 英熟語ターゲット１０００ Ｎｏ．８０７～１０００	○	○	○	○	○	【知識・技能】 問題を正確に解くことができる 【思考・判断・表現】 テーマに即した自分の考えを英語で表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら計画的に繰り返し学習に取り組むことができる	○	○	○	
	定期考査												
													合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 英語　　科目 英語コミュニケーションIII

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組　　単位数： 4 単位

教科担当者：

使用教科書：（ SKYWARD Clouds / Sky / Cosmos, UNITE STAGE 4, Focus on Listening, 速読英単語必修編・上級編 / 共通テストリーディング・リスニング/ READING HOPE ）

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】 言語や文化に対する理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを計ろうとする態度の育成を図る。

科目 英語コミュニケーションIII の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
進出単語、熟語、重要表現、関連表現、文法を理解し、本文の内容を正確に読み取り、聞き取る。	本文の内容の要約、本文に関連したテーマについて読んだり、書いたりする。本文の内容に関する自分の意見を表現できる。	外国語の文化背景を積極的に理解し表現しようとする。学習に見通しを持ち学ぼうとする。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話や	話発	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	Heartening Lesson 1-3 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 Heartening Lesson 1-3 【単語】 速読英単語 復習 【リスニング】 Focus on Listening 16-20 【速読】英文速読ドリル 16-25	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。				48
		SKYWARD Clouds Unit 6-8 / Concerto Section 9-12 【知識及び技能】難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学べる。	【読解】 SKYWARD Unit 6-8 / Concerto Section 9-12 ・一人１台端末の活用・演習・解説	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。				
		UNITE STAGE 4 Lesson 1-3 【知識及び技能】 本文の英語を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 UNITE STAGE 4 Lesson 1-3 ・一人１台端末の活用、注意深い読解　等		○			○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。				
	定期考査		中間考査	○	○			○		○	○		
	期末考査まで	Heartening Lesson 4-6 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 Heartening Lesson 4-6 【単語】 速読英単語 復習 【リスニング】 共通テストリスニング 1-5 【速読】READING HOPE 1-5	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。				
		SKYWARD Clouds Unit 9-15 / Concerto Section 13-Extra 【知識及び技能】難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学べる。	【読解】 SKYWARD Unit 9-15 / Concerto Section 9-12 ・一人１台端末の活用・演習・解説	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。				
	定期考査		期末考査	○	○			○		○	○		
2学期	中間考査まで	Heartening Lesson 7-9 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 Heartening Lesson 7-9 【単語】 速読英単語 上級編（前半） 【リスニング】 共通テストリスニング 6-15 【速読】READING HOPE 6-最後まで	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	56
		SKYWARD Sky Unit 1-12 【知識及び技能】難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学べる。	【読解】 ・一人１台端末の活用・演習・解説	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	
		UNITE STAGE 4 Lesson 7-9 【知識及び技能】 本文の英語を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整	【読解】 UNITE STAGE 4 Lesson 7-9 ・一人１台端末の活用、注意深い読解　等		○			○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	
	定期考査		中間考査	○	○			○		○	○		
	期末考査まで	Heartening Lesson 7-9 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり、自分の意見を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の学習の見通しを立てたり、振り返ったり、調整しながら学ぼうとする。	【読解】 Heartening Lesson 10 【単語】 速読英単語 上級編（後半） 【リスニング】 共通テストスニング 16-最後まで 【速読】共通テストリーディング　1-最後まで	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	
		SKYWARD Sky Unit 13-最後まで、 Cosmos 1-5 【知識及び技能】難易度が高めの本文を外国人講師によるAll Englishの説明を聞き理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容、表現を英語で書いたり自分の意見を外国人講師に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返り調整しながら学べる。	【読解】 SKYWARD Sky Unit 13-最後まで、Cosmos 1-5 ・一人１台端末の活用・演習・解説	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	
	定期考査		期末考査	○	○			○		○	○		
3学期		A 単元　大学入試問題 大学入試問題演習	問題演習を通じて実践的な読解力を高める。 反復的に学習することにより語彙・文法などの知識の定着を図る。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	36
		A 単元　大学入試問題 大学入試問題演習	問題演習を通じて実践的な読解力を高める。 反復的に学習することにより語彙・文法などの知識の定着を図る。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し自ら学習の仕方を考え工夫する。	○	○	○	
	定期考査		学年末考査	○	○			○		○	○		

合計 140

年間授業計画 新様式 H

高等学校 令和7年度

教科 外国語　　科目 論理表現Ⅲ

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組　　単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： (Genius論理表現Ⅲ Write to the point Scramble 必携英語表現活用ノート 必携英語表現 Clues to reading Eartgrise 総合英語)

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 まとまった英文を正確に聞き取り、読み取り、書く能力を培う。

【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えなどを的確に理解し、自らの力で考え適切に伝えるコミュニケーション能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 異なる文化や背景を積極的に理解し、他者を尊重しコミュニケーションを取ろうとする態度を育成する。

科目 論理表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単語・熟語、重要表現、関連表現、文法を素早く把握し、本文の内容を正確に聞き取りかつ読み取ることができる。	教材の内容・テーマについて自らの力で考え、判断し、自分の意見を発信することができる。	自ら学習計画を立て、積極的に学習に取り組むことができる。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話(やり)	話(発)	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元 Genius 論理表現Ⅲ Lesson 3 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	Genius Lesson 3 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Write to the point 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	Write to the point Lesson 3，4，7，9、１０、１５、１８ 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Scramble / 英語表現活用ノート/ 必携英語表現 【知識及び技能】 単語の意味を理解し書くことができる 英語を正確に読み聞き取ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 単語を文の中で適切に使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自ら積極的に学習することができる	Scramble #1～154 必携英語表現活用ノート３，４，７，９、１０、１５、１８ 必携英語表現集 Lesson １０から17 Clues to Reading Lesson 1～3		○			○	【知識・技能】 単語の意味を理解し書くことができる 英語を正確に聞き取ることができる 英文を連読し内容を素早くつかむことができる 【思考・判断・表現】 単語を英文の中で適切に使用することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	24
	定期考査		中間考査							○	○		
	期末考査まで	A 単元 Genius 論理表現Ⅲ Lesson 4 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	Genius Lesson 4 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Scramble / 英語表現活用ノート/ 必携英語表現 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	Write to the point Lesson 1,2,3,4 Exercise B Genius 総合演習 1，2，3，4 Scramble 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
	定期考査		期末考査							○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元 Genius 論理表現Ⅲ Lesson 5 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	Genius Lesson 4 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Scramble / 英語表現活用ノート/ 必携英語表現 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	Write to the point Lesson 5,6,7,8 Exercise B Genius 総合演習 5，6，7，8 Scramble 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Scramble / 英語表現活用ノート/ 必携英語表現 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	Scramble 必携英語表現活用ノート５６７８ 必携英語表現集 Lesson １８から３０ Clues to Reading Lesson ７～９ Genius総合演習５６７８		○			○	【知識・技能】 単語の意味を理解し書くことができる 英語を正確に聞き取ることができる 英文を連読し内容を素早くつかむことができる 【思考・判断・表現】 単語を英文の中で適切に使用できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	28
	定期考査		中間考査							○	○		
	期末考査まで	A 単元 Genius 論理表現Ⅲ Lesson 5 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	Genius Lesson 5 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Scramble / 英語表現活用ノート/ 必携英語表現 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	Write to the point Lesson ９、１０、１１、１２ Exercise B Genius 総合演習 ９，１０，１１，１２ Scramble 一人１台端末の活用し、背景知識を深める	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
	定期考査		期末考査							○	○		
3学期		A 単元 大学入試問題 大学入試問題演習	問題演習を通じて実践的な読解力を高める。 反復的に学習することにより語彙・文法などの知識の定着を図る。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 問題を正確に解くことができる 【思考・判断・表現】 テーマに即した自分の考えを英語で表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら計画的に繰り返し学習に取り組むことができる	○	○	○	18
		A 単元 大学入試問題 大学入試問題演習	問題演習を通じて実践的な読解力を高める。 反復的に学習することにより語彙・文法などの知識の定着を図る。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 問題を正確に解くことができる 【思考・判断・表現】 テーマに即した自分の考えを英語で表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら計画的に繰り返し学習に取り組むことができる	○	○	○	
	定期考査												

合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 英語科　　科目 英語演習

対象学年組：第　3 学年　A 組～　G 組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（NEO 現代を読む、NEO現代を探る、英語総合問題Seek next 5　）
教科　英語科　の目標：
【知識及び技能】　まとまった英文を正確に聞き取り、読み取り、書く能力を培う。
【思考力、判断力、表現力等】　情報や考えなどを的確に理解し、自らの力で考え適切に伝えるコミュニケーション能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　異なる文化や背景を積極的に理解し、他者を尊重しコミュニケーションを取ろうとする態度を育成する。
科目　英語演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単語・熟語、重要表現、関連表現、文法を素早く把握し、本文の内容を正確に聞き取りかつ読み取ることができる。	教材の内容・テーマについて自らの力で考え、判断し、自分の意見を発信することができる。	自ら学習計画を立て、積極的に学習に取り組むことができる。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話や	話発	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A NEO 現代を読む 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	標準的な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	24
		A NEO 現代を探る 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Seek next 4 【知識及び技能】 文法・語法を正確に理解し使用することができる 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に学習することができる	比較的平易な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。		○			○	【知識・技能】 文法・語法を正しく理解し使うことができる 【思考・判断・表現】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査		中間考査							○	○		
	期末考査まで	A NEO 現代を読む、NEO現代を探る 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	標準的及び難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Seek next 4 【知識及び技能】 文法・語法を正確に理解し使用することができる 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に学習することができる	比較的平易な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。		○			○	【知識・技能】 文法・語法を正しく理解し使うことができる 【思考・判断・表現】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査		期末考査							○	○		
2学期	中間考査まで	A NEO 現代を読む 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	28
		A NEO 現代を探る 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Seek next 4 【知識及び技能】 文法・語法を正確に理解し使用することができる 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に学習することができる	比較的平易な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。		○			○	【知識・技能】 文法・語法を正しく理解し使うことができる 【思考・判断・表現】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査		中間考査							○	○		
	期末考査まで	A NEO 現代を読む、NEO現代を探る 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	標準的及び難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Seek next 4 【知識及び技能】 文法・語法を正確に理解し使用することができる 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に学習することができる	比較的平易な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。		○			○	【知識・技能】 文法・語法を正しく理解し使うことができる 【思考・判断・表現】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査		期末考査							○	○		
3学期		A 単元　大学入試問題 大学入試問題演習	問題演習を通じて実践的な読解力を高める。 反復的に学習することにより語彙・文法などの知識の定着を図る。	○	○			○	【知識・技能】 問題を正確に解くことができる 【思考・判断・表現】 テーマに即した自分の考えを英語で表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら計画的に繰り返し学習に取り組むことができる	○	○	○	18
		A 単元　大学入試問題 大学入試問題演習	問題演習を通じて実践的な読解力を高める。 反復的に学習することにより語彙・文法などの知識の定着を図る。	○	○			○	【知識・技能】 問題を正確に解くことができる 【思考・判断・表現】 テーマに即した自分の考えを英語で表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら計画的に繰り返し学習に取り組むことができる	○	○	○	
	定期考査												
												合計	70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 英語科　　科目 英語演習

対象学年組：第　3 学年　A　組～　G　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（NEO 現代を読む、NEO現代を探る、英語総合問題Seek next 5　）
教科　英語科　の目標：
【知識及び技能】　まとまった英文を正確に聞き取り、読み取り、書く能力を培う。
【思考力、判断力、表現力等】　情報や考えなどを的確に理解し、自らの力で考え適切に伝えるコミュニケーション能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　異なる文化や背景を積極的に理解し、他者を尊重しコミュニケーションを取ろうとする態度を育成する。
科目　英語演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単語・熟語、重要表現、関連表現、文法を素早く把握し、本文の内容を正確に聞き取りかつ読み取ることができる。	教材の内容・テーマについて自らの力で考え、判断し、自分の意見を発信することができる。	自ら学習計画を立て、積極的に学習に取り組むことができる。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話や	話発	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A NEO 現代を読む 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	標準的な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	24
		A NEO 現代を探る 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Seek next 4 【知識及び技能】 文法・語法を正確に理解し使用することができる 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に学習することができる	比較的平易な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。		○			○	【知識・技能】 文法・語法を正しく理解し使うことができる 【思考・判断・表現】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査		中間考査							○	○		
	期末考査まで	A NEO 現代を読む、NEO現代を探る 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	標準的及び難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Seek next 4 【知識及び技能】 文法・語法を正確に理解し使用することができる 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に学習することができる	比較的平易な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。		○			○	【知識・技能】 文法・語法を正しく理解し使うことができる 【思考・判断・表現】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査		期末考査							○	○		
2学期	中間考査まで	A NEO 現代を読む 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	28
		A NEO 現代を探る 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Seek next 4 【知識及び技能】 文法・語法を正確に理解し使用することができる 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に学習することができる	比較的平易な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。		○			○	【知識・技能】 文法・語法を正しく理解し使うことができる 【思考・判断・表現】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査		中間考査							○	○		
	期末考査まで	A NEO 現代を読む、NEO現代を探る 【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして内容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 テーマについて背景を理解し、共感することができる	標準的及び難易度の高い英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容を正確に理解している 【思考・判断・表現】 テーマを掘り下げて考え、内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら能動的に学習し、課題に取り組むことができる	○	○	○	
		A Seek next 4 【知識及び技能】 文法・語法を正確に理解し使用することができる 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容や自分の意見を英語で表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自ら主体的に学習することができる	比較的平易な英文の大意を素早くつかみ、問題を早く正確に解くことができる。 文法・構文の正確な知識、表現力を向上する。 語彙力を強化する。		○			○	【知識・技能】 文法・語法を正しく理解し使うことができる 【思考・判断・表現】 内容や自分の意見を英語で表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら目標を定め、達成するまで繰り返し学習することができる	○	○	○	
	定期考査		期末考査							○	○		
3学期		A 単元　大学入試問題 大学入試問題演習	問題演習を通じて実践的な読解力を高める。 反復的に学習することにより語彙・文法などの知識の定着を図る。	○	○			○	【知識・技能】 問題を正確に解くことができる 【思考・判断・表現】 テーマに即した自分の考えを英語で表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら計画的に繰り返し学習に取り組むことができる	○	○	○	18
		A 単元　大学入試問題 大学入試問題演習	問題演習を通じて実践的な読解力を高める。 反復的に学習することにより語彙・文法などの知識の定着を図る。	○	○			○	【知識・技能】 問題を正確に解くことができる 【思考・判断・表現】 テーマに即した自分の考えを英語で表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら計画的に繰り返し学習に取り組むことができる	○	○	○	
	定期考査												
												合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度

教科　外国語科　　科目　ドイツ語

対象学年組：第　　2 学年　　A　組～　　F　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）　）
教科　外国語科　の目標：
【知識及び技能】　外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能
【思考力、判断力、表現力等】　場面や状況などに応じて様々な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり表現した
【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自律的にコミュニケーションをとろうとする
科目　ドイツ語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ドイツ語の文法を体系的にとらえ、基本構造を演習を通して理解する。基本的な文法や文の構造を理解した上で「読む・聞く・話す・書く」の４技能を 高める。	学習した語彙・文法・構文を正しく使って基礎的なドイツ語の文を書いたり話したりする力を養う。	ドイツ語を通じて積極的にコミュニケーションを図り、学習した語彙や文法を素地として展開や表現を工夫しながら自分の考えを伝えようとする力を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話や	話発	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	アルファベート、つづりと発音 Lektion0 ドイツ語のあいさつ、数詞	・指導事項 　正しいドイツ語のアルファベートの発音。ドイツ語のつづりと発音の関係。ドイツ語の発音の規則に従った、正しい発音での挨拶や数詞。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○		○	○		【知識・技能】 アルファベートの発音を身につけ、ドイツ語のつづりと発音の関係を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 発音の規則に従い、正しい発音で挨拶や数詞を読むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　さまざまなあいさつを積極的に正しい発音で使うことができる。	○	○	○	
		Lektion1 人称代名詞、動詞の現在人称変化、sein動詞	・指導事項 人称に合わせて動詞の変化。１、２、３人称の使い分け。パートナーと簡単な質疑応答。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 人称に合わせて動詞を正しい形に変化できる。 【思考力、判断力、表現力等】 パートナーと簡単な質疑応答を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人称を正しく用いて、積極的にさまざまな質疑応答を試みることができる。	○	○	○	
		Lektion2 haben動詞、名詞の性、決定疑問文	・指導事項 動詞habenを用いての様々な表現。名詞の性。ja/neinを用いた質疑応答。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 動詞habenを用いて、様々な表現ができる。名詞の性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ja/neinを用いた簡単な質疑応答をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な質疑応答を積極的に試みることができる。	○	○	○	24
	課題や授業中の質疑応答を中間考査に代替。									○	○		
	期末考査まで	Lektion3 定冠詞、名詞の格変化、名詞の複数形	・指導事項 定冠詞の格変化。定冠詞を性と格に合わせての変化。名詞の複数形。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 定冠詞の格変化を理解する。定冠詞を性と格に合わせて変化できる。名詞の複数形の各パターンを理解する。 【思考、判断、表現】 定冠詞を正しく格変化させ、簡単な文を作ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 定冠詞のを正しく変化させ、様々な質疑応答を積極的に試みることができる	○	○	○	
		Lektion4 不定冠詞、否定冠詞	・指導事項 不定冠詞、否定冠詞の名詞の性と格に合わせた変化。１格と４格の違いと使い分け。自分の持ち物についての説明。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 不定冠詞、否定冠詞を名詞の性と格に合わせて変化できる。 【思考、判断、表現】 １格と４格の違いについて理解し、使い分けることができる。自分の持ち物について説明ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不定冠詞、否定冠詞を使い会話を試みることができる。	○	○	○	
	授業中のまとめテストにより期末考査に代替。		まとめテスト						口頭と筆記により、これまで学習した事項が定着しているか確認する。	○	○		
2学期	中間考査まで	Lektion4 所有冠詞	・指導事項 所有冠詞を名詞の性と格に合わせての変化。自分の家族についての説明。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 所有冠詞を名詞の性と格に合わせて変化できる。 【思考、判断、表現】 自分の家族について説明ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 　　所有冠詞を名詞の性と格に合わせて変化させて 自分や他人の家族について説明を試みることができる、	○	○	○	
		Lektion5 現在人称変化の不規則な動詞（１）、名詞の３格、人を表す疑問代名詞	・指導事項 不規則変化動詞の現在人称変化。名詞の３格を用いて「～に…する」という表現。人を表す疑問代名詞の意味に合わせての変化。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 不規則変化動詞を正しく現在人称変化できる。 【思考、判断、表現】 名詞の３格を用いて「～に…する」という表現ができる。人を表す疑問代名詞を意味に合わせて正しく変化できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不規則変化動詞や名詞を正しく用いて様々な会話を用いることができる。	○	○	○	
		Lektion6 現在人称変化の不規則な動詞（２）、人称代名詞、非人称のes	・指導事項 不規則変化動詞の現在人称変化。人称代名詞の格変化。esを用いて天候や、体調についての表現。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 不規則変化動詞を正しく現在人称変化できる。人称代名詞の格変化を理解し、正しく変化させて使うことができる。 【思考、判断、表現】 esを用いて天候を述べたり、体調を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不規則動詞や人称代名詞を正しく用いて様々な会話表現作成を試みることができる。	○	○	○	28
	課題や授業中の質疑応答を中間考査に代替。									○	○		
	期末考査まで	Lektion7 前置詞、前置詞と定冠詞の融合形	・指導事項 各前置詞の意味。前置詞の格支配。　３・４核支配の前置詞。前置詞を使って、位置や方向を伝える表現。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 前置詞の意味を理解し、正しく使うことができる。前置詞の格支配を理解する。３・４核支配の前置詞を正しく使うことができる。 【思考、判断、表現】 前置詞を使って、位置や方向を伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 前置詞を正しく用いて様々な会話表現作成を試みることができる。	○	○	○	
		Lektion8　話法の助動詞　話法の助動詞の現在人称変化	・指導事項 話法の助動詞を用いて許可、禁止、要求、可能を表す表現。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 話法の助動詞を用いて許可、禁止、要求、可能を表す表現ができる。 【思考、判断、表現】 話法の助動詞を用いて簡単な文をつくることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 話法の助動詞を用いて積極的に会話を試みることができる。	○	○	○	
	授業中のまとめテストにより期末考査に代替。		まとめテスト						口頭と筆記により、これまで学習した事項が定着しているか確認する。	○	○		
3学期		Lektion9　分離動詞	・指導事項 分離動詞の理解。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 分離動詞を理解し、正しく使えるようにする。 【思考、判断、表現】 分離動詞を理解し、正しく使って簡単な文を作ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 分離動詞を理解し、正しく使って簡単な会話を試みることができる。	○	○	○	
		Lektion9　命令形、時刻表現 　月日の表現	・指導事項 du,ihr,Sieに対する命令形。12時間制、24時間制の時刻表現。スケジュールについての会話。 ・教材 『ドイツ語インフォメーションneu²』（朝日出版社）、タブレット、プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 du,ihr,Sieに対する命令形を理解できる。12/24時間制の時刻表現を正しく使い、スケジュールを伝えることができる。 【思考、判断、表現】 命令や時刻表現を用いた簡単な文を作ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 命令や時刻表現を含む会話を試みることができる。	○	○	○	18
	授業中のまとめテストにより期末考査に代替。		まとめテスト						口頭と筆記により、これまで学習した事項が定着しているか確認する。	○	○		
													合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 外国語科　　科目 フランス語

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組　　単位数：　2　単位
教科担当者：
使用教科書：（「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社）　）
教科　外国語科　の目標：
【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能
場面や状況などに応じて様々な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり表現した
外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、協働的にコミュニケーションをとろうとする。

科目　フランス語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
フランス語の文法を体系的にとらえ、基本構造を演習を通して理解する。 基本的な文法や文の構造を理解した上で「読む・聞く・話す・書く」の４技能を 高める。	学習した語彙・文法・構文を正しく使ってフランス語の基礎的な文章を書いたり話したりする力を養う。	フランス語を通じて積極的にコミュニケーションを図り、学習した語彙や文法を素地として展開や表現を工夫しながら自分の考えを伝えようとする力を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話(やり)	話(発)	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	オリエンテーション アルファベ 発音のルール	・指導事項 フランス語の文字・発音に慣れる。 複母音字や複子音字に注意できるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 アルファベの発音を身につけ、フランス語のつづりと発音の関係を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 複母音字や複子音字に注意できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまなあいさつを積極的に正しい発音で使うことができる。	○	○	○	
		主語人称代名詞 être	・指導事項 フランス語の文の語順に慣れる。 êtreを使った文を理解し、運用できるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 フランス語の文の語順をしっかりと理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 êtreを使った文を理解し、運用できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 人称を正しく用いて、積極的にさまざまな質疑応答を試みることができる。	○	○	○	
		男性形と女性形 否定文・疑問文	・指導事項 名詞の男性形と女性形を理解し、運用できるようにする。 否定文の作り方を理解し、運用できるようにする。 疑問文の作り方の基本を理解し、運用できるようにする。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 名詞の男性形と女性形を使い分けられる。 【思考力、判断力、表現力等】 否定文の作り方を理解し、実際に使える。 【主体的に学習に取り組む態度】 名詞の性及び否定文を意識した文章について、理解しようとする。	○	○	○	24
	課題や授業中の質疑応答に中間考査に代替。									○	○		
	期末考査まで	第一群規則活用動詞 名詞	・指導事項 第一群規則活用動詞を活用できるようにする。 さまざまな第一群規則動詞を使った文を理解し、運用できるようにする。名詞の性数を理解する。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 第一群規則活用動詞を活用できるようにする。 【思考、判断、表現】 さまざまな第一群規則動詞を使った文を理解し、運用できるようにする。名詞の性数を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一群規則活用動詞を活用し、運用する努力が見られる。	○	○	○	
		定冠詞	・指導事項 定冠詞の形を理解し、名詞に合わせて使い分けられるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 定冠詞の形を理解できる。 【思考、判断、表現】 定冠詞の形を理解し、名詞に合わせて使い分けられるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 定冠詞の形を理解し、積極的に書いたり発話したりしようとする。	○	○	○	
	授業中のまとめテストにより期末考査に代替。		まとめテスト						口頭と筆記により、これまで学習した事項が定着しているか確認する。	○	○		
2学期	中間考査まで	「好き」「きらい」のさまざまな表現	・指導事項 動詞aimer, préférerや副詞表現を使って、自分の好みを伝え、相手の好みを尋ねられるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 動詞aimer, préférerや副詞表現を覚えている。 【思考、判断、表現】 動詞aimer, préférerや副詞表現を使って自分の好みを伝えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 動詞aimer, préférerや副詞表現を使って、自己表現をしようとしている。	○	○	○	
		疑問詞疑問文	・指導事項 疑問詞疑問文の語順を理解し、運用できるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 疑問詞疑問文の語順を理解できる。 【思考、判断、表現】 疑問詞疑問文の語順を理解し、実際に運用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 疑問詞疑問文の語順を理解し、コミュニケーションを図ろうとする。	○	○	○	
		冠詞の縮約 不定冠詞	・指導事項 冠詞の縮約を理解し、運用できるようにする。不定冠詞の形を理解し、定冠詞と使い分けられるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 冠詞の縮約及び不定冠詞の形を理解している。 【思考、判断、表現】 定冠詞と不定冠詞の違いを理解し、使い分けられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 定冠詞と不定冠詞の違いに気を付けながら文章を考えている。	○	○	○	28
	課題や授業中の質疑応答に中間考査に代替。									○	○		
	期末考査まで	avoir 形容詞 否定のde	・指導事項 avoirを使った文を理解し、運用できるようにする。形容詞の性数一致ができるようにする。否定のdeを理解し、運用できるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 avoirを使った文を理解し、運用できるようにする。 【思考、判断、表現】 否定のdeを理解し、運用できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】avoir及び否定のdeを用いた文章を、積極的に使おうとする。	○	○	○	
		所有形容詞 s'appeler faire	・指導事項 所有形容詞の形を覚え、運用できるようにする。代名動詞を理解し、活用できるようにし、文をつくることができるようにする。 faireを使った文を理解し、運用できるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 所有形容詞の形を覚え、運用できるようにする。 【思考、判断、表現】 代名動詞を理解し、活用できるようにし、文をつくることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 faireを使った文を理解し、運用できるようにする。	○	○	○	
	授業中のまとめテストにより期末考査に代替。		まとめテスト						口頭と筆記により、これまで学習した事項が定着しているか確認する。	○	○		
3学期		sortir dormir voir lire prendre manger boire	・指導事項 不規則活用動詞の活用をそれぞれ覚え、運用できるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 不規則動詞の活用が理解できる。 【思考、判断、表現】 不規則動詞を実際に運用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に不規則動詞を用いた文章を作ろうとする意欲が見られる。	○	○	○	
		部分冠詞	・指導事項 部分冠詞の形を理解し、他の冠詞と使い分けられるようにする。 ・教材 「ぜんぶ話して！ Dis-moi tout !」（白水社） 音声プレーヤー スピーカー 映像機器 プロジェクター	○	○	○	○	○	【知識・技能】 部分冠詞の形を理解している。 【思考、判断、表現】 部分冠詞と他の冠詞を使い分けられるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な冠詞を用いて作文しようとしている。	○	○	○	18
	授業中のまとめテストにより期末考査に代替。		まとめテスト						口頭と筆記により、これまで学習した事項が定着しているか確認する。	○	○		
													合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 情報科 科目 情報Ⅰ

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組 単位数： 2 単位
教科担当者：
使用教科書： （ 情報Ⅰ Step Forward!（東京書籍） ）
教科 情報科 の目標：
【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題の発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての
【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を育成する。
科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を育成する。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元 情報とメディアの特性 【知識及び技能】 情報とそのメディアの特性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じたメディアの選択を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用するとともに、情報に主体的に参画する態度を養う	・指導事項 情報とメディアの特性 ・教材 教科書、MicrosoftForms、Teams ・一人１台端末の活用 等 クラス内で意見共有を行う。	【知識・技能】 情報とメディアの特性について理解しているか 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じたメディアを考えて、自分の情報を適切な表現方法で表現しているか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報とメディアの特性が果たす意義や留意点に気づき、情報と情報技術を適切に活用しようとしている。	○	○		24
		A 単元 問題解決 【知識及び技能】 情報と情報技術を活用した問題解決の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて情報と情報技術を適切に活用して問題を発見・解決する方法について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。	・指導事項 問題解決の手法 ・教材 教科書、MicrosoftWhitboard ・一人１台端末の活用 等 端末を活用し、ブレーンストーミングの実践	【知識・技能】 情報と情報技術を活用した問題解決の技能を身につけているか。問題の解決の流れについて理解しているか。 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じて情報と情報技術を適切に活用して問題を発見・解決するためのアイデアについて考えることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	○	○	○	
		A 単元 著作権・個人情報と情報モラル・情報セキュ 【知識及び技能】 著作権・個人情報についてとその保護について理解している。また、悪用した犯罪行為について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規やマナー、個人の責任について考える。	・指導事項 知的財産権・個人情報の取り扱い・情報モラル・情報セキュリティ ・教材 教科書・情報最新トピック集・パーフェクトガイド情報・ポイント整理情報モラル ・一人１台端末の活用 等 著作権に関するディベートを行い、調べ学習・振り返り等を行う	【知識・技能】 著作権・個人情報についてとその保護について理解している。また、悪用した犯罪行為について理解している。 【思考・判断・表現】 情報に関する法規やマナー、個人の責任について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○		
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	A 単元 メディアと情報のデジタル化 【知識及び技能】 コミュニケーションの手段の発達について理解する。アナログとデジタルの違いについて理解する。 可逆圧縮と非可逆圧縮について理解する。データ量の計算について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点について考える。デジタル化や圧縮のしくみを説明する。メディアが発達したことにより，便利になったことと課題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 メディアが発達したことにより，生じた課題について主体的に考える。	・指導事項 メディアの歴史と発展・数値の表現・文字、画像、動画のデジタル化・ネットコミュニケーションの取り方 ・教材 教科書、Life is Tech ・一人１台端末の活用 等 小テストのForms回収	【知識・技能】 コミュニケーションの手段の発達について理解している。アナログとデジタルの違いについて理解している。 可逆圧縮と非可逆圧縮について理解している。データ量の計算について理解している。 【思考・判断・表現】 アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点について考えることができる。デジタル化や圧縮のしくみを説明できる。メディアが発達したことにより，便利になったことと課題について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 メディアが発達したことにより，生じた課題について主体的に考えようとしている。	○	○		
		A 単元 情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインの意味について理解する。情報デザインの作業手順について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アートと情報デザインの違いを考える。情報デザインの考えをもとに伝えたい情報を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題を自分事として捉え，積極的に取り組む。	・指導事項 情報デザイン・コンテンツ設計・色の表現 ・教材 教科書、Life is Tech、 ・一人１台端末の活用 等 情報デザイン（ピクトグラム等）の作成、Life is Tech	【知識・技能】 情報デザインの意味について理解している。情報デザインの作業手順について理解している。 【思考・判断・表現】 アートと情報デザインの違いを考えることができる。情報デザインの考えをもとに伝えたい情報を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題を自分事として捉え，積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元 コンピュータの構成と処理の仕組み 【知識及び技能】 CPUのしくみとその役割について理解する。ソフトウェアの種類と，OSの役割について理解する。各論理回路のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 論理回路を組み合わせたものから自分で真理値表を作成できる。より良い性能の製品を選ぶ技能が身につく。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータのスペックを調べる課題に積極的に取り組んでいる。スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動に積極的に取り組んでいる。	・指導事項 コンピュータの構成、論理回路、処理の仕組み ・教材 教科書、教材ビデオ ・一人１台端末の活用 等 officeソフト	【知識・技能】 CPUのしくみとその役割について理解している。ソフトウェアの種類と，OSの役割について理解している。各論理回路のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 論理回路を組み合わせたものから自分で真理値表を作成できる。より良い性能の製品を選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータのスペックを調べる課題に積極的に取り組もうとしている。スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	28
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	A 単元 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムの意味やプログラムとの関係を理解する。アルゴリズムの基本構造について理解する。プログラムの構成要素である変数，データ型，演算の意味や種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 基本構造を組み合わせて，アルゴリズムを構造化する。演算例をもとにして，プログラミングの構成要素について考え，正しい結果を出力する。 【学びに向かう力、人間性等】 処理対象を自分で考え，アルゴリズムを構造化，可視化しようとする。	・指導事項 アルゴリズム・プログラムの仕組み、プログラムの応用 ・教材 教科書、Life is Tech ・一人１台端末の活用 等 コーディング作業	【知識・技能】 アルゴリズムの意味やプログラムとの関係を理解している。アルゴリズムの基本構造について理解している。プログラムの構成要素である変数，データ型，演算の意味や種類を理解している。 【思考・判断・表現】 基本構造を組み合わせて，アルゴリズムを構造化することができる。演算例をもとにして，プログラミングの構成要素について考え，正しい結果を出力することができる。	○	○	○	
		A 単元 モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】 モデル化とシミュレーションの手順について理解する。モデルを使ってシミュレーションを行う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じて，適切なモデルを選択し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な問題を解決するためのモデル化に，積極的に取り組む。	・指導事項 問題のモデル化、モデル化の活用、シミュレーションとその活用 ・教材 教科書、Excel、Life is Tech ・一人１台端末の活用 等 Excel実習、振り返り	【知識・技能】 モデル化とシミュレーションの手順について理解している。モデルを使ってシミュレーションを行う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 場面に応じて，適切なモデルを選択し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な問題を解決するためのモデル化に，積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		A 単元 インターネットと情報システム 【知識及び技能】 機器同士を情報通信ネットワークで接続するしくみを理解する。TCPとUDP，HTTPの役割について理解する。ドメイン名とDNS，電子メールのプロトコルについて理解する。認証技術，OSやアプリのアップデートの必要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公衆無線LANやWebブラウザの危険を予測でき，安全・安心に利用する，場合によっては利用しない選択をする。 【学びに向かう力、人間性等】 情報セキュリティの科学的な理解に努め，情報通信ネットワークを適切に活用しようとする。	・指導事項 情報通信ネットワーク、インターネットの利用、情報システム ・教材 教科書、教材ビデオ ・一人１台端末の活用 等 Classi Note	【知識・技能】 機器同士を情報通信ネットワークで接続するしくみを理解している。 TCPとUDP，HTTPの役割について理解している。ドメイン名とDNS，電子メールのプロトコルについて理解している。認証技術，OSやアプリのアップデートの必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 公衆無線LANやWebブラウザの危険を予測でき，安全・安心に利用する，場合によっては利用しない選択ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティの科学的な理解に努め，情報通信ネットワークを適切に活用しようとしている。	○	○	○	18
		A 単元 データの活用と分析 【知識及び技能】 データベースについて理解する。情報システムとデータベースの関係について理解する。データ分析の手順について理解する。データの収集についてさまざまな方法があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データ収集方法によるメリット，デメリットを判断し，適切な方法で実習のためのデータ収集を行う。表計算ソフトウェアを利用して数値データの分析・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 データの収集や整理に粘り強く取り組み，試行錯誤を通じて改善しようとする。	・指導事項 データの収集と管理、データの分析 ・教材 教科書、ｓAccess ・一人１台端末の活用 等 調べ学習、振り返り	【知識・技能】 データベースについて理解している。情報システムとデータベースの関係について理解している。データ分析の手順について理解している。データの収集についてさまざまな方法があることを理解している。 【思考・判断・表現】 データ収集方法によるメリット，デメリットを判断し，適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。表計算ソフトウェアを利用して数値データの分析・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データの収集や整理に粘り強く取り組み，試行錯誤を通じて改善しようとしている。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
								合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 **情報科** 科目 **情報演習**

対象学年組：第 3 学年 自由選択 単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： （ 情報Ⅰ Step Forward!（東京書籍） ）

教科 情報科 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題の発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を育成する。

科目 情報演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術及びこれらを活用して問題の発見・解決する方法と情報社会と人との関わりについての理解を深める。 共通テスト「情報Ⅰ」の範囲を、演習を通して問題解答の技術を身につけさせ，学習した内容を復習定着させる。	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育成する。	情報社会に主体的に参画する態度を育成する。粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整する。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する現状に主体的に関わる態度を養う。	・問題解決の手法 ・知的財産権	【知識・技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着けている。 【思考・判断・表現】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本単元に関する現状に主体的に関わろうとしている。 粘り強く学習に取り組み、自己の学びを調整している。	○	○	○	24
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	A 単元 情報デザインとメディア 【知識及び技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する現状に主体的に関わる態度を養う。	・情報メディアの分類 ・情報デザイン	【知識・技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着けている。 【思考・判断・表現】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本単元に関する現状に主体的に関わろうとしている。 粘り強く学習に取り組み、自己の学びを調整している。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	A 単元 コンピュータとデジタル化 【知識及び技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・コンピュータの構成 ・デジタル化と演算 ・メディアのデジタル化	【知識・技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着けている。 【思考・判断・表現】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本単元に関する現状に主体的に関わろうとしている。 粘り強く学習に取り組み、自己の学びを調整している。	○	○	○	28
	定期考査				○	○		
	期末考査まで	A 単元 プログラミング 【知識及び技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する現状に主体的に関わる態度を養う。	・アルゴリズム ・プログラミング	【知識・技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着けている。 【思考・判断・表現】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本単元に関する現状に主体的に関わろうとしている。 粘り強く学習に取り組み、自己の学びを調整している。	○	○		
		A 単元 情報通信ネットワーク・データ活用 【知識及び技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する現状に主体的に関わる態度を養う。	・情報通信ネットワーク ・データの収集と分析 ・シミュレーション	【知識・技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着けている。 【思考・判断・表現】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本単元に関する現状に主体的に関わろうとしている。 粘り強く学習に取り組み、自己の学びを調整している。	○	○	○	
	定期考査				○	○		
3学期		A 単元 総合問題演習 【知識及び技能】 これまでの学習に関して俯瞰的に理解するとともに、それに関する技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】 問題文を読解し、発展的内容について考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題に粘り強く取り組み、自分の結果を振り返ることで自己調整を図る。	・総合問題演習 ・入試問題演習	【知識・技能】 本単元で扱う内容を理解し、それに関する技能を身に着けている。 【思考・判断・表現】 本単元で取り扱う内容に関する課題や現状について思考し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本単元に関する現状に主体的に関わろうとしている。 粘り強く学習に取り組み、自己の学びを調整している。	○	○	○	18
	定期考査				○	○		
								合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和6年度

教科　家庭科　科目　家庭基礎

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組　　単位数：　2　単位

教科担当者：

使用教科書：（　家基705家庭基礎　気づく力 築く未来　（実教出版）　）

教科　家庭科　の目標：

【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	生涯の生活設計（導入） 【知識及び技能】多種な生き方があると理解し、情報収集・整理と生活課題に対応した意思決定の重要性を深める。【思考力、判断力、表現力等】ライフスタイルと将来の家庭および職業生活について考察し、生活設計を工夫する。【学びに向かう力、人間性等】課題解決への主体的な取組み・振り返り・改善を通して生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：人の一生を生涯発達の視点で捉え、各ライフステージの特徴などと関連を図るために科目学習の導入として扱う。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	24
		青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】青年期の課題、家族・家庭の機能と家族関係、社会環境の変化や関係法規への理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】意思決定に基づく責任ある行動、家庭の一員として役割を果たす重要性を考察する。【学びに向かう力、人間性等】課題解決に主体的に取組み、振り返って改善することにより、生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：家庭の機能と特徴を歴史・文化など社会変化と関連させて理解する。自立には生活課題に対応した適切な意思決定と責任ある行動が重要と認識し、男女平等と相互協力をもって家庭を築く意義を考察する。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	
		生活における経済の計画 【知識及び技能】家計の構造や生活と経済・社会との関わり、家計管理を理解する。【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通した経済の管理・計画の重要性についてライフステージや社会保障制度等と関連付けて考察する。【学びに向かう力、人間性等】課題解決に主体的に取組み、振り返って改善することにより、生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：生活基盤としての家計管理の重要性、家計と経済との関わりについて理解し、収支バランスの重要性とリスク管理の必要性を踏まえた将来の不測事態に備えた経済計画を考察する。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	
	定期考査							
	期末考査まで	衣生活と健康 【知識及び技能】材料・構成及び衛生の情報を理解し、TPOに応じた着装や健康で安全な管理に必要な技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】被服性能の考察、安全かつ健康・環境に配慮した管理、目的に応じた着装を工夫する。【学びに向かう力、人間性等】課題解決に主体的に取組み、振り返って改善することにより、生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解するとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理の必要性を踏まえた上で、被服材料、被服構成及び被服衛生や被服の計画・管理についても考察できるようにする。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	
	定期考査				○	○		
2学期	中間考査まで	消費行動と意思決定 【知識及び技能】消費生活の現状と課題、消費行動の意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解する。生活情報を適切に収集・整理する。【思考力、判断力、表現力等】生活情報の活用、適切な意思決定に基づく行動によって自立した責任ある消費が可能となると考察する。【学びに向かう力、人間性等】課題解決に主体的に取組み、振り返って改善することにより、生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：近年の消費者問題や消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者として適切な意思決定に基づいて行動できるようにする。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	28
		共生社会と福祉 【知識及び技能】生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察する。【学びに向かう力、人間性等】課題解決に主体的に取組み、振り返って改善することにより、生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：人の一生を見通して生活課題を主体的に解決していくために必要な福祉・社会的支援を理解する。共に支え合う社会の一員として主体的に行動する意思決定能力を身に付け、家庭や地域社会の生活を創造の課題を考察する。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	
		高齢期の生活と福祉 【知識及び技能】高齢期の心身の特徴と尊厳・取り巻く社会環境と自立生活支援や介護について理解し、生活支援の基礎的技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域社会の果たす役割の重要性を考察する。【学びに向かう力、人間性等】課題解決に主体的に取組み、振り返って改善することにより、生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：高齢者の心身の特徴、社会環境、高齢者と関わる際に重要な尊厳や自立の視点を理解し、基礎的技能を身に付けるとともに高齢者を支えるための家族・地域社会の重要性を考察できるようにする。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	
	定期考査							
	期末考査まで	食生活と健康 【知識及び技能】ライフステージに応じた栄養・食品特性・味・調理性・食品衛生・健康と環境への配慮を理解し、その計画・管理に必要な技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】食の安全や調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康と環境に配慮した食生活を考察する【学びに向かう力、人間性等】課題解決に主体的に取組み、振り返って改善することにより、生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：栄養と食事、食品と調理など食生活に関わる基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、食生活の情報を適切に判断し生涯を通して健康と環境に配慮した安全な食生活を営めるようにする。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	
		A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		
3学期		子供の生活と保育 【知識及び技能】乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、社会環境と子育て支援について理解する。【思考力、判断力、表現力等】子供を生み育てる意義を考え、子どもの健全な発達には親や家族、地域社会の重要性を考察する。【学びに向かう力、人間性等】課題解決に主体的に取組み、振り返って改善することにより、生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：乳幼児期の心身発達とそれを支える生活、環境、支援などについて基礎的な知識や技能を身に付け、子どもを生み育てることの意義、親や家族・地域社会が果たす重要な役割を考察する。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	18
		住生活と住環境 【知識及び技能】ライフステージに応じた住生活の特徴、安全や環境に配慮した住居の機能を理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫する。【学びに向かう力、人間性等】課題解決に主体的に取組み、振り返って改善することにより、生活の充実向上を図る実践的な態度を養う。	・指導事項：安全・快適・健康な生活を営む場として、防火・防犯・耐震等の安全性、日照・採光・換気・遮音・温熱・空気環境と高齢者・障害者等への配慮など、住生活に関わる知識や技能を身に付け、生涯を通して安全と環境に配慮した生活を考察する。 ・教材：教科書、資料集、学習ノート、配布教材・プリント ・一人１台端末の活用　等	指導目標が達成されているかを各観点から判断する。 【知識・技能】考査など 【思考・判断・表現】提出物など 【主体的に学習に取り組む態度】授業内の取り組み、提出物の状況など		○	○	
	定期考査				○	○		
							合計	70

年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度　　教科　総合的な探究の時間　科目　総合的な探究の時間

対象学年組：第　　1 学年　　A　組～　　G　組　　単位数：　1　単位
教科担当者：
使用教科書：　（　なし　　）
教科　　総合的な探究の時間　　の目標：
【知識及び技能】生徒各自が選んだテーマに関わる学習活動の過程を通して、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、テーマの探究に必要な知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】生徒各自が選んだテーマと自らとの関わりの中で①「問い」を見出し、その解決に向けて仮設を立て、②収集した情報を③多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、④筋道立ててまとめ、わかりやすく説明する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】生徒各自が選択設定した探究課題に関する学習活動に主体的・協働的に取り組み、未知の状況においても活用できるように視野を拡げ、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える力を身につける。
科目　　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒各自が選んだテーマに関わる学習活動の過程を通して、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、テーマの探究に必要な知識・技能を身につける。	生徒各自が選んだテーマと自らとの関わりの中で①「問い」を見出し、その解決に向けて仮設を立て、②収集した情報を③多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、④筋道立ててまとめ、わかりやすく説明する力を身につける。	生徒各自が選択設定した探究課題に関する学習活動に主体的・協働的に取り組み、未知の状況においても活用できるように視野を拡げ、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える力を身につける。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元　全体ガイダンス　学習の動機付け 【知識及び技能】 探究の意義、学習内容を把握し、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、テーマの探究に必要な知識・技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたテーマと自らとの関わりの中で、多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、筋道立ててまとめ、わかりやすく説明する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 授業を通じて、探究課題に関する学習活動に主体的・協働的に取り組み、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える姿勢を身に付ける。	・指導事項 探究活動の意義、目的、年間スケジュール ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、探究活動に必要な知識・技能を理解している。 【思考・判断・表現】 テーマと自らとの関わりの中で、多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、筋道立ててまとめ、わかりやすく説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の心の変化を自覚し、それを振り返ることができる。	○	○	○	12
		A 単元　新書シャワー 【思考力、判断力、表現力等】 多様な学問分野から、主観的に自分の興味のある分野を探そうとし、本のキーワードを簡潔にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 新書を読む前から読んだ後にわたる自身の変化に自覚的になり、それを振り返ることができる。	・指導事項 新書に触れることを通して探究活動に必要な興味・関心を広げ、自分の興味のある分野を自覚するきっかけとする。 ・教材 ワークシート、新書 ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【思考・判断・表現】 主観的に自分の興味のある分野を探そうとし、本のキーワードを簡潔にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の変化に自覚的になり、それを振り返ることができる。	○	○	○	
		A 単元　探究のサイクルを学ぶ 【知識及び技能】 インターネットや書籍を参照して、「問い」に対する情報を整理分析する。プレゼンテーション資料を作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表をする。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付ける。	・指導事項 探究サイクルのイメージをつかみ、今後の探究活動に対する見通しをつける。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 プレゼンテーション資料作成、発表、学習の振り返りを提出	【知識及び技能】 インターネットや書籍を参照して、「問い」に対する情報を整理分析できる。プレゼンテーション資料を作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表をする。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付け、それを振り返ることができる。	○	○	○	
	定期考査 実施しない							
	期末考査まで	A 単元　探究のサイクルを学ぶ 【知識及び技能】 インターネットや書籍を参照して、「問い」に対する情報を整理分析する。プレゼンテーション資料を作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表をする。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付ける。	・指導事項 探究サイクルのイメージをつかみ、今後の探究活動に対する見通しをつける。 ・教材 ワークシート、プレゼンテーション資料 ・一人１台端末の活用　等 プレゼンテーション資料作成、発表、学習の振り返りを提出	【知識・技能】 【知識及び技能】 インターネットや書籍を参照して、「問い」に対する情報を整理分析できる。プレゼンテーション資料を作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表をする。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付け、それを振り返ることができる。	○	○	○	
	定期考査							
2学期	中間考査まで	A 単元　大学研究室訪問 【知識及び技能】 自ら選んだ学問分野の研究室を訪問することにより、既存の知識や経験と結びつけながら、構造化する力を身にに付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 研究室訪問で得た情報を、整理・分析した内容に基づき、自分の考えを文章にまとめたりするなどの表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 研究室訪問を通じて、自己の在り方生き方を考え、社会の担い手としての自覚を醸成し、より良い社会を実現しようとする態度の育成につなげる。	・指導事項 自らの研究分野を見極めることで、社会の担い手としての心構えや自覚、主体性を育成する。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 自ら選んだ学問分野の研究室を訪問することにより、既存の知識や経験と結びつけながら、構造化する力を身にに付けている。 【思考、判断、表現】 研究室訪問で得た情報を、整理・分析した内容に基づき、自分の考えを文章にまとめたりするなどの表現力を獲得できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究室訪問を通じて、自己の在り方生き方を考え、社会の担い手としての自覚を醸成し、より良い社会を実現しようとする態度を身に付け、それを振り返ることができる。	○	○	○	14
		A 単元　情報収集の仕方 【知識及び技能】 探究活動を進めていくのに必要な情報を的確に集め、整理・分析する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 情報収集の過程において、意見や考えをまとめる際に、思考力・判断力を高めていく。 【学びに向かう力、人間性等】 この単元で得た知識・技能を、未知の状況においても活用できるように視野を拡げ、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える力を身につける。	・指導事項 情報収集の仕方を学び、根拠のある仮説が立てられるようにする。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 探究活動を進めていくのに必要な情報を的確に集め、整理・分析する能力を獲得している。 【思考・判断・表現】 情報収集の過程において、意見や考えをまとめる際に、思考力・判断力を高めていく。 【主体的に学習に取り組む態度】この単元で得た知識・技能を、未知の状況においても活用できるように視野を拡げ、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える力を身につける。	○	○	○	
		A 単元　全体ガイダンス　リサーチクエスチョンの立て方指導・準備 【知識及び技能】 実社会と自己とのかかわりから問いを見出し、自分で課題を立てる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 「問い」を考察・分析する中で、情報の取捨選択の判断力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 「問い」を究めることによって、自分の存在意義に気づき、将来の進路実現へと向かう意欲を高める。	・指導事項 リサーチクエスチョンの意義を学び、研究テーマに関する知識と理解を深められるようにする。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 実社会と自己とのかかわりから問いを見出し、自分で課題を立てる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 「問い」を考察・分析する中で、情報の取捨選択の判断力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「問い」を究めることによって、自分の存在意義に気づき、将来の進路実現へと向かう意欲を高め、それを振り返ることができる。	○	○	○	
	定期考査 実施しない							
	期末考査まで	A 単元　リサーチクエスチョン発表・協議 【知識及び技能】 実社会と自己とのかかわりから問いを見出し、自分で課題を立てる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 問いに対して整理・分析した内容に基づき、自分の考えを文章にまとめたりするなどの表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の在り方生き方を考え、社会の担い手としての自覚を醸成し、より良い社会を実現しようとする態度の育成につなげる。	・指導事項 自ら立てたリサーチクエスチョンに対して協議をし、多面的なな視点から考察を深める。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 実社会と自己とのかかわりから問いを見出し、自分で課題を立てる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 問いに対して整理・分析した内容に基づき、自分の考えを文章にまとめたりするなどの表現力を獲得している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の在り方生き方を考え、社会の担い手としての自覚を醸成し、より良い社会を実現しようとする態度を身に付け、それを振り返ることができる。	○	○	○	
		A 単元　基礎研究と研究計画の立て方 【知識及び技能】 自ら選んだ学問分野の研究計画を立てることにより、既存の知識や経験と結びつけながら、構造化する力を身にに付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 計画立案にあたって整理・分析した内容に基づき、自分の考えを文章にまとめたりするなどの表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 計画立案にあたって、自己の在り方生き方を考え、持続可能な社会の担い手として、よりよい社会を実現しようとする態度を育成する。	・指導事項 自らの研究計画の重要性、目的を明確にし、今後の探究活動の指針となるようにする。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 自ら選んだ学問分野の研究計画を立てることにより、既存の知識や経験と結びつけながら、構造化する力を身にに付けている。 【思考・判断・表現】 計画立案にあたって整理・分析した内容に基づき、自分の考えを文章にまとめたりするなどの表現力を獲得している。 【主体的に学習に取り組む態度】 計画立案にあたって、自己の在り方生き方を考え、持続可能な社会の担い手として、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付け、それを振り返ることができる。	○	○	○	
	定期考査 実施しない							
3学期		A 単元　基礎研究と研究計画クラス内発表、協議 【知識及び技能】 文献・調査を通じて、「問い」に対する情報を整理分析する。プレゼンテーション資料を作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表をする。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付ける。	・指導事項 自ら立案した研究計画を発表し、評価を受けることで多面的なな視点から考察を深められるようにする。 ・教材 ワークシート、プレゼンテーション資料 ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 文献・調査を通じて、「問い」に対する情報を整理分析する。プレゼンテーション資料を作成できる。 【思考・判断・表現】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付けており、それを振り返ることができる。	○	○	○	9
		A 単元　学年末報告会 【知識及び技能】 文献・調査を通じて、「問い」に対する情報を整理分析する。プレゼンテーション資料を作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表をする。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付ける。	・指導事項 自ら立案した研究計画を発表し、評価を受けることで多面的なな視点から考察を深められるようにする。 ・教材 ワークシート、プレゼンテーション資料 ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 文献・調査を通じて、「問い」に対する情報を整理分析する。プレゼンテーション資料を作成できる。 【思考・判断・表現】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付けており、それを振り返ることができる。	○	○	○	
	定期考査							
							合計	35

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度　教科 総合的な探究の時間　科目 総合的な探究の時間

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組　　単位数：　1　単位
教科担当者：
使用教科書：（　なし　）
教科　総合的な探究の時間　の目標：
【知識及び技能】生徒各自が選んだテーマに関わる学習活動の過程を通して、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、テーマの探究に必要な知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】生徒各自が選んだテーマと自らとの関わりの中で①「問い」を見出し、その解決に向けて仮説を立て、②収集した情報を③多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、④筋道立ててまとめ、わかりやすく説明する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】生徒各自が選択設定した探究課題に関する学習活動に主体的・協働的に取り組み、未知の状況においても活用できるように視野を拡げ、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える力を身につける。
科目　総合的な探究の時間　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒各自が選んだテーマに関わる学習活動の過程を通して、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、テーマの探究に必要な知識・技能を身につける。	生徒各自が選んだテーマと自らとの関わりの中で①「問い」を見出し、その解決に向けて仮説を立て、②収集した情報を③多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、④筋道立ててまとめ、わかりやすく説明する力を身につける。	生徒各自が選択設定した探究課題に関する学習活動に主体的・協働的に取り組み、未知の状況においても活用できるように視野を拡げ、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える力を身につける。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元　全体ガイダンス　課題研究の意義 【知識及び技能】 探究の意義、学習内容を把握し、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、テーマの探究に必要な知識・技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたテーマと自らとの関わりの中で、多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、筋道立ててまとめ、わかりやすく説明する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 授業を通じて、探究課題に関する学習活動に主体的・協働的に取り組み、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える姿勢を身に付ける。	・指導事項 探究活動の意義、目的、年間スケジュール ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、探究活動に必要な知識・技能を理解している。 【思考・判断・表現】 テーマと自らとの関わりの中で、多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、筋道立ててまとめ、わかりやすく説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の心の変化を自覚し、それを振り返ることができる。	○	○	○	1
		A 単元　個別探究 【思考力、判断力、表現力等】 「本研究」を実施するにあたって、研究計画を立てることで、自分の研究内容を再認識するとともに、これからの研究の見通しをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの研究計画を立てることで自らの将来に自覚的になる。	・指導事項 個別探究活動に必要な興味・関心を広げ、自分の興味のある分野を自覚するきっかけとする。 ・教材 ワークシート、新書 ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【思考・判断・表現】 主観的に自分の研究内容を再認識するとともに、これからの研究の見通しをもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の変化に自覚的になり、それを振り返ることができる。		○	○	4
		A 単元　論文の書き方講座 【知識及び技能】 学術的な論文を効果的に書くための技術を身につけることを目的とする。 【思考力、判断力、表現力等】 論文の基本的な構成や書き方のルールを学ぶとともに、自分自身のアイデアを論理的に組み立て、鮮明な言語で表現する方法を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 論文の書き方を通じて、自己調査・自己改善の姿勢や情報収集・分析能力を身につけ、学びに向かう力を育む。自己の研究テーマに対する深い洞察を養い、独自性やオリジナリティを獲得する。	・指導事項 論文作成のイメージをつかみ、今後の探究活動に対する見通しをつける。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識及び技能】 学術的な論文を効果的に書くための技術を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 論文の基本的な構成や書き方のルールを学ぶとともに、自分自身のアイデアを論理的に組み立て、鮮明な言語で表現する方法を習得している。 【学びに向かう力、人間性等】 論文の書き方を通じて、自己調査・自己改善の姿勢や情報収集・分析能力を身につけ、学びに向かう力を身に付けている。自己の研究テーマに対する深い洞察を養い、独自性やオリジナリティを獲得している。	○	○	○	1
	定期考査 実施しない							
	期末考査まで	A 単元　個別探究・及び中間報告 【思考力、判断力、表現力等】 「本研究」を実施するにあたって、研究計画を立てることで、自分の研究内容を再認識するとともに、これからの研究の見通しをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの研究計画を立てることで自らの将来に自覚的になる。	・指導事項 探究サイクルのイメージをつかみ、今後の探究活動に対する見通しをつける。 ・教材 ワークシート、プレゼンテーション資料 ・一人１台端末の活用　等 プレゼンテーション資料作成、発表、学習の振り返りを提出	【思考・判断・表現】 主観的に自分の研究内容を再認識するとともに、これからの研究の見通しをもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の変化に自覚的になり、それを振り返ることができる。		○	○	5
	定期考査 実施しない							
2学期	中間考査まで	A 単元　論文作成 【知識及び技能】 文献の調査や研究データの分析を通じて、専門分野の知識を深化させる。また、論文を通じて新たな知識を発見し、学問領域を拡大する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報収集の過程において、意見や考えをまとめる際に、思考力・判断力を高めている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の研究テーマに対する深い洞察を得ることで、自己の研究分野における専門性を高める。また、他者の論文を読み、批評的な視点を持ちながら自分の研究を見直すことで、自己改善や成長する機会とする。	・指導事項 自らの研究分野を見極めることで、社会の担い手としての心構えや自覚、主体性を育成する。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識及び技能】 文献の調査や研究データの分析を通じて、専門分野の知識を深化させる。また、論文を通じて新たな知識を発見し、学問領域を拡大している。 【思考力、判断力、表現力等】 情報収集の過程において、意見や考えをまとめる際に、思考力・判断力を高めている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の研究テーマに対する深い洞察を得ることで、自己の研究分野における専門性を高めている。また、他者の論文を読み、批評的な視点を持ちながら自分の研究を見直すことで、自己改善や成長を果たしている。	○	○	○	8
	定期考査 実施しない							
	期末考査まで	A 単元 論文作成 【知識及び技能】 文献の調査や研究データの分析を通じて、専門分野の知識を深化させる。また、論文を通じて新たな知識を発見し、学問領域を拡大する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報収集の過程において、意見や考えをまとめる際に、思考力・判断力を高めている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の研究テーマに対する深い洞察を得ることで、自己の研究分野における専門性を高める。また、他者の論文を読み、批評的な視点を持ちながら自分の研究を見直すことで、自己改善や成長する機会とする。	・指導事項 自ら作成する論文に対して協議をし、多面的なな視点から考察を深める。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識及び技能】 文献の調査や研究データの分析を通じて、専門分野の知識を深化させる。また、論文を通じて新たな知識を発見し、学問領域を拡大している。 【思考力、判断力、表現力等】 情報収集の過程において、意見や考えをまとめる際に、思考力・判断力を高めている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の研究テーマに対する深い洞察を得ることで、自己の研究分野における専門性を高めている。また、他者の論文を読み、批評的な視点を持ちながら自分の研究を見直すことで、自己改善や成長を果たしている。	○	○	○	8
	定期考査 実施しない							
3学期		A 単元　1学年学年末報告会見学 【知識及び技能】 他者の研究成果を見学、新たな知見や発見を得る。また、発表を通じて、自身の研究に対するフィードバックや議論を得ることができ、自らの研究の質を向上させる。 【思考力、判断力、表現力等】 学術的な発表技術やコミュニケーションスキルを磨く。 【学びに向かう力、人間性等】 自己啓発を促し、他の研究者の発表を聴くことで、異なる研究スタイルやアイデアを学ぶことができ、自身の研究に新たな視点を持つ。	・指導事項 他者の研究計画を見学し、評価を与えることで多面的なな視点から考察を深められるようにする。 ・教材 ワークシート、プレゼンテーション資料 ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識及び技能】 他者の研究成果を見学、新たな知見や発見を獲得している。また、発表を通じて、自身の研究に対するフィードバックや議論を得ることができ、自らの研究の質を向上させている。 【思考力、判断力、表現力等】 学術的な発表技術やコミュニケーションスキルを獲得している。 【学びに向かう力、人間性等】 自己啓発を促し、他の研究者の発表を聴くことで、異なる研究スタイルやアイデアを学ぶことができ、自身の研究に新たな視点を持っている。	○	○	○	2
		A 単元　探究成果報告会及び準備 【知識及び技能】 文献・調査を通じて、「問い」に対する情報を整理分析する。プレゼンテーション資料を作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表をする。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付ける。	・指導事項 自ら作成した論文を発表し、評価を受けることで多面的なな視点から考察を深められるようにする。 ・教材 ワークシート、プレゼンテーション資料 ・一人１台端末の活用　等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 文献・調査を通じて、「問い」に対する情報を整理分析する。プレゼンテーション資料を作成できる。 【思考・判断・表現】 情報整理を通じて、情報の傾向や関連を発見する。作成したプレゼンテーション資料を用いて発表ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の探究活動に対して、主体的に学ぶ態度や自ら考える姿勢を身に付けており、それを振り返ることができる。	○	○	○	6
	定期考査 実施しない							
							合計	35

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度

教科 **総合的な探究の時間** 科目 **総合的な探究の時間**

対象学年組：第 3 学年 A 組～ G 組 単位数： 1 単位
教科担当者：
使用教科書： （ なし ）
教科 総合的な探究の時間 の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】 生徒各自が選んだテーマに関わる学習活動の過程を通して、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、テーマの探究に必要な知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】 生徒各自が選んだテーマと自らとの関わりの中で①「問い」を見出し、その解決に向けて仮設を立て、②収集した情報を③多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、④筋道立ててまとめ、わかりやすく説明する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】 生徒各自が選択設定した社会課題に関する学習活動に主体的・協働的に取り組み、未知の状況においても活用できるように視野を拡げ、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える力を身につける。
科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒各自が選んだテーマに関わる学習活動の過程を通して、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、テーマの探究に必要な知識・技能を身につける。	生徒各自が選んだテーマと自らとの関わりの中で①「問い」を見出し、その解決に向けて仮設を立て、②収集した情報を③多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、④筋道立ててまとめ、わかりやすく説明する力を身につける。	生徒各自が選択設定した探究課題に関する学習活動に主体的・協働的に取り組み、未知の状況においても活用できるように視野を拡げ、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える力を身につける。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	中間考査まで	A 単元 探究報告会・全体ガイダンス 【知識及び技能】 探究の意義、学習内容を把握し、身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、自らの将来に必要な知識・技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたテーマと自らとの関わりの中で、多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、筋道立ててまとめ、わかりやすく説明する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 授業を通じて、社会課題に関する学習活動に主体的・協働的に取り組み、他者や社会との関わりの中で自分自身の生き方・在り方を考える姿勢を身に付ける。	・指導事項 探究活動の意義、目的、年間スケジュール ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用 等 学習の振り返りを提出	【知識・技能】 身の回りの事象が生徒自身に繋がるものであることを理解するとともに、社会活動に必要な知識・技能を理解している。 【思考・判断・表現】 テーマと自らとの関わりの中で、多角的・俯瞰的に整理・分析する力を身につけるとともに、筋道立ててまとめ、わかりやすく説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の心の変化を自覚し、それを振り返ることができる。	○	○	○	1
		A 単元 進路・学習指導 【思考力、判断力、表現力等】 自分の将来を再認識するとともに、これからの生き方・あり方の見通しをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの将来に自覚的になる。	・指導事項 自らの希望進路に向けて、自分の興味のある分野を自覚するきっかけとする。 ・教材 ワークシート、新書 ・一人１台端末の活用 等 学習の振り返りを提出	【思考・判断・表現】 主観的に自分の将来を再認識するとともに、これからの生き方・あり方について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の変化に自覚的になり、それを振り返ることができる。		○	○	4
		A 単元 進路ガイダンス・学習指導 【知識及び技能】 文章を効果的に書くための技術を身につけることを目的とする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の基本的な構成や書き方のルールを学ぶとともに、自分自身のアイデアを論理的に組み立て、鮮明な言語で表現する方法を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の書き方を通じて、自己調査・自己改善の姿勢や情報収集・分析能力を身につけ、学びに向かう力を育む。自己の将来に対する深い洞察を養い、独自性やオリジナリティを追求する。	・指導事項 今後の社会参画に対する見通しをつける。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用 等 学習の振り返りを提出	【知識及び技能】 自分の将来について明確に語るための技術を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の基本的な構成や書き方のルールを学ぶとともに、自分自身のアイデアを論理的に組み立て、鮮明な言語で表現する方法を習得している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の書き方を通じて、自己調査・自己改善の姿勢や情報収集・分析能力を身につけ、学びに向かう力を身に付けている。自己の進路に対する深い洞察を養い、独自性やオリジナリティを獲得している。	○	○	○	1
	定期考査 実施しない							
	期末考査まで	A 単元 進路ガイダンス・学習指導 【知識及び技能】 文章を効果的に書くための技術を身につけることを目的とする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の基本的な構成や書き方のルールを学ぶとともに、自分自身のアイデアを論理的に組み立て、鮮明な言語で表現する方法を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の書き方を通じて、自己調査・自己改善の姿勢や情報収集・分析能力を身につけ、学びに向かう力を育む。自己の将来に対する深い洞察を養い、独自性やオリジナリティを追求する。	・指導事項 今後の社会参画方法に対する見通しをつける。 ・教材 ワークシート、プレゼンテーション資料 ・一人１台端末の活用 等 学習の振り返りを提出	【思考・判断・表現】 主観的に自分の将来を再認識するとともに、進路実現に向けて見通しをもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の変化に自覚的になり、それを振り返ることができる。		○	○	5
	定期考査 実施しない							
2学期	中間考査まで	A 単元 進路ガイダンス・学習指導 【知識及び技能】 文章を効果的に書くための技術を身につけることを目的とする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の基本的な構成や書き方のルールを学ぶとともに、自分自身のアイデアを論理的に組み立て、鮮明な言語で表現する方法を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の書き方を通じて、自己調査・自己改善の姿勢や情報収集・分析能力を身につけ、学びに向かう力を育む。自己の将来に対する深い洞察を養い、独自性やオリジナリティを追求する。	・指導事項 自らの研究分野を見極めることで、社会の担い手としての心構えや自覚、主体性を育成する。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用 等 学習の振り返りを提出	【知識及び技能】 文章作成を通じて新たな知識を発見し、学問領域を拡大している。 【思考力、判断力、表現力等】 情報収集の過程において、意見や考えをまとめる際に、思考力・判断力を高めている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の進路に対する深い洞察を得ることで、自己の将来就きたい分野における専門知識を養う。また、他者の文章を読み、批評的な視点を持ちながら自分の進路を見直すことで、自己改善や成長を果たしている。	○	○	○	8
	定期考査 実施しない							
	期末考査まで	A 単元 進路ガイダンス・学習指導 【知識及び技能】 文章を効果的に書くための技術を身につけることを目的とする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の基本的な構成や書き方のルールを学ぶとともに、自分自身のアイデアを論理的に組み立て、鮮明な言語で表現する方法を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の書き方を通じて、自己調査・自己改善の姿勢や情報収集・分析能力を身につけ、学びに向かう力を育む。自己の将来に対する深い洞察を養い、独自性やオリジナリティを追求する。	・指導事項 自ら作成する文章に対して協議をし、多面的なな視点から考察を深める。 ・教材 ワークシート ・一人１台端末の活用 等 学習の振り返りを提出	【知識及び技能】 文章作成を通じて新たな知識を発見し、学問領域を拡大している。 【思考力、判断力、表現力等】 情報収集の過程において、意見や考えをまとめる際に、思考力・判断力を高めている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の進路に対する深い洞察を得ることで、自己の将来就きたい分野における専門知識を養う。また、他者の文章を読み、批評的な視点を持ちながら自分の進路を見直すことで、自己改善や成長を果たしている。	○	○	○	8
	定期考査 実施しない							
3学期		A 単元 進路・学習指導 【知識及び技能】 他者の研究成果を見学、新たな知見や発見を得る。また、発表を通じて、自身の研究に対するフィードバックや議論を得ることができ、自らの研究の質を向上させる。 【思考力、判断力、表現力等】 学術的な発表技術やコミュニケーションスキルを磨く。 【学びに向かう力、人間性等】 自己啓発を促し、他の研究者の発表を聴くことで、異なる社会参画スタイルやアイデアを学ぶことができ、自身の研究に新たな視点を持つ。	・指導事項 他者の社会参画に向けた考え方を共有ことで多面的なな視点から考察を深められるようにする。 ・教材 ワークシート、プレゼンテーション資料 ・一人１台端末の活用 等 学習の振り返りを提出	【知識及び技能】 他者の生き方・社会参画について情報交換することにより、新たな知見や発見を獲得している。また、発表を通じて、自身の進路に対するフィードバックや議論を得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学術的な発表技術やコミュニケーションスキルを獲得している。 【学びに向かう力、人間性等】 自己啓発を促し、他者の発表を聴くことで、異なる研究スタイルやアイデアを学ぶことができ、自身の生き方・あり方に新たな視点を持っている。	○	○	○	5
		A 単元 進路・学習指導 【知識及び技能】 他者の研究成果を見学、新たな知見や発見を得る。また、発表を通じて、自身の研究に対するフィードバックや議論を得ることができ、自らの研究の質を向上させる。 【思考力、判断力、表現力等】 学術的な発表技術やコミュニケーションスキルを磨く。 【学びに向かう力、人間性等】 自己啓発を促し、他の研究者の発表を聴くことで、異なる社会参画スタイルやアイデアを学ぶことができ、自身の研究に新たな視点を持つ。	・進路希望の実現に向けて、必要となる学習を行う。 ・今後学習すべき事項を確認する。	【知識及び技能】 他者の生き方・社会参画について情報交換することにより、新たな知見や発見を獲得している。また、発表を通じて、自身の進路に対するフィードバックや議論を得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学術的な発表技術やコミュニケーションスキルを獲得している。 【学びに向かう力、人間性等】 自己啓発を促し、他者の発表を聴くことで、異なる研究スタイルやアイデアを学ぶことができ、自身の生き方・あり方に新たな視点を持っている。	○	○		3
	定期考査 実施しない							
							合計	35